

東京大学大学院新領域創成科学研究科
社会文化環境学専攻

2018 年度
修 士 論 文

発達障害に伴う聴覚過敏と
音環境に関する実態調査

Survey on sound environment and hyperacusis for developmental disorders

2019 年 1 月 21 日提出
指導教員 佐久間 哲哉 准教授

松 井 温 子
MATSUI, Yoshiko

目次

第1章 序章	5
1.1. 研究背景.....	5
1.1.1. 聴覚過敏とは.....	5
1.1.2. 聴覚過敏と発達障害.....	7
1.1.3. 既往研究と本研究の位置づけ.....	9
1.2. 研究の手法.....	10
1.3. 論文の構成.....	10
第2章 アンケート調査の実施	11
2.1. 実施手法.....	11
2.2. アンケート項目の設定.....	12
第3章 アンケート結果/分析	16
3.1. 概要.....	16
3.2. アンケート結果 I 回答対象者について.....	16
3.3. アンケート結果 II 聴覚過敏症状について.....	19
3.4. 分析手法の概要.....	19
3.5. 聴覚過敏スコア群毎の分析.....	20
3.5.1. I 回答対象者について.....	20
3.5.2. II 聴覚過敏症状について.....	22
3.5.3. III 聴覚過敏を引き起こす音について.....	23
3.6. 音の評価スコア群毎の分析.....	25
3.6.1. I 回答対象者について.....	26
3.6.2. II 聴覚過敏症状について.....	27
3.6.3. III 聴覚過敏を引き起こす音について.....	29
3.7. 回答者全体の分析.....	31
3.7.1. 聴覚過敏を引き起こす音[自由記述].....	31
3.7.2. III3 過敏に感じる原因.....	36
3.7.3. III4 過敏に感じる時の状況.....	38

3.7.4. III4 行っている対策	39
3.7.5. 聴覚過敏を引き起こした状況/出来事(自由記述)	41
3.8. 考察とまとめ	45
第4章 インタビュー調査	47
4.1. 概要	47
4.2. 当事者と家族へのインタビュー	49
4.2.1. 聴覚過敏を引き起こす音について	49
4.2.2. 聴覚過敏の症状について	54
4.2.3. 対策について	57
4.2.4. 改善要望	61
4.3. 医療従事者へのインタビュー	63
4.3.1. A先生へのインタビューより	63
4.3.2. D先生のインタビューより	68
4.3.3. E先生へのインタビューより	71
4.4. 考察とまとめ	74
第5章 総括	76
5.1. 本研究のまとめ	76
5.2. 今後の課題	77
参考文献・引用文献	79
謝辞	81
発表論文一覧	83
付録	93

第1章 序章

1.1. 研究背景

1.1.1. 聴覚過敏とは

聴覚過敏とは、「大抵の人が十分我慢できる音に対する苦痛の要素を伴う異常な大きさの経験」と定義されており¹²。これは、日常生活の環境音の大きさに対して異常に耐性が低くなり、一般の人には不快に感じない大きさの音に対して一貫して大きな応答や不適切な応答をする状態のこととされている³。

聴覚過敏の症状に関して当事者が以下のように表現している。

『仲が悪い隣の住人のピアノの音が気になる』と言った心因的な『気になる』ではなくて、思考の中断を余儀なくされるほどの強い刺激。頭が真っ白になり、我慢できるレベルではない』

(NHK スペシャル取材班：発達障害を生きる. 集英社. 2018, p. 39)

このように聴覚過敏の症状は「耳に刺さるように音が響く」「響すぎるような感じがある」とも表現される。「痛み」「恐怖」は不快に感じる音に対して一般に用いられる表現ではないことから、聴覚過敏は音を単に大きく感じるという状態とは異なり、非常に複雑な状況であるといえる。

また、聴覚過敏の症状のために不眠が引き起こされる、外出を避ける、集中することが難しい、コミュニケーションが困難であるという状態が引き起こされることもあり、聴覚過敏のために日常生活に障害が生じていると考えられる⁴。

1 バグリー・デービッド, アンダーソン・ゲルトハント:聴覚過敏-仕組みと診断そして治療法-. (中川辰雄訳). 海文堂出版, 2012, p. 22

2 Vernon JA : Pathophysiology of tinnitus : a specialcase —hyperacusis and a proposed treatment. The American Journal of Otology, 1987, p. 201-202

3 Bagly, DM. :Hyperacusis. Journal of the Royal Society of Medicine, 2003, 93, p. 582-585

4 本研究アンケート調査回答より：「国道沿いの家で生活をしていて、24時間、車が通るので不眠症が数カ月続き、今でも少しの音で目が覚めてしまい、眠れない」（42歳・男性）、「講師の声が高く、耳が痛くて授業に集中することが難しかった。デジタル耳栓で対応したが、講師から音楽を聴いていると誤解され心無い一言で傷ついた」（34歳・男性）、「電車やレストランの中で他者同士の会話が耳に入ってしまう、友人との話に集中できない」（24歳・男性）、「騒がしいところではコミュニケーションがしにくい。色々な音がしているとイライラしたり、混乱する」（13歳・男性）と回答されていた。周囲の音で小さな音も刺激として捉えるため、一般の人にとっては静かに感じる場所であっても耐え難い煩さを感じ集中することが困難であったり、会話の相手の声が周囲の音にかき消されたりする状況があるとわかる。

また、聴覚過敏の症状を引き起こす音は、図 1-1 に示すような空調機器の音や時計の秒針の音、掃除機の音、食器のぶつかる音、ドアの閉まる音などの日常音、工事現場の騒音、車のクラクションや電車の走行音などの交通騒音などが挙げられており、これらの音は、住宅内やその周辺、通学・通勤途中の経路内、仕事場・学校といった当事者が日常を過ごす空間に散在している。

すなわち、聴覚過敏を持つ人は日常の生活空間における本人の周囲に散在する生活音や環境音に対して不快さや苦痛を感じており、この不快感・苦痛は疲労やストレスにつながると考えられる。

さらに、大規模な聴覚過敏の調査により一般の人における聴覚過敏の罹患率は9～22%と示されている⁵⁶⁷。これらの調査では聴覚過敏の定義が統一されていないことなどから、罹患率にばらつきが生じているが、ある一定数の人々に対して日常生活の音環境が健康に影響を与えていることがわかる。

しかし、これまでの国内における聴覚過敏に関する研究では治療法や診断基準などの医学や心理学に基づく調査や研究が主であり、過敏性を持つ人が日常のどのような生活空間で不便を感じているかという実態は明らかにされておらず、音の過敏性に関する社会的認知は低いとわかる。



図 1-1 日常の生活空間に散在する聴覚過敏を引き起こす音

5 Andersson, G., Lindvall, N., Hursti, T., & Carlbring, P.: Hypersensitivity to sound (hyperacusis): a prevalence study conducted via the Internet and post. *International Journal of Audiology*, 2002, 41, p. 545-554

6 Fabijanska, A., Rogowski, M., Bartnik, G., & Skarzynski, H.: Epidemiology of tinnitus and hyperacusis in Poland. *Proceedings of the Fifth International Tinnitus Seminar*, 2005, p. 569-571

7 前掲, p. 33

1. 1. 2. 聴覚過敏と発達障害

発達障害には感覚過敏の特性が特に多く見られることが知られており、自閉症を持つ集団に対する調査でも聴覚過敏があると回答する率は一般の人よりも高いといわれている⁸。

これまでの国内における自閉スペクトラム症の研究では、社会性やコミュニケーションに関する研究が主であり、感覚過敏の特性に関しては明らかにされていない。従来の自閉スペクトラム症の診断基準では、①他人と社会的な場面で相互関係を持つことの障害、②言葉の表面的な意味に捉えられやすいといった社会性やコミュニケーションの障害と、③反復的・情動的な行動パターンで想像力やこだわりの困難さがあることを条件としていたが⁹、発達障害の診断基準として世界的に使用されているDSMの最新の診断基準(DSM-5、表 1-1)では、触覚や味覚、嗅覚、聴覚などの感覚過敏と感覚鈍麻が自閉性スペクトラム症の診断基準の1つに新たに組み込まれた¹⁰。

また、2015年には欧米で利用されている感覚プロファイルの日本語版が刊行された。発達障害に伴う感覚の特性は「人それぞれ」であるため、これまでは特性の把握は困難であったが、この検査により発達障害を持つ個人の感覚特性を捉えることが可能となった¹¹。

さらに近年では、イヤマフなどの保護具や遮音具が聴覚過敏対策用であること、聴覚過敏の症状を持つことを示すための聴覚過敏保護用シンボルマークの作成(図 1-2)や¹²、NHKの発達障害プロジェクトの「困りごとのトリセツ」では感覚過敏を含む発達障害のある人の困り事の情報共有が行われており¹³、感覚過敏に関して一般にも感覚の問題は着目されてきているとわかる。

しかし、自閉スペクトラム症や発達障害の児童に対しては特別支援教室等でのカムダウンスペース(クールダウンスペース)導入などの空間設計の配慮例¹⁴はあるが、日常の音環境に関しては音に過敏性を持つ人に配慮した環境設計は行われていない。

8 中川辰雄:騒音制御. 2016, 40(6), p. 308-311

9 東京都福祉保健局:発達障害を理解しよう

10 D先生のインタビューより(2018. 8. 31 実施)

11 萩原拓:日本語版感覚プロファイルの概要, 日本児童青年精神医学会, 2016, 57(1), p. 56-60

12 株式会社石井マーク:「聴覚過敏保護用シンボルマーク」無償公開データ(参照:2018. 6. 4)

13 発達障害プロジェクト:2017年5月～発達障害の理解促進を目的として、NHKの各番組が連携し特集企画・番組を放送するプロジェクト, NHK オンライン:”発達障害プロジェクト”

〈<http://www1.nhk.or.jp/asaichi/hattatsu/index.html>〉(参照:2018. 6. 4)

14 大木啓義:特別支援学校における自己領域化に関する研究. 〈<http://www.hues.kyushu-u.ac.jp>〉(参照:2018. 1. 11)

表 1-1 DSM-5 における自閉症スペクトラムの診断基準¹⁵

DSM-5における自閉症スペクトラム(Autism Spectrum Disorder)の診断基準 (以下のA、B、C、Dを満たしていること)	
A	社会的コミュニケーションおよび相互関係における持続障害(以下の3点)
	【1】 社会的・情緒的な相互関係の障害
	【2】 他者との交流に用いられる非言語的コミュニケーション (ノンバーバル・コミュニケーション)の障害
B	【3】 年齢相応の対人関係の発達や維持の障害
	限定された反復する様式の行動、興味、活動(以下の2点以上の特徴)
	【1】 常同的で反復的な運動動作や物体の使用、あるいは話し方
	【2】 同一性へのこだわり、日常動作への融通の効かない執着、 言語・非言語上の儀式的な行動パターン
C	【3】 集中度・焦点づけが異常に強く限定的であり、固定された興味がある
	【4】 鋭角入力に対する過敏性あるいは鈍感性。あるいは感覚に関する 環境に対する普通以上の関心
D	症状は発達早期の段階で必ず出現するが、後になって明らかになるものもある
D	症状は社会や職業その他の重要な機能に重大な障害を引き起こしている

図 1-2 聴覚過敏保護用シンボルマーク¹⁶¹⁵ 前掲 11¹⁶ 前掲 12

1. 1. 3. 既往研究と本研究の位置づけ

国内で行なわれている聴覚過敏に関する既往研究は少ないものの、医学・心理学など分野では治療法などに関しての調査は行われている。

- 「一般大学生における聴覚過敏の実態とリスク要因¹⁷」では、カルファの聴覚過敏尺度日本語版を用いて質問紙票調査を行っている。「不安症状」、「睡眠障害」、「頭部手術の既往」の3つの聴覚過敏のリスク要因を明らかにしており、聴覚過敏を主とする患者の診療時にこれらの要因や、頭頸部手術後の支援段階において聴覚過敏に注目することの重要性を示している。
- 「保護者に対する質問紙調査による特別支援学校在籍時の聴覚過敏の実態¹⁸」では、特別支援学校にて質問紙票を用いて調査を行っており、この調査では、聴覚過敏の症状が始まった時期や聴覚過敏を生じやすい音などの項目を設定し、聴覚過敏の原因や対処法について考察している。聴覚過敏の原因を聴覚学習の未学習や誤学習にあるとし、対処法として小学部段階での再学習をあげているが、その際には心理的な安全安心を確保できる環境の確保の必要性を述べている。
- 「聴覚過敏の臨床的検討²⁰」では、聴覚過敏が主訴である患者へ対して聴力検査、不快域値検査、聴覚過敏に対する質問票を行い、聴覚過敏の臨床的検討を行っている。この検討では、聴覚過敏は心因的なものに起因するとの回答が多く、物理的な要因だけでなく心因的な影響を強く受けていると示唆された。
- 「Khalfa Hyperacusis Questionnaire 日本語版の妥当性について²¹」では、本研究のアンケート調査や既往研究で多く用いられているカルファの聴覚過敏尺度日本語版の妥当性の検討を行っており、検討の余地はあるものの、THI 値²²の関連から聴覚過敏尺度日本語版は妥当性を有していると述べている。

以上のように、国内における聴覚過敏に関する研究としては、聴覚過敏の診断基準などに着目したものが多く、欧米においては聴覚過敏に関する調査として大規模な調査が行われた研究も存在するが、国内では同様の調査は行われておらず、聴覚過敏を引き起こす音や空間などの基礎情報は明らかにされていない。そこで、本研究では音の過敏性に配慮した環境設計のための基礎情報を明らかにすることを目的に、発達障害者を対象にアンケート調査を行い、聴覚過敏症状の実態把握を試みる点で、独自の研究であるといえる。

17 熊谷晋一郎, 綾屋紗月, 武長龍樹ほか: *Audiology Japan*, 2013, 56, p. 234-242

Khalfa S, Dubal S, Veuillet E, et al : *Psychometric normalization of a hyperacusis questionnaire.*

ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec 64 :2002. p. 436-442

18 中川辰雄: *Audiology Japan*, 2011, 54(5), p. 301-302

19 中川辰雄: *騒音制御*. 2016, 40(6), p. 308-311

20 関谷健一, 関谷芳正, 加藤有加ほか: *Audiology Japan*, 2011, 54(5), p. 297

21 山田浩之, 大石直樹, 神崎晶ほか: *Audiology Japan*, 2013, 56(5), p. 655-666

22 *Tinnitus handicap inventory (THI)*: 耳鳴りの日常生活への支障度に対する質問紙

1.2. 研究の手法

以上の状況を踏まえ、聴覚過敏症状を持つ人々に対して配慮した環境設計を行うために、聴覚過敏を引き起こす音やどういった空間で引き起こされるのかといった実態の把握が必要であると考え。そこで本研究では、基礎的データを得ることを目的としてアンケート調査およびインタビュー調査を実施した。より多くの回答を集めるため、本研究では対象を発達障害に伴う聴覚過敏とした。まず、日常空間における音環境に関するアンケート調査を実施し、その後、当事者と医療従事者に対面式インタビュー調査を行う。

以下の3点は本研究で軸とする項目である。

- I. 聴覚過敏症状の経験について
- II. 聴覚過敏を引き起こす音について
- III. 聴覚過敏に対して行っている対策・対処法

アンケート調査・インタビュー調査ではこの3項目についての調査を実施し、調査結果の分析・考察を行い、聴覚過敏の実態把握を試みる。

1.3. 論文の構成

第1章では、聴覚過敏の社会的動向を概観し、研究背景および、研究の動機づけ、既往研究を踏まえた本研究の目的を述べた。

第2章では、聴覚過敏を持つ発達障害者を対象に行ったアンケート調査の実施手法と調査項目について述べる。

第3章では、第2章のアンケート調査結果について述べ、その結果を回答者全体の回答の傾向とカルファの聴覚過敏スコア等をもとに2つのグルーピングの方法を用いて分析を行い、日常の音や空間の聴覚過敏症状への影響や、聴覚過敏症状への対策について把握を行う。

第4章では、聴覚過敏症状をもつ当事者や、医療従事者へのインタビュー調査について述べ、その結果の分析・考察を行い、日常の生活空間における音環境と聴覚過敏症状の関係性の把握を試みる。

第5章では、本研究まとめとして総括し、今後の課題について述べ、研究の総括を行う。

第2章 アンケート調査の実施

本研究は聴覚過敏の基礎的情報を得ることを目的とする。そこで本調査では、多数の回答を得るために対象を発達障害に伴う聴覚過敏とし、インターネットを通じてアンケート調査を行った。聴覚過敏症状を持つ人々に対して配慮のなされた環境設計を目指す上で、聴覚過敏症状がどのような音環境で引き起こされるのかという実態を把握する必要がある。本章ではアンケート調査の実施概要、およびアンケート項目について述べる。第3章では、アンケート調査結果の分析結果について述べる。

2.1. 実施手法

アンケートは平成30年3月23日～4月6日を回答期間とした。発達障害情報支援サイトの登録会員にメールマガジンを介して配布し、インターネットを通じて行った。回答者は登録会員のうち「聴覚過敏症状のあるお子さまの保護者さま」または「聴覚過敏症状のあるご本人さま」とした。前者の聴覚過敏症状を持つ児童の保護者が回答する場合には、普段の本人の様子を保護者が主観的に評価し回答するよう求めた。なお、本調査では聴覚過敏症状を「一般には不快に感じない周囲の環境音に対して耐え難い不快や苦痛を感じる」状態であると定義した。

アンケートは「Ⅰ回答対象者自身」、「Ⅱ聴覚過敏症状」、「Ⅲ聴覚過敏症状を引き起こす音」に関する内容の約60項目を設定した。次節にてアンケート項目の検討を行う。

2.2. アンケート項目の設定

アンケート項目は、「Ⅰ回答対象者自身について」、「Ⅱ聴覚過敏症状について」、「Ⅲ聴覚過敏症状を引き起こす音について」の3部で構成される。どのような空間や音で聴覚過敏症状が引き起こされるか、またその時の本人の状況などが把握できる項目を選定した。表 2-1 に項目一覧を示す。実際の配布したアンケート項目については付録に示す。

「Ⅰ回答対象者自身について」では、回答対象者の年齢・性別・発達障害に関する診断の有無を問う項目のほか、回答対象者の現在の状況を問う項目を設定した。

「Ⅱ聴覚過敏症状について」では、聴覚過敏症状の経験に関する項目として10項目を設定した。この項目は、多くの既往研究で用いられているカルファの聴覚過敏尺度を参考に作成した^[1,2]。カルファの調査では対象者が17～69才であったため、本調査の対象者の幼児を含む未成年と成年の生活環境には適切ではないと考えられる項目、および「Ⅲ聴覚過敏症状を引き起こす音について」と同様の内容となる項目を除いた10項目を採用した。これらの10項目については、「全くない/まれにある/ときどきある/よくある/いつもある」の5段階で評価を得た。また、「聴覚過敏を引き起こした状況とその音について、記憶に残っている出来事について」として、聴覚過敏症状を引き起こした場合の、本人の様子・状況や、聴覚過敏症状を引き起こされることにより生じた困りごとについて自由に記述する項目も設定した。

「Ⅲ聴覚過敏を引き起こす音について」では、聴覚過敏を引き起こす音の評価とそれらの音を過敏に感じる原因、その時の自身の状況について、過敏に感じる音に関して行っている対策について、音・場所や空間などへの改善要望についての項目を設定した。聴覚過敏を引き起こす音の評価では、回答対象者の日常の生活空間において想定される音を空間毎に列挙し、それぞれの音を「特に過敏に感じる/過敏に感じる/やや過敏に感じる/全く過敏に感じない」の4段階で評価させた。ここでは、住居などの室内、通学・通勤路などの屋外、施設の共通の35項目に加え、回答対象者の現在の状況に沿った、保育園・幼稚園、小学校・中学校・高等学校、大学・専門学校など、仕事場といった空間で想定される音を挙げた(図 2-1)。また、列挙した音以外に過敏に感じる音がある場合は自由記述で回答を得た。

表 2-1 アンケート項目一覧

I	回答者対象者について(あなた/お子様ご自身についてお教えてください)
1	アンケートにお答えいただくのは、次のうちどなたですか。[単一回答]
2	性別をお答えください。[単一回答]
3	年齢をお答えください。[自由記述]
4	現在の状況をお答えください。[単一回答]
5	発達障害などに関する医師の診断を受けていますか。[複数回答]
II	聴覚過敏症状について[五段階単一回答、いつもある/よくある/ときどきある/まれにある/全くない]
1	日常生活において、周りの音を無視することにしんどさを感じますか。
2	周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。
3	周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。
4	騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。
5	通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。
6	外出先で想定される騒音が原因で、今まで誘いを断ったり、外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会、コンサート、レストランなど)
7	少しうるさい部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒音や特定の音に悩まされますか。
8	ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減弱させますか。
9	一日の終わりが近づくにつれて、騒音の中で集中することができなくなっていくますか。
10	騒音や特定の音が、ストレスやいらだちの原因になりますか。
11	これまでに聴覚過敏症状を引き起こした状況とその音について、記憶に残っている出来事について。(その時のお子様/あなたの状況や、聴覚過敏症状が引き起こされることによって困ったことがあった、など)[自由記述]
III	聴覚過敏症状を引き起こす音に関してお答えください。
1	以下の音を過敏に感じることはありませんか。(室内/屋外/施設/学校や仕事場など)[四段階単一回答、特に過敏に感じる/過敏に感じる/やや過敏に感じる/全く過敏に感じない]
2	以上の音以外に過敏に感じる音[自由記述]
3	音を過敏に感じる原因として思い当たる点[複数回答]
4	音を過敏に感じる時のあなたの状況について[複数回答]
5	過敏に感じる音に関して行っている対策[複数回答]
6	特に改善して欲しい音・場所や空間など[自由記述]

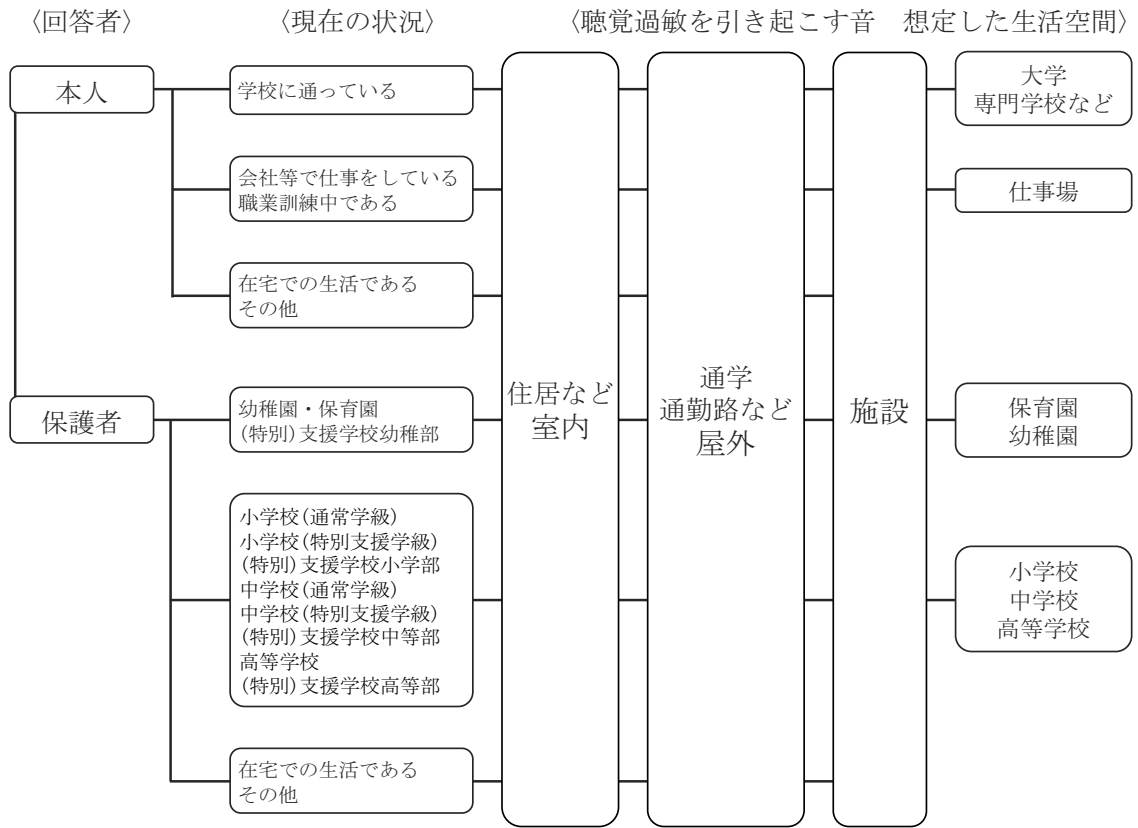


図 2-1 分岐条件

表 2-2 聴覚過敏を引き起こす音 III1

〈空間〉	〈空間で想定される音〉	〈空間〉	〈空間で想定される音〉
室内 (17音)	赤ちゃんの泣き声 咳の音 鼻をすする音 シンクに落ちる水の音 食器のぶつかる音 掃除機の音 ドライヤーの音 水洗トイレを流す音 家の中の足音 テレビ・ラジオから聞こえる音 オーディオ機器の音 ドアを開閉する音 ドアをロックする音 時計の秒針の音 空調・換気扇の音 冷蔵庫の音 電話が鳴る音	幼稚園 保育園 (6音)	保育士や先生の声 周りの園児や児童の声 机や椅子を移動させる音 鉛筆などで文字を書く音 遊戯の音楽(ピアノなどの楽器) 遊戯の音楽(CDなどのオーディオ機器)
屋外 (12音)	信号の音 踏切の音 工事現場の騒音 バイクや車のクラクション 大勢の会話や人ごみの声 救急車のサイレン 電車の発車・進入を知らせる音 バスの停車・進入を知らせる音 電車の走る音 電車のブレーキの音 選挙カーやラッピングカーの音 ヘリコプターの音	小学校 中学校 高等学校 (14音)	先生の声 周りの生徒の声 机や椅子を移動させる音 学校等のチャイムの音 鉛筆などで文字を書く音 教室でのマイクから聞こえる音 黒板を引っ掻く音 キーボードを叩く音 体育館内での声や音 運動場でマイクから聞こえる声 運動会のピストルの音 ピアノの音 リコーダーの音 その他の楽器の音
施設 (6音)	ゲームセンターやボーリング場の音 館内放送 店舗のBGM レジの操作音 トイレのエアータオルの音 祭りの和太鼓の音	大学 専門学校など (7音)	周りの学生の声 学校等のチャイムの音 机や椅子を移動させる音 鉛筆などで文字を書く音 教室でのマイクから聞こえる音 キーボードを叩く音 体育館での人の歓声
		仕事場 (4音)	周りの同僚の声 机や椅子を移動させる音 鉛筆などで文字を書く音 キーボードを叩く音

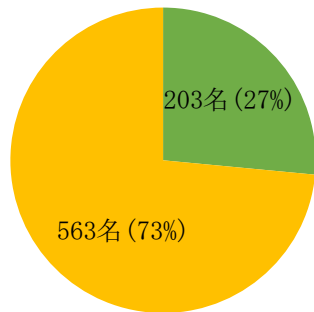
第3章 アンケート結果/分析

3.1. 概要

本章では、アンケート調査結果の分析を行う。本調査での有効回答は 766 件であった。アンケートは「Ⅰ回答対象者自身について」、「Ⅱ聴覚過敏症状について」、「Ⅲ聴覚過敏症状を引き起こす音について」の 3 部で構成される。Ⅰ回答対象者についての項目は、本調査の回答対象者の基礎情報を示すものであり、この結果について 3.2 節で示す。3.2 節では、Ⅱ聴覚過敏症状についての結果を示す。3.3 節では、聴覚過敏スコアをもとに回答者をグルーピングし過敏に感じる音と聴覚過敏症状の経験に関して分析を行う。3.3 節では、過敏に感じる音の評価結果をもとに回答者をグルーピングし聴覚過敏スコアとの関連や聴覚過敏症状に関する分析を行う。3.7 節では、Ⅱ聴覚過敏症状について、Ⅲ聴覚過敏症状を引き起こす音についての自由記述を含む項目に関する結果を述べる。

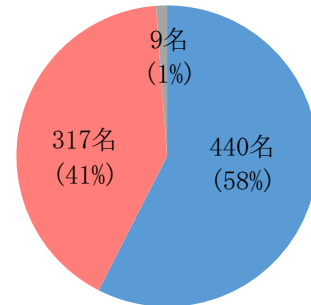
3.2. アンケート結果 Ⅰ回答対象者について

回答対象者の性別や年齢等の基礎情報を得るために設定した I 1~5 問の結果について図 3-1~3-5 に示す。回答者は保護者が 563 名(73%)、本人が 203 名(27%)、平均年齢は 16.0 才(1~68 才)、回答者全体の男女比は、男性が 58%(440 名)、女性が 41%(317 名)であった。発達障害などに関する診断については、ASD(自閉スペクトラム症:自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害などを含む)が最も多く 505 名(66%)、ADHD(注意欠陥多動症)が 226 名(30%)、LD(学習障害)が 62 名(8%)、発達障害などに関する診断を受けていないものが 136 名(18%)であった。回答対象者の現在の状況に関しては、「幼稚園・保育園に通っている、(特別)支援学校幼稚部に通っている」が 238 名(31%)、「小学校(通常学級)に通っている、小学校(特別支援学級)に通っている、(特別)支援学校小学部に通っている」が 131 名(17%)、「中学校(通常学級)に通っている、中学校(特別支援学級)に通っている、(特別)支援学校中等部に通っている」が 64 名(8%)、「高等学校に通っている、(特別)支援学校高等部に通っている」が 25 名(3%)、「在宅での生活である、その他」が 96 名(13%)であった。回答者が本人である場合のみの選択肢では、「学校に通っている」は 27 名(4%)、「会社等で仕事をしている、職業訓練中である」が 90 名(12%)であった。「その他」での自由記述の回答には、「児童発達支援」(9 名)、「療育園・療育施設」(6 名)、「フリースクール」(6 名)、「不登校」(5 名)「就労移行支援」(5 名)、「聴覚過敏悪化のために退職」という回答がみられた。



■本人 ■保護者

図 3-1 回答者



■男性 ■女性 ■その他

図 3-3 回答者全体の性別

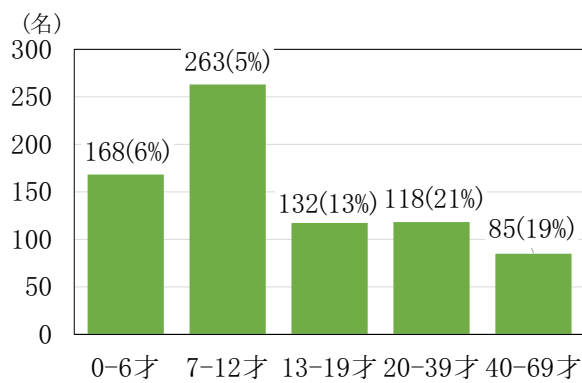


図 3-2 回答者全体の年齢分布

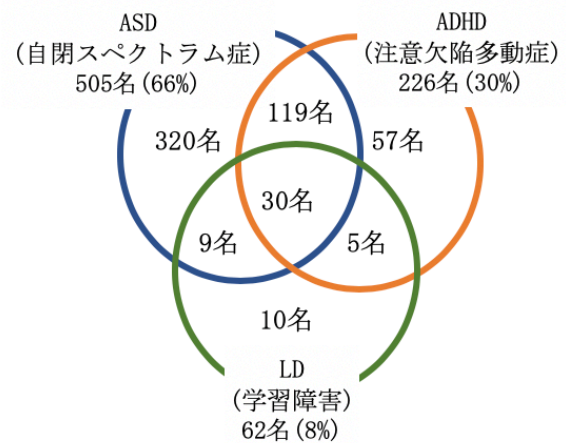


図 3-4 発達障害などに関する診断

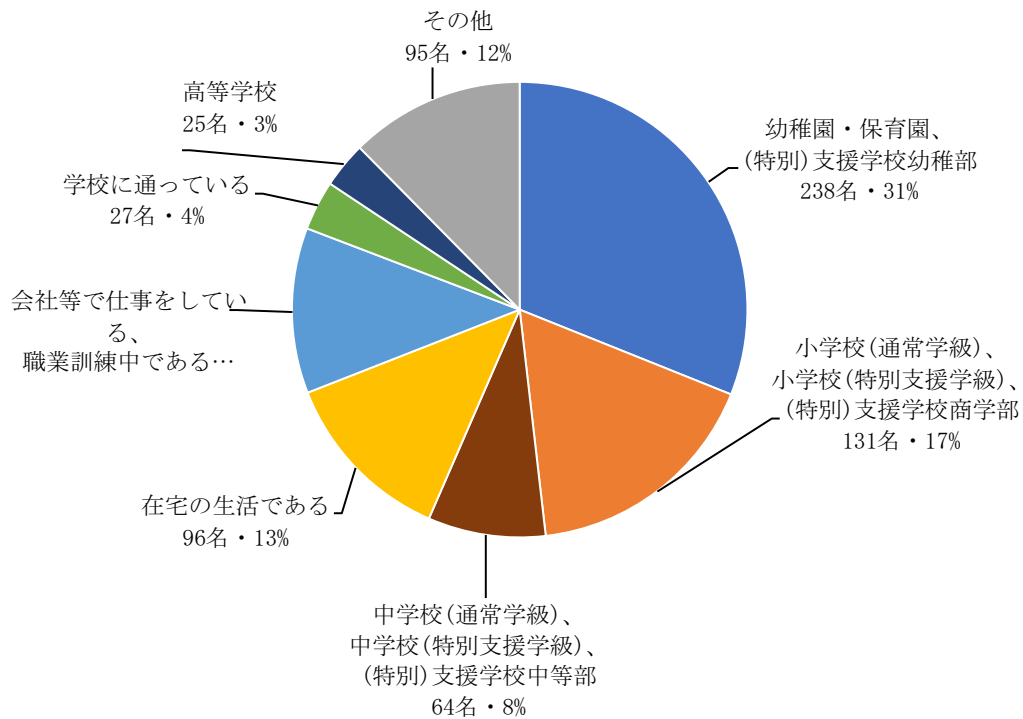


図 3-5 現在の状況

3.3. アンケート結果 II 聴覚過敏症状について

カルファの聴覚過敏尺度を参考に設定したⅡ1～10 については、「全くない/まれにある/ときどきある/よくある/いつもある」の5段階で評価を得た。また、本調査では各問の評価を「全くない(0点)/まれにある(1点)/ときどきある(2点)/よくある(3点)/いつもある(4点)」とし、10問の合計点を聴覚過敏スコアとする。図3-6に聴覚過敏スコアの分布を示す。

回答者全体の聴覚過敏スコアの平均は19.7点(0～40点)、標準偏差は7.8点であった。回答対象者を「聴覚過敏症状のあるお子さまの保護者さま」または「聴覚過敏症状のあるご本人さま」と明示し聴覚過敏の自覚がある者に限定したが、聴覚過敏スコアは0～40点の幅があった。このことから、聴覚過敏症状には幅があると考えられる。

カルファらの調査では、聴覚過敏スコア28点以上は聴覚過敏であるとしており、これは回答者の上位5%(平均+2SD)にあたる。そこで、本調査結果のスコア28点以上(回答者の上位23%、180名)の群を「聴覚過敏スコア群」、上位4%(29名)のスコア36点以上の群を「高度聴覚過敏群」、スコアが28点以下(577名77%)の群を「低スコア群」とした。

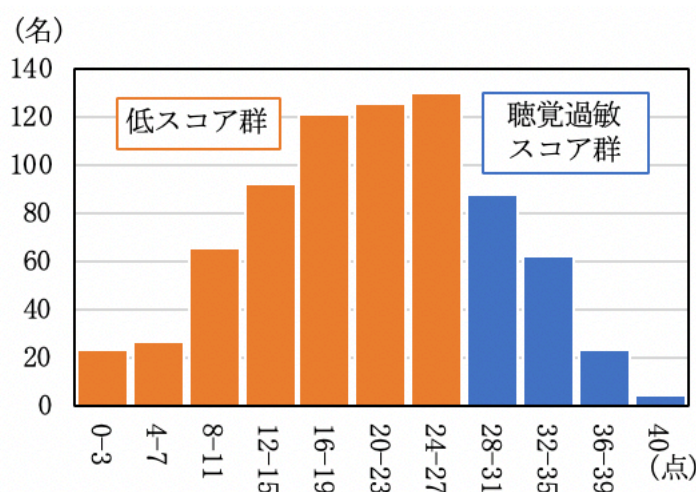


図 3-6 聴覚過敏スコアの分布

3.4. 分析手法の概要

3.5節では、前述のⅡ1～10の聴覚過敏スコアをもとに分けた群毎の分析結果について示す。3.6節では、Ⅲ1の聴覚過敏を引き起こす音の評価をもとに分けた群毎の分析結果について示す。

3.5. 聴覚過敏スコア群毎の分析

本節では、回答者をⅡ1～10の回答をもとに高度聴覚過敏スコア群、聴覚過敏スコア群、低スコア群の3群に組み分けし、アンケート結果の分析を行った。

3.5.1. I 回答対象者について

年代別の聴覚過敏スコア群の割合を図3-7に示す。各年代の聴覚過敏スコア群の割合をみると、0-6才が13%(22名)と最も低く、20-39才が最も高い42%(50名)であった。このことから本調査では、成人回答者の約半数が聴覚過敏の可能性があると示唆された²³。図3-8は年代別および回答者全体の、聴覚過敏スコア群と低スコア群の男女の割合を示す。0-6才と7-12才の未成年の回答対象者は男性の割合が高く、年代が高くなると女性の割合が増加し、成人では女性の割合が高い。回答全体では、聴覚過敏スコア群の判定と性別の有意性は認められたが²⁴、年代毎における検定では全ての年代において聴覚過敏スコア群の判定と性別の有意性は認められなかった。

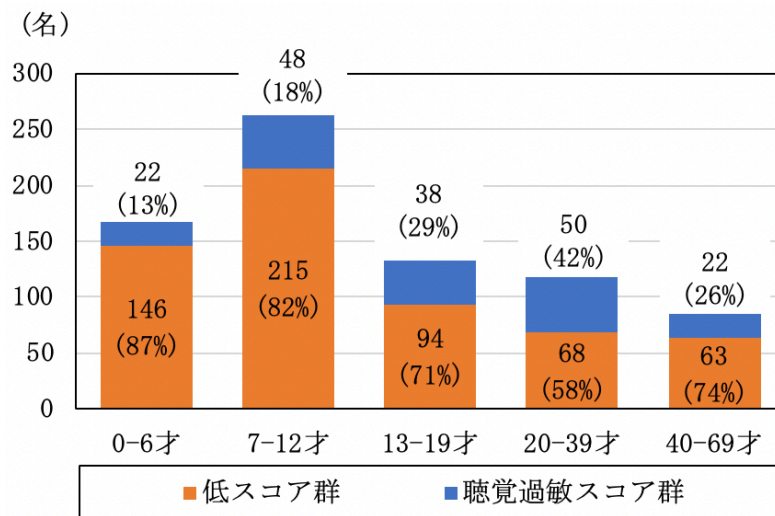


図 3-7 年代毎のスコア群の割合

²³ 聴覚過敏スコア群の判定と年代区分をカイ二乗検定により検証した結果、有意性が認められた。
P < 0.0001

²⁴ カイ二乗検定より P < 0.0001

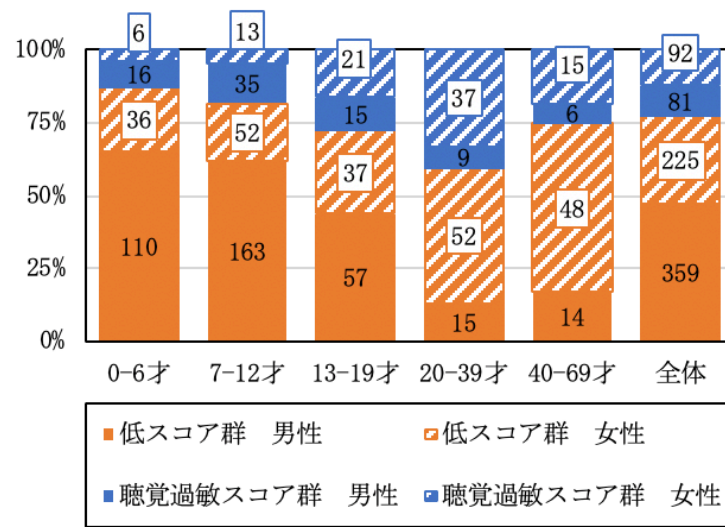


図 3-8 男女の割合

3.5.2. II 聴覚過敏症状について

■ 5段階評価の各項目指摘率

II1～10の回答を「全くない(0点)/まれにある(0点)/ときどきある(0点)/よくある(1点)/いつもある(1点)」の4段階で評価を得た。「よくある/いつもある」を1点として各項目の経験が「ある」とした指摘率を算出した。表3-1に各群および回答全体の指摘率を示す。

高度聴覚過敏スコア群では多くの項目で100%に近い指摘率を示した。II2「周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか」、II8「ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減衰させますか」、II10「騒音や特定の音が、ストレスや苛立ちの原因になりますか」は、低スコア群でも比較的高い指摘率を示した。これらの項目は一般の人にも多い経験であると考えられる。II7「少しうるさい部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒音や特定の音に悩まされますか」は回答者全体では19.1%、低スコア群では10%と低い指摘率であるが、聴覚過敏スコア群においては、他の9項目と比較すると低いもののおよそ半数の指摘率が示された。

表 3-1 スコア群毎の指摘率[%] II 1～10

	回答全体	聴覚過敏スコア群	高度聴覚過敏スコア群	低スコア群
II1 日常生活において、周りの音を無視することにしんどさを感じますか。	37	81	93	23
II2 周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。	53	91	100	41
II3 周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。	31	68	93	19
II4 騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。	48	89	100	35
II5 通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。	39	87	100	24
II6 外出先で想定される騒音が原因で、今まで誘いを断ったり、外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会、コンサート、レストランなど)	34	76	100	21
II7 少しうるさい部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒音や特定の音に悩まされますか。	19	48	59	10
II8 ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減弱させますか。	56	94	100	44
II9 一日の終わりが近づくにつれて、騒音の中で集中することができなくなっていますか。	34	68	90	23
II10 騒音や特定の音が、ストレスやいらだちの原因になりますか。	62	96	100	52

指摘率[%]= 0～50

50～75

75～100

3.5.3. Ⅲ聴覚過敏を引き起こす音について

■ 4段階評価の各項目指摘率

Ⅲ1では、室内、屋外、施設などにおける生活空間で想定される35音を列挙し、それぞれの音について「特に過敏に感じる(1点)/過敏に感じる(1点)/やや過敏に感じる(0点)/全く過敏に感じない(0点)」の4段階で評価を得た。「過敏に感じる」以上を1点としてそれぞれの音を「過敏に感じる」とした指摘率を求めた。表3-2に、高度聴覚過敏スコア群、聴覚過敏スコア群、および低スコア群の各音の指摘率を示す。聴覚過敏スコア群において特に指摘率が高く示された音は、1「大勢の会話や人ごみの声」、2「選挙カーやラッピングカーの音」、3「工事現場の騒音」、4「バイクや車のクラクション」であり、70%以上の方が過敏に感じると指摘していた。低スコア群と比較すると、高度聴覚過敏スコア群では、2「選挙カーやラッピングカーの音」、6「ゲームセンターやボーリング場の音」、25「バスの停車・進入を知らせる音」が特に指摘率が高く示された。これらの音には、「音が大きい」、「空間やサービスを利用する間に一定期間発生し続ける」、「自分ではコントロールできない」といった特性があると考えられる。

表 3-2 スコア群毎の指摘率[%] III1

	聴覚過敏スコア群	高度聴覚過敏スコア群	低スコア群
1大勢の会話や人ごみの声	88	86	29
2選挙カーやラッピングカーの音	77	90	22
3工事現場の騒音	74	90	41
4バイクや車のクラクション	73	93	55
5赤ちゃんの泣き声	68	59	15
6ゲームセンターやボーリング場の音	67	76	18
7掃除機の音	66	72	26
8救急車のサイレン	63	69	21
9電車の走る音	62	69	24
10トイレのエアータオルの音	61	79	32
11ヘリコプターの音	61	79	34
12祭りの和太鼓の音	59	75	24
13テレビ・ラジオから聞こえる音	57	66	23
14食器のぶつかる音	55	86	33
15電車のブレーキの音	55	83	40
16電車の発車・進入を知らせる音	54	59	13
19踏切の音	53	83	40
17ドライバーの音	53	55	13
18電話が鳴る音	53	31	6
20店舗のBGM	52	59	5
21館内放送	51	72	24
22オーディオ機器の音	50	55	16
23空調・換気扇の音	49	59	10
24ドアを開閉する音	45	38	13
25バスの停車・進入を知らせる音	44	83	21
26時計の秒針の音	42	69	21
27咳の音	41	45	12
28冷蔵庫の音	36	66	26
29家の中の足音	34	69	30
30水洗トイレを流す音	33	38	12
31鼻をすする音	32	52	12
32ドアをロックする	32	52	17
33シンクに落ちる水の音	31	69	24
34レジの操作音	30	79	42
35信号の音	27	72	20

指摘率[%]= 0～50

50～75

75～100

3.6. 音の評価スコア群毎の分析

本節では、回答者をⅢ1の回答をもとにクラスター分析を行い群分けし、分析を行う。

Ⅲ1では、列挙された35音に対して「特に過敏に感じる(3点)/過敏に感じる(2点)/やや過敏に感じる(1点)/全く過敏に感じない(0点)」の4段階で評価を得た。これらの回答をもとに、クラスター分析を行った結果、以下図3-9～3-10に示す4群に分けられた。各音の過敏性の評価点が高い群から順にH(High)群、UM群(Upper Middle)群、LM(Lower Middle)群、L(Low)群とする。

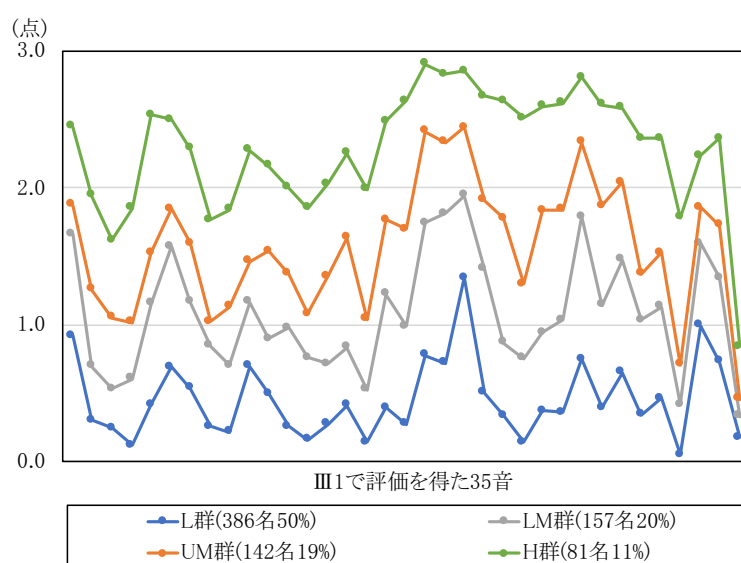


図 3-9 35音の評価点

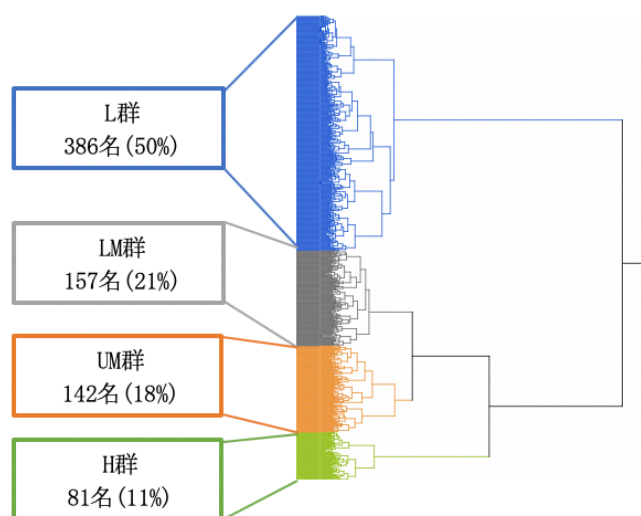


図 3-10 4群の分類

3.6.1. I 回答対象者について

年代別の各群の割合を図 3-11 に示す。各群の平均年齢は、H 群が 23.3 才、UM 群は 21.3 才、LM 群は 18.2 才、L 群は 12.5 才であった。L 群は未成年の代では半数以上の割合を占めており、若年者が多い群であることがわかる。一方、H 群は各年代に含まれる割合は低く、その中でも成年の年代に含まれる割合が高いことから成年者が多い群であるといえる。また、LM 群と UM 群は各年代で 20%前後の一定の割合を占めている。このことから、音の過敏性の評価点が高い回答対象者は成年に多く含まれることがわかる。

図 3-12 は年代別および回答者全体の、各群の男女の割合を示す。回答者全体の傾向としては、0-6 才と 7-12 才の未成年では男性の割合が高く、年代が高くなると女性の割合が増加しており、特に 20-39 才と 40-69 才代では女性の割合が高い。各群においても同様の傾向はみられる。4 群すべてにおいて、0-6 才と 7-12 才では男性の割合が高く 70%前後を占めている。また、20-39 才と 40-69 才では 64%～91%の割合で女性の回答が多い。13-19 才では、L 群と LM 群では男性の割合が高く、UM 群と H 群では女性の割合が高く示されている。

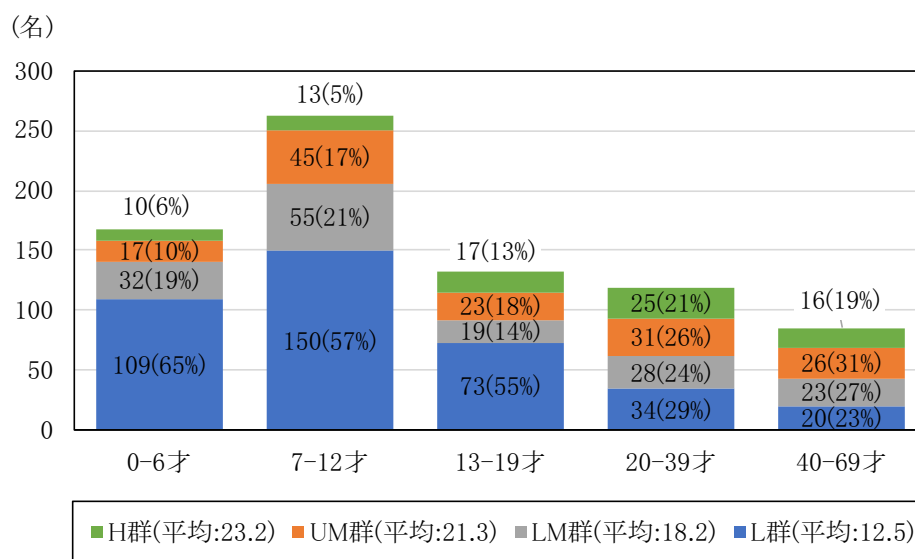


図 3-1 1 年代毎の各群の割合

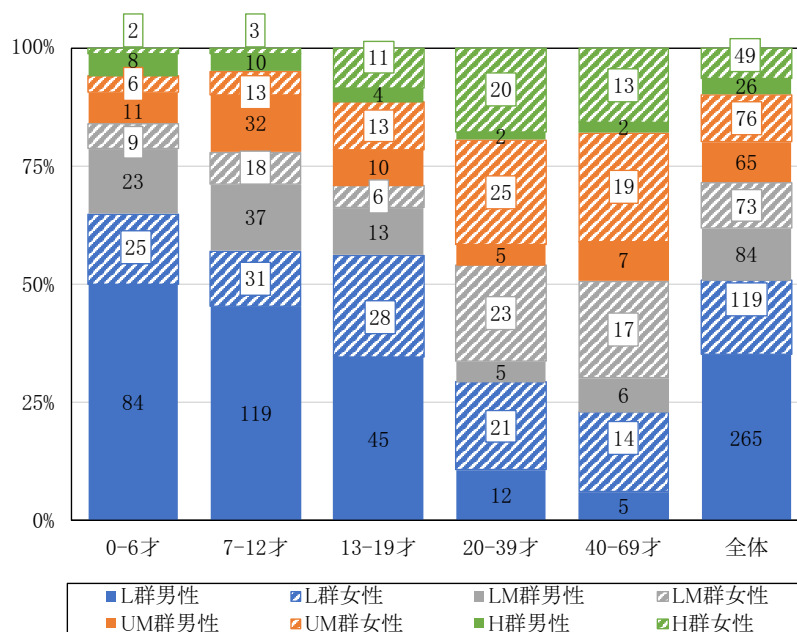


図 3-1 2 図 3-1 3 男女の割合

3.6.2. II 聴覚過敏症状について

■ 聴覚過敏スコア

II 1～10 の回答を「全くない(0点)/まれにある(1点)/ときどきある(2点)/よくある(3点)/いつもある(4点)」とし、10問の合計点を聴覚過敏スコアとする。

各群の聴覚過敏スコアの分布は下図 2-14 の通りであった。L 群の平均が 17.2 点、LM 群の平均が 21.2 点、UM 群の平均が 24.7 点、H 群の平均が 31.0 点であった。

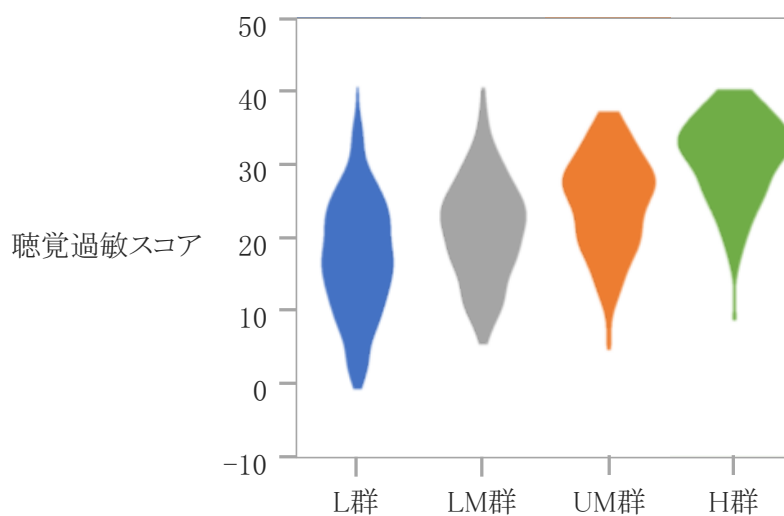


図 3-1 4 聴覚過敏スコアの分布

■ 5段階評価の各項目指摘率

Ⅱ1～10の回答を「全くない(0点)/まれにある(0点)/ときどきある(0点)/よくある(1点)/いつもある(1点)」の4段階で評価を得た。「よくある」「いつもある」を1点として各項目の経験が「ある」とした指摘率を算出した。表3-3に各群と回答全体の指摘率を示す。

H群では多くの項目で高い指摘率を示した。Ⅱ7「少しうるさい部屋にいる時よりも静かな場所にいる時の方が、騒音や特定の音に悩まされますか」はH群では44%と比較的低い指摘率を示しているが、この項目はL群、LM群、UM群、回答者全体の指摘率と比較すると倍近い指摘率となっている。Ⅱ2「周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか」、Ⅱ8「ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減衰させますか」の項目については、音の過敏性の評価点が低いL群においても50%に近い指摘率を示しており、一般に多い聴覚過敏症状の経験であると考えられる。

表 3-3 群毎の指摘率[%] Ⅱ1～10

	回答全体	L群	LM群	UM群	H群
Ⅱ1 日常生活において、周りの音を無視することにしんどさを感じますか。	37	39	55	68	86
Ⅱ2 周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。	53	23	37	50	77
Ⅱ3 周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。	31	24	25	40	57
Ⅱ4 騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。	48	35	46	64	83
Ⅱ5 通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。	39	24	37	54	83
Ⅱ6 外出先で想定される騒音が原因で、今まで誘いを断ったり、外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会、コンサート、レストランなど)	34	24	33	41	69
Ⅱ7 少しうるさい部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒音や特定の音に悩まされますか。	19	12	18	24	44
Ⅱ8 ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減弱させますか。	56	41	57	75	89
Ⅱ9 一日の終わりが近づくにつれて、騒音の中で集中することができなくなっていますか。	34	24	24	48	73
Ⅱ10 騒音や特定の音が、ストレスやいらだちの原因になりますか。	62	51	58	80	90

指摘率[%]=

0～50
50～75
75～100

3.6.3. Ⅲ聴覚過敏を引き起こす音について

■ 4段階評価の各項目指摘率

Ⅲ1では、室内、屋外、施設などにおける生活空間で想定される35音を列挙し、それぞれの音について「特に過敏に感じる(1点)/過敏に感じる(1点)/やや過敏に感じる(0点)/全く過敏に感じない(0点)」の4段階で評価を得た。3.5.3と同様に「過敏に感じる」以上を1点としてそれぞれの音を「過敏に感じる」とした指摘率を求めた。表3-4に群毎の各音の指摘率を示す。この表は、UM群の指摘率の降順にソートしている。

1「バイクや車のクラクション」、7「赤ちゃんの泣き声」、13「レジの操作音」、15「トイレのエアータオルの音」、20「テレビ・ラジオから聞こえる音」は、音の過敏評価点が低いL群においても21%以上の指摘率を示しており、これらの音は一般的に過敏に感じやすい音であると示唆された。特に1「バイクや車のクラクション」は、L群においても約半数の人が過敏に感じると指摘している。また、室内で発生する音である10「掃除機の音」は、音の過敏評価点が比較的低いLM群でも50%以上の指摘率を示すことから、この音も一般に過敏に感じやすい音であると考えられる。

1～6、8、9、11、12、16、27は屋外で発生する音として挙げた音である。これらの音の中では、1「バイクや音のクラクション」、2「工事現場の騒音」、3「踏切の音」、4「電車のブレーキの音」は特に指摘率が高く示されており、UM群では80%以上、H群では90%以上の指摘率となっている。27「電車の発車・進入を知らせる音」はH群では90%の高い指摘率を示しているが、UM群では39%、LM群では13%、L群では1.3%の指摘率にとどまっており、この音は音の過敏評価点が高い群において過敏に感じる率が高い音であると考えられる。同様に、25「ゲームセンターやボーリング場の音」に対しても、H群は86%の指摘率であるが、UM群では41%、LM群では25%、L群では8%の指摘率となっている。

以上のことから、H群とUM群において指摘率が高く示された2「工事現場の騒音」、3「踏切の音」、4「電車のブレーキの音」と、特にH群において指摘率が高く示された27「電車の発車・進入を知らせる音」、25「ゲームセンターやボーリング場の音」の音が過敏性を引き起こす音と考えられる。また、これらの音には「音が大きい」、「発生が予測できない」、「自分ではコントロールできない」の特性があるといえるだろう。

表 3-4 スコア群毎の指摘率[%] 1～10

	L群	LM群	UM群	H群
1バイクや車のクラクション	44	67	89	99
2工事現場の騒音	20	59	87	98
3踏切の音	20	59	86	98
4電車のブレーキの音	20	61	85	98
5ヘリコプターの音	19	46	71	93
6大勢の会話や人ごみの声	12	42	67	95
7赤ちゃんの泣き声	28	55	65	79
9選挙カーやラッピングカーの音	8	27	64	91
8電車の走る音	9	26	64	90
10掃除機の音	17	53	63	90
11バスの停車・進入を知らせる音	9	21	63	93
12救急車のサイレン	8	18	62	94
13レジの操作音	34	48	60	79
14電話が鳴る音	9	36	60	89
15トイレのエアータオルの音	21	42	59	79
16信号の音	6	21	56	96
17ドライバーの音	13	33	54	81
18空調・換気扇の音	10	21	54	80
19オーディオ機器の音	13	23	51	79
20テレビ・ラジオから聞こえる音	21	36	49	89
22食器のぶつかる音	10	38	48	91
21館内放送	12	32	48	85
23祭りの和太鼓の音	17	33	45	84
24ドアを開閉する音	4	25	45	69
25ゲームセンターやボーリング場の音	8	25	42	86
26時計の秒針の音	6	20	42	73
27電車の発車・進入を知らせる音	1	13	39	90
28咳の音	8	15	37	67
29家の中の足音	4	13	30	64
31シンクに落ちる水の音	2	16	30	62
30鼻をすする音	7	9	30	52
32ドアをノックする	4	18	29	64
33冷蔵庫の音	3	10	29	69
34水洗トイレを流す音	7	19	25	58
35店舗のBGM	1	7	15	63

指摘率[%]= 0～50

50～75

75～100

3. 7. 回答者全体の分析

3. 7. 1. 聴覚過敏を引き起こす音[自由記述]

Ⅲ1で列挙した音のほかに過敏に感じる音を自由記述で回答する設問では、308件の回答が得られた。308件の回答中に、514件の音が挙げられていた。挙げられていた音を音の特性や音の種類で回答を分類した。音の特性で分類した回答と各音の指摘数を表3-5に示す。

挙げられていた音は、次の17のカテゴリーに分類される。音声、くしゃみ、いびき、咳といった人が発生する音を「音声」、室内の歩行音や食器の音など生活の中で発生する音を「生活雑音」と分類した。同様に、音の発生源をもとに、雷や風などの音は「自然音」、楽器や音楽に関するものは「楽器・音楽」、警報や着信音などは「サイン音」、車のエンジン音や電車の走行音は「乗り物」に分類した。また、機械を発生源とする音の中でも自宅で発生が想定される音については「生活機械音」、屋外などでの発生が想定される音は「機械音」と分類した。「衝撃音」、「摩擦音」、「軋み音」、「拡声音」のカテゴリーは音の特性をもとに分類を行っており、それぞれのカテゴリーには、花火や風船の割れる音、紙や衣類の擦れる“軽い”摩擦音や金属や陶器が擦れる“重い”摩擦音、つり革の軋む音、マイクを通した音などの音が含まれている。これらの具体的な音を挙げていた回答のほか、特定の空間で特定の音を過敏に感じると記述していたものや、音の大きさといった音の特性を記述する回答も多く、それらは「音源の特徴」、「特定の空間での音」に分類した。

音声の中では、子供の声、咀嚼音、人の話し声、女性の声が多く挙げられていた。子供の声の中では、子供の奇声、子供の甲高い声、子供の金切り声の回答が多い。また、女性の声では、女性の高い声や「女子の高音」の回答が多くみられることから、人の声の中でも特に高い音を過敏に感じると考えられる。人の話し声²⁵には、大勢の人の話し声や人のザワザワ声²⁵が過敏に感じるという指摘が多かった。咀嚼音を過敏に感じるという回答では、「咀嚼音のひどい人がいると、その音が気になって仕方がない」という他人の咀嚼音を挙げていた回答のほかに、「自分がものを食べる時の音」という自分自身の咀嚼音を過敏に感じるという回答もみられた。ほかにも、瞬きの音や心拍の音など自分自身が発する音を挙げていた回答もある。「突然怒鳴られるとパニックを起こす」、「教員などから不意にかけられる声。それが大きかったりすると尚更のこと、驚いてパニックになり固まる」という回答や、くしゃみの回答が多数あることから、突然の大きな音を過敏に感じると考えられる。

生活雑音の中では、シャワー音の水回りの音、テレビのクイズ番組で流れる不正解のブザー音、足音が多く挙げられていた。

²⁵ カテゴリー「人の話し声」には、音声に分類される音を挙げていた回答のうち話者を女性や子供に限定しない回答を分類した。

衝撃音の中では、花火の音が特に回答が多く得られた。ボールを地面に打つ音、木のおもちゃがぶつかる音などの物と物がぶつかる音や、風船の割れる音、運動会のピストルの音の回答が多く得られた。また、風船の音を過敏に感じる音として挙げている回答の中では、「風船の破裂音が怖いので、風船をみたら防御します」や「風船は近くを通るのも怖い」という状況が示されていた。ほかに、「クラシックのコンサートを聴きに行った感想が、曲と曲の間に床に落ちたアンケート回答用の鉛筆の音」の回答もあり、集中などの妨げになる状況が示唆されていた。

サイン音の中では、警報系の音、アラーム系の音が特に多く挙げられていた。警報系の音では、地震速報の音、火災報知機の音、電車の警笛や車のクラクション、緊急車両のサイレンが指摘されていた。アラーム系の音では、キッチンタイマーや玄関チャイムが挙げられていた。これらの音には、緊急性や危険性などを知らせる目的を持つ音であることから、ある程度の大きさを持ち突発的に発生する特性があると考えられる。

楽器の中では、トランペットなどの金管楽器、ソプラノサックス、ホイッスル、ピアノ、リコーダー、太鼓などの特定の音が挙げられていた。特に、高音の楽音を過敏に感じるという回答が複数個みられた。音楽の中では、「キーを移動した音楽」や「音楽は最初に聞いたものと音階が違くと音が違くと悩み苦しくなるらしい」という回答がみられた。また、「音程が悪い楽器の音」「下手な楽器演奏の音」「吹奏楽やテレビで音が外れているのを聞いたとき」「調子はずれの歌声」「不調和音」などの回答もあった。

自然音の中では、雷の音、風音、雨音の回答が多く得られた。風音については、強風や隙間風の音、風切り音の回答がみられた。

乗り物の音の中では、自動車の指摘が多かった。自動車の音を過敏に感じるという回答の中でも、特に車のエンジン音の回答が多く得られたほか、自動車やトラックの走行音やブレーキの回答も複数得られた。トラックのエアブレーキを過敏に感じるという指摘も複数あり、その中には「バスの停車時に鳴る「プシュー」というエアーの音。保育園の帰りに乗る路線バスは、毎回耳を塞いで音が鳴るのを待ってから乗車します」という回答があった。ほかの乗り物の音では、上空を通過する飛行機の音、地下鉄や新幹線の走行音、自転車のベル、ヘリコプターが挙げられていた。その中でも、地下鉄と新幹線の走行音に関して、「地下鉄がどこかで走っている音をホームで聞くと、恐がる」「新幹線が通る過ぎる音は耳をふさいでいる」と回答されていた。

生活機械音の中では、洗濯機、掃除機、給湯器、換気扇、送風機や扇風機、食洗機、トイレ用擬音装置の回答が複数得られた。

動物の鳴き声の中では、犬の鳴き声が特に指摘が多かった。他には、蟬の声、カラスや鳥の鳴き声、昆虫が飛ぶ音を過敏に感じるという回答がみられた。

摩擦音の中では、ノートや教科書などの紙、衣類、発泡スチロー、レジ袋や紙袋などの“軽い”物が擦れることにより生じる摩擦音が挙げられていたほか、フライパンと金属ヘラなどの金属同士、椅子と床、陶器の食器などの“硬い・重い”物が擦れることにより生じる摩擦音が挙げられていた。

機械音では、ボイラー、エアタオル、エアコン、スーパーのレジの機械から発する音などの回答があった。また、「機械から聞こえるモスキート音のような電子音(普通の人が聞こえない高さだと思います)」、「他の人には聞こえていない非常に高い音(バスケットシューズがキュッキュッと鳴るような音)が自動ドア付近で聞こえて耳に刺さるように痛い」や「機械音で耳を塞いでうずくまります」の回答のように、特に機械から発する高音の音を過敏に感じるとの回答や機械音全般を過敏に感じるという回答も得られた。

特定の空間で発生する音を回答しているでは、映画館の音、工場、コンクリート打ち放し、屋内プール、体育館、風呂の空間が挙げられていた。これらの回答では、その空間で発生する音の響きが大きいため過敏に感じると多く回答されていた。

以上の音のほか、過敏に感じる音として挙げられていたのは、拡声器やスピーカーから発生する音、吊革の軋む音や扉が軋む音、チョークで黒板に書く音であった。また、「ネガティブな感情(憎しみ、怒り、自己満足)がこもった声」、「自分のことが言われているとき」、「人の悪口」、「外国語」などの話している内容を過敏に感じる音として挙げている回答もみられた。

過敏に感じる音として特定の音を挙げるのではなく、過敏に感じる音源の特徴の回答も得られた。その中では、音源の大きさや、音源の多さ、音源が不明であること、音の高さの回答があった。音源の大きさでは、「音量が大きくなるさい音が鳴っているとあらかじめ知っている場所は、行かないように本人が避ける」や、「音の種類ではなく不意の大きな音にすごく不安を感じるようです」の回答のように、大きな音や急に発生する大音量の音を過敏に感じると回答していた。また、「いくつかの音が重なる環境(喋りが声、BGM、館内放送など三つ以上)」、「空間の色々な音が同時に同じ音量で聞こえてパニックになったりした」のように複数の音が聞こえる状況で音を過敏に感じると回答するものもあった。「見えない所で花火や他の音が聞こえた時」や「発生源が不明な突然発生する『ガタン』というような大きな音」のように、音源位置が不明な音や音源の発生が不明な音を過敏に感じるとする回答も見られた。

表 3-5 聴覚過敏を引き起こす音 自由記述 III1

カテゴリー	指摘数	挙げられていた音	指摘数
音声	134	子供の声	27
		咀嚼音	20
		人の話し声	13
		女性の声	11
		怒鳴り声	10
		突発・大音量系	9
		くしゃみ	8
		笑い声	3
		咳払い	3
		いびき	3
		溜め息	3
		口調	2
		咳	2
		呼吸音	1
		高周波音	1
その他の音声	18		
生活雑音	63	水回り	7
		TV	5
		歩行音	5
		人混み	5
		調理音	4
		潰す系	3
		足音	3
		食器の音	3
		マジックテープ	2
		鼻をかむ音	2
		扉の開閉音	1
		時計	1
		その他生活雑音	19
衝撃音	43	花火	17
		ぶつかる系	10
		風船の割れる音	6
		ピストル	5
		ドアの開閉音	4
		その他衝撃音	1

カテゴリー	指摘数	挙げられていた音	指摘数
サイン音	36	警報系	13
		アラーム系	7
		電子音	4
		着信音	3
		サイン音	3
		おもちゃ	2
		機械電気音	1
		サイン音全般	1
楽器・音楽	34	楽器の音	22
		音楽	9
		BGM	1
		その他の楽器・音楽	2
自然音	32	雷	11
		風	11
		雨	6
		風切り音	2
		水	1
		全般	1
乗り物	31	自動車	19
		飛行機	5
		電車	4
		自転車	1
		ヘリコプター	1
		全般	1
		生活機械音	31
換気扇	2		
周波数	2		
掃除機	3		
扇風機系	2		
給湯器	3		
換気扇	2		
音姫	2		
PC	2		
テレビ	1		
加湿器	1		
その他家電	8		

カテゴリー	指摘数	挙げられていた音	指摘数
動物の鳴き声	24	動物	14
		昆虫	8
		全般	2
摩擦音	23	軽い系	15
		重い系	8
機械音	23	機械電気音	10
		その他機械	9
		扇風機系	2
		エアコン	1
		全般	1
拡声音	5	拡声音	5
軋み音	4	軋み音	4
話している内容	4	話している内容	4
自分の音	2	自分の音	2
音源の特徴	18	音源の大きさ	6
		音源の不明さ	6
		音源の多さ	3
		音の高さ	2
		疲労	1
特定の空間での音	12	映画館	5
		その他の空間	2
		工場	1
		コンクリート空間	1
		プール	1
		体育館	1
		風呂	1

3.7.2. III3 過敏に感じる原因

III3 の設問では、音を過敏に感じる原因として思い当たる点を次の選択肢から該当するものを回答させた。

非常に大きい/圧迫感がある/突然発生する/衝撃性がある/避ける事ができない/静かな空間であるために際立って聞こえる/思い当たる原因はない/その他(自由記述)

なお、この設問は複数回答可能である。

図 3-15 は回答者全体の結果を示す。過敏に感じる原因として最も回答が多く得られたのは「突然発生する」であった。また、音を「避ける事ができない」ために過敏に感じる、音が「非常に大きい」ために過敏に感じるという回答も 40%以上得られている。同様に、III2 の設問の回答の中でも大きさや発生予測ができない音源を過敏に感じるという回答が複数あった。

また、「静かな空間であるために際立って聞こえる」ために過敏に感じると回答するものは 23%であった。他に挙げた原因と比較すると回答率は低いが、設問 III2 では「クラシックのコンサートを聴きに行った感想が、曲と曲の間に床に落ちたアンケート回答用の鉛筆の音。普通の人気が気にしない音によく反応していた」、「静かな環境下での人の話声」という回答もあり、音源の大きさなどの性質に加えて、その音が発生する空間や環境も過敏性に影響を与えるとわかる。

自由記述では表 3-6 に示す内容が過敏に感じる原因として挙げられていた。特に音の高さや低さを原因として挙げるものが多く、高い音や低い音を過敏に感じるという回答のほか、特定の音の高さであるために過敏に感じるとする回答も見られた。また、「複数の音が重なって聞こえる」、「情報の取捨選択ができない特性のため、すべての音を拾ってしまうために疲れる」という、複数の音が混ざるために過敏に感じるとする回答も多数得られた。設問 II2 でも同様の回答がみられたが、本設問の回答にも音源の不明さを過敏の原因として挙げる回答は複数みられ、それらの回答では音源の内容・目的が不明であること、音源自体が不明であることを過敏に原因としていた。音が繰り返される、終わりがわからない、常に継続して発生しているから、のように音の継続を過敏に感じる原因として挙げるものもあった。以上の音源の特性を過敏に感じる原因として挙げている回答のほか、不安やストレスを感じている時や集中したい時などの本人の状態を過敏に感じる原因として挙げている回答も得られた。

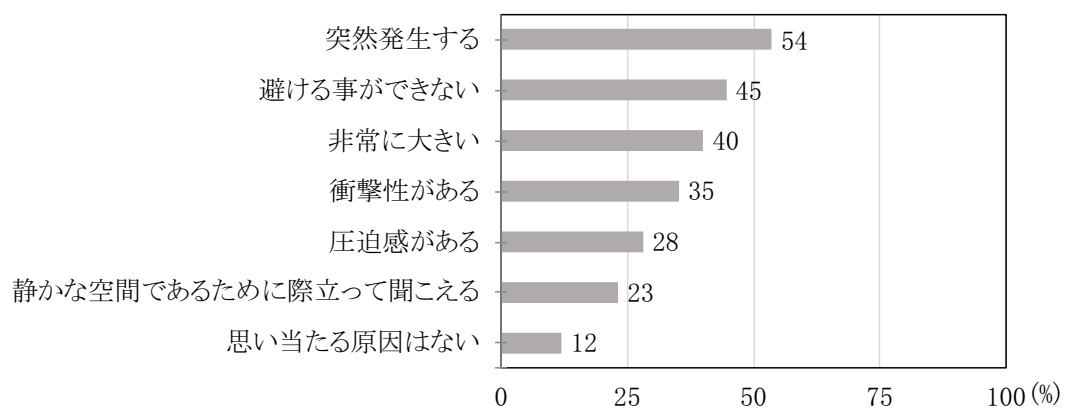


図 3-15 過敏に感じる原因[%]

表 3-6 過敏に感じる原因 自由記述

過敏に感じる原因	指摘数
音の高さ/低さ	12
複数の音源が混ざる	9
音源の不明さ	6
音源が継続する	6
連想させる	3
ストレス感じている	3
疲労している	3
集中している	3
緊張している	2
話している内容	3
トラウマ	1

3.7.3. III4 過敏に感じる時の状況

III4 の設問では、音を過敏に感じる時の本人の状況について選択肢から該当するものを回答させた。

回答者全体の結果を図 3-16 に、自由記述で得られた回答について表 3-7 に示す。およそ半数が「不安を感じている時」に過敏に感じると回答していた。また回答者の 40%が「常に過敏に感じる」と回答しており、聴覚過敏の症状は頻回に引き起こされていると示唆された。

自由記述では、疲れている時や睡眠不足の時などの「体調が優れない時」と近しい状況と考えられる回答や、ストレスやイライラを感じている時の回答が得られた。また、「集中しなくてはならない時に敏感に音を拾ってしまい、集中力が削がれる」のように集中している時や集中しようとしている時に過敏に感じるという回答も複数得られた。

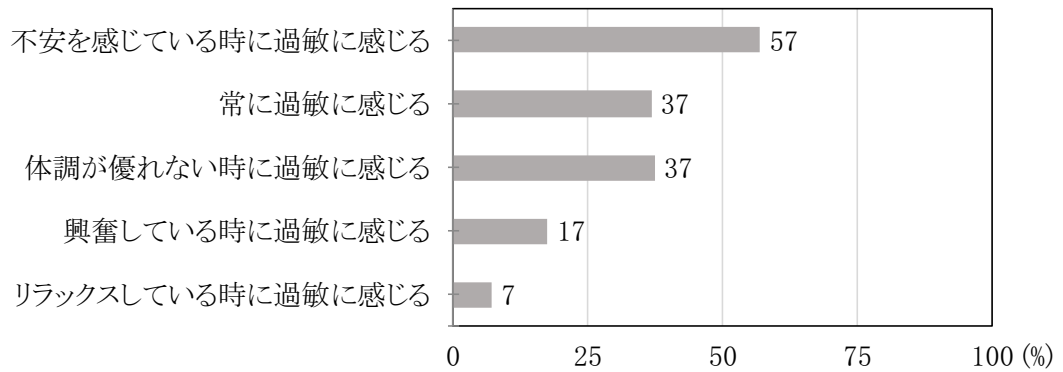


図 3-16 過敏に感じる時の状況[%]

表 3-7 過敏に感じる時の状況 自由記述

過敏に感じる時の状況	指摘数
疲れている時	9
集中している時/しようとしている時	8
睡眠不足	3
ストレス	3
イライラ	1
就寝時	1
工作中	1

3.7.4. Ⅲ4 行っている対策

設問Ⅲ4では、過敏に感じる音に関して行っている対策について、選択肢から該当するものを回答させた。回答者全体の結果を図3-17に、自由記述で得られた回答を表3-8に示す。

特に回答が多かったのは、部屋や場所を変えて静かな場所へ移動する対策や、イヤーマフ・耳栓等をつける対策であり、回答者の70%前後がこれらの対策を行っていると回答していた。

自由記述の中では、耳を塞ぐ対策が特に多く挙げられていた。その回答の中では、手で耳を塞ぐという回答のほかノイズキャンセリングイヤフォンを身につけ音楽は流さずに耳栓として利用するという回答もあった。また、イヤフォン・ヘッドフォンで音楽を聴く対策も26%の回答者が選択していることから、イヤーマフ、耳栓、手、イヤフォン、ヘッドフォンなどで耳を塞ぐ対策は聴覚過敏に対して広く講じられている対策であると考えられる。

人ごみを避ける、過敏に感じる音のない別の経路を選ぶ、バスや電車を利用しないという対策は、過敏に感じる音を周囲から除外避ける対策に分類されるであろう。自由記述の中でも、「花火や映画をさける」、「子供がトイレから出たところで(水を)流す」のように同様の対策が挙げられていた。また、外出自体を避けるという回答も複数みられた。「あまり外出する機会が無くなった」「外出はほとんどしないようにしている、家の中では子供部屋は防音対策をしている」とあり、聴覚過敏のために外出が困難な状況が生じていることがわかる。

当事者が子どもの場合、保護者が音の発生を知らせたり、音の目的や発生源を事前に説明することで、子どもに心の準備を促す対策を立てているという回答が得られた。また、抱きしめたり話しかけることで安心感を与えるような対策も取られていた。

また、小さい声で話すように相手をお願いする、騒がないように周囲をお願いする対策は11%の回答者が行っている対として回答していた。これらの対策と同様に周囲に配慮を依頼する対策は自由記述の中でも複数回答されていた。それらの回答では「携帯の着信音が鳴ったらすぐ出てもらえるように促す」、「(美容院で)自分でドライヤーを使わないとうをお願いする」、「店内のBGMは下げて貰えるようにお願いします」という配慮を依頼する回答があった。しかし、「仕事中にお喋りの酷い人には注意してもらおうよう上司に相談する(ただしそれで上手くいった試しはない)」という回答や、行政や警察、区役所に相談したが取り合ってもらえなかったという回答もあり、配慮や対策を依頼するものの実現に至らない状況があることが示唆された。

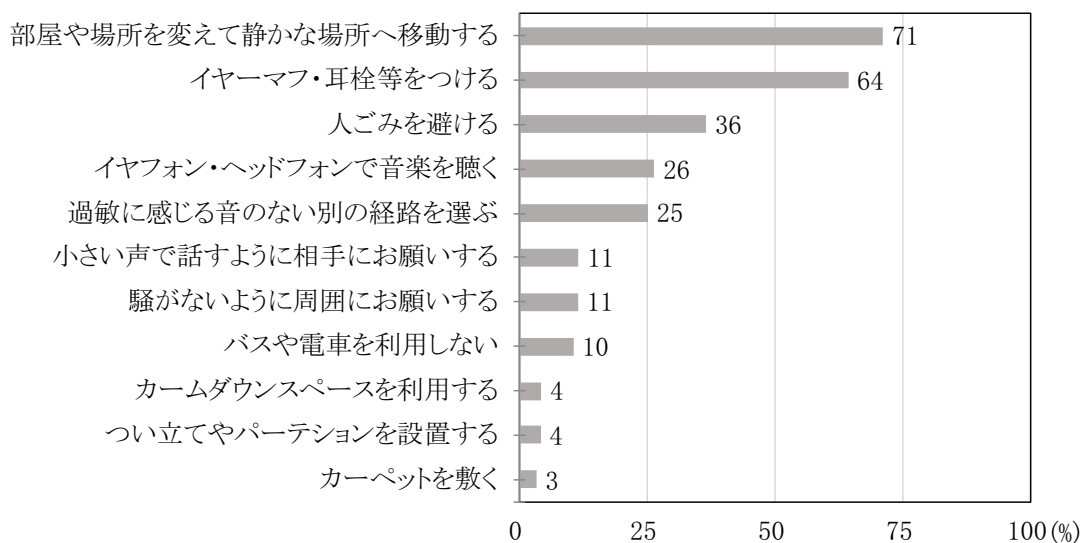


図 3-17 自身で行っている過敏に感じる音への対策[%]

表 3-8 自身で行っている過敏に感じる音への対策 自由記述

行っている対策	指摘数
耳を塞ぐ	28
音を発する機器を使わない	8
音があると想定される場所を避ける	7
気を逸らす	6
音の発生を知らせる	5
音の目的/発生源を説明する	5
我慢する	2
体調管理に気をつける	2

3.7.5. 聴覚過敏を引き起こした状況/出来事(自由記述)

設問Ⅱ11では、聴覚過敏を引き起こした状況とその音、および記憶に残っている出来事についての回答を自由記述で得た。聴覚過敏を引き起こす音のカテゴリーおよび具体的な音の種類によって回答を分類した結果について表 3-9 に、聴覚過敏を引き起こす音のカテゴリーとその時の当事者の状況によって分類した結果を表 3-10 に示す。

聴覚過敏を引き起こす音は、表に示す 13 のカテゴリーに分類した。音の発生源や音の性質、音が発生する空間によって分類を行った。泣き声や話し声などの音声と咀嚼音などを含む人が発する音を「人が出す音」、ハンドドライヤー、掃除機などの機会が発生させる音を「機械音」、楽器や BGM などの音を「音楽・楽器」、電車や自動車などの交通機関が発生源である音を「交通機関」、テレビやラジオなどから発せられる音を「メディア」、セミや犬などの鳴き声を「動物」に分類した。また、花火やピストルなどの衝撃性を持つ音を「破裂・衝撃」音、映画音などの特定の空間で発せられる音を「特定の空間」、トイレの流水音などを「水回り」、改札口のベルやサイレンなどの音を「サイン音・警報音」、に分類した。なお、「交通機関」に分類されている音は交通機関そのものから発生する音であり、車内の話声や発車ベルによるものなどは含まない。

聴覚過敏を引き起こした状況については、6 つの類へ分けた。「苦手系」に分類したものは、パニックを起こす、嫌い、気になるなどの文言が用いられていた回答である。また、「選択性」には周囲の音から目的の音が選択できない状況についての回答を分類した。

■ 聴覚過敏を引き起こす音

聴覚過敏を引き起こす音の中では、人の出す音、機械音によって過敏が引き起こされた状況を記述している回答が多く得られた。また、不特定の音や雑音・周り全ての音を過敏に感じるという回答も多かった。これらの音によって引き起こされた状況を回答者の 20%以上が回答していた。具体的な音では、ハンドドライヤーから発せられる音、人の発する音である泣き声・話し声、パトカーのサイレンやクラクションなどの警報音によって引き起こされる状況を挙げていた回答も多く得られた。

■ その時の本人の状況

聴覚過敏が引き起こされた時の当事者の状況の中では、「苦手系」に分類されるパニックを起こす、嫌いなどの回答が多く得られた。回答者の 81%が、「苦手系」の状況を回答していた。特に、「サイン音・警報音」、「水回り」の音、「破裂・衝撃音」によって聴覚過敏の症状が引き起こされると記述していた回答では、その時の本人の状況として 80%以上が「苦手系」を回答していた。不特定の音や騒音・周りの全ての音を過敏に感じる状況を記述しているものに関しては、「苦手系」の状況を回答していたのは 36%であった。このカテゴリー内では、「苦手系」に次いで、「選択性」が多く 27%、「疲れる・集中できない」が 18%であった。

不特定の音や雑音・周りの全ての音を過敏に感じる状況を記述していた回答の中には、「耳栓の上からイヤーマフをしても音は変わらない。家族が集まる夕方が一番落ちついてるが、過集中するのは家族が布団に入る頃。夜中は下水道の音や近隣の時計の音まで聞こえる。睡眠薬を飲んでいても起きてしまう」(11歳と9歳・男性)、「執務室がフリーアドレスになり、電話対応の声が良く聞こえるようになったことで、自分の仕事に集中できなくなった。対応のミスがわかると仕事を継続できない。ノイズキャンセリングヘッドホンを用いて、周囲の音を遮断している」(54歳・男性)、「駅は人が多くアナウンスや電車の音などいろいろな音が混じるため集中力が低くなる」(33歳・女性)というように寝室や職場などの空間にある複数の周囲の音を過敏に感じている状況、またそのために睡眠や集中に障害が生じていることがわかった。機械から発せられる音のために眠れないと回答していた中では、「仕掛け時計の音などでパニックに。音が気になりなかなか入眠出来ず、保育園でもお昼寝出来ない」(11歳・女性)、「保育園の時は空気清浄機の近くでは昼寝ができなかった」(7歳・男性)、「静かな環境でないと寝られない。少しの音でもよく聞こえる(我々には聞こえていない)ので、幼稚園の教室でお友達と遊んでいるときはほぼ騒音。なので、先生の話は逆に聞こえづららしい」(6歳・男性)と記述していた。

記述した体験が引き起こされた場所については、特定の場所を記述していないものが大半であった。特定の場所を記述している回答の中では、教室や学校が152件、自宅が105件、トイレが55件であった。教室や学校を記述しているものでは、音楽の授業中などのピアノや楽器の音によって聴覚過敏の症状が引き起こされたと回答しているもののほか、教室の音全てを過敏に感じる、体育館での全校集会などが回答されていた。自宅内では、掃除機や洗濯機などの機械から発生する音や、周利の音全てを過敏に感じると多く回答されていた。トイレで過敏性が引き起こされた状況記述していた回答では、ハンドドライヤーによって聴覚過敏が引き起こされると90%以上が回答していた。また、ハンドドライヤーによって聴覚過敏が引き起こされた際には、「ハンドドライヤーが苦手なので、外出先のトイレで耳を塞ぎ軽いパニックになる、トイレに行きたがらない」(4歳・男性)、「ジェットタオルの音が怖くてトイレに入れない」(5歳・男子)というようにハンドドライヤーの音によってパニックや恐怖が引き起こされると多く回答されていた。ハンドドライヤーが設置されているトイレには入りたがらないという回答も多く、その場合にはハンドドライヤーが設置されていないトイレを探さなければならなかったという経験も複数回答されていた。

表 3-9 聴覚過敏を引き起こした状況/出来事 音カテゴリーと具体的な音による分類

音のカテゴリー	973	具体的な音	数	備考
人の出す音	207	泣き声	44	
		話し声	44	
		子供の声*	26	* (子供の) 騒ぎ声を含む
		ざわつき	25	
		大声*	14	*特定の大声 (男性の大声) を含む
		高い声	8	
		その他の声*	19	*怒声など
		その他の音*	27	*咀嚼音, 咳払い, 鼻をすする音など
機械音	154	ハンドドライヤー	51	
		掃除機	26	
		時計	16	
		エアコン	13	
		ドライヤー	9	
		空気清浄機	5	
		その他	34	
不特定の音や騒音・周りの音全て	154			
破裂・衝撃音	73	花火	26	
		ピストル	17	
		工事音	11	
		雷鳴	7	
		その他	12	
音楽・楽器	71	特定の楽器, 演奏形態*	19	*ピアノ, 吹奏楽などを含む
		音楽全般	17	
		太鼓*	11	*和太鼓などを含む
		BGM	11	
		合唱・歌*	10	*音程が揃ってない, など特定のものを含む
		その他	3	
特定の空間	55	騒がしい場所・人の集まる場所全般	17	
		映画館・劇場・ホールなど	14	
		ゲームコーナー・パチンコ	6	
		その他	18	
交通機関	53	電車*	18	*新幹線, 地下鉄を含む。
		車*	14	*トラック, バスを含む
		バイク	8	
		エンジン全般	5	
		その他	8	
サイン音・警報音	50	警報音系	36	
		サイン音系	14	
水回り	27	トイレの流水音	20	
		その他	7	
メディアの音	22	テレビ全般	15	
		その他	7	
動物	10	セミ	5	
		犬	3	
		その他	2	
内的な音	5	耳鳴り	3	
		その他	2	
その他	92	拡声音, 録音音源	16	
		大きな音全般	16	
		擦れる音	10	
		食器	8	
		その他	42	

表 3-1 0 聴覚過敏を引き起こした状況/出来事 音カテゴリーと本人の状況による分類

音のカテゴリー	973	状況	数
人の出す音	207	苦手系	135
		疲れる・集中できない	21
		選択性	18
		体調が悪くなる	16
		不明	11
		その他	6
機械音	154	苦手系	103
		寝れない	24
		疲れる・集中できない	12
		不明	7
		その他	8
不特定の音や騒音 ・周りの音全て	154	苦手系	56
		選択性	42
		疲れる・集中できない	28
		寝れない	13
		不明	8
		その他	7
破裂・衝撃音	73	苦手系	59
		不明	6
		その他	8
音楽・楽器	71	苦手系	44
		体調が悪くなる	8
		疲れる・集中できない	7
		不明	11
		その他	1
特定の空間	55	苦手系	35
		体調が悪くなる	5
		不明	13
		その他	2
交通機関*	53	苦手系	34
		寝れない	3
		疲れる・集中できない	2
		不明	10
		その他	4
サイン音・警報音	50	苦手系	42
		不明	2
		その他	6
水回り	27	苦手系	24
		不明	3
メディアの音	22	苦手系	11
		不明	2
		その他	9
動物	10	苦手系	8
		驚く	1
		不明	1
内的な音	5	寝れない	2
		苦手系	2
		選択性	1
その他	92	苦手系	70
		体調が悪くなる	9
		不明	9
		その他	4

3.8. 考察とまとめ

本章では第2章のアンケート調査結果の分析を行った。アンケートは「Ⅰ回答対象者自身について」、「Ⅱ聴覚過敏症状について」、「Ⅲ聴覚過敏症状を引き起こす音について」の3部で構成される。

■ 聴覚過敏スコア群毎の分析

カルファの聴覚過敏尺度を参考に設定したⅡ1~10についての回答の合計点を聴覚過敏スコアとし、聴覚過敏スコアの点数を用いて回答群を高度聴覚過敏スコア群、聴覚過敏スコア群、低スコア群3群に分類した。聴覚過敏スコア群と低スコア群の年代毎の割合から、本調査では成人回答者の約半数が聴覚過敏の可能性があると示唆された。Ⅱ1~10項の聴覚過敏に経験に関する設問では、Ⅱ2「周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか」、Ⅱ8「ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減衰させますか」、Ⅱ10「騒音や特定の音が、ストレスや苛立ちの原因になりますか」は低スコア群でも40%以上の指摘率を示していることから一般に多い経験であることがわかる。また、Ⅱ7「少しうるさい部屋にいる時よりも静かな場所にいる時の方が、騒音や特定の音に悩まされますか」は、低スコア群と聴覚過敏スコア群の指摘率が低いが、聴覚過敏スコア群では48%の指摘率が示されていることから、聴覚過敏に特に多い経験であることがわかる。

聴覚過敏を引き起こす音の評価では「音が大きく」、「空間やサービスを利用する間にある程度鳴り続ける」、「自分ではコントロールできない」という特性を持つ音が、高度聴覚スコア群では低スコア群と比較して高くこれらの特性を持つ音を特に過敏に感じるとわかる。

■ 音の評価スコア群毎の分析

Ⅲ1の聴覚過敏を引き起こす音の評価点をもとにH(High)群、UM群(Upper Middle)群、LM(Lower Middle)群、L(Low)の4群に分類した。各年代における群の割合から、音の過敏性の評価点が高い回答対象者は成年に多く含まれることがわかった。各群の聴覚過敏スコアは、音の過敏性の評価が高い群のH群では平均点が31.0点と最も高く、音の過敏性の評価が低い群のL群の平均が17.2点であり、音の過敏性の評価点と聴覚過敏スコアの相関がみられた。

Ⅱ1~10項の聴覚過敏に経験に関する設問では、H群では他の3群と比較して高い指摘率を示していた。その中で、Ⅱ7「少しうるさい部屋にいる時よりも静かな場所にいる時の方が、騒音や特定の音に悩まされますか」では44%の比較的低い指摘率を示しているが、この項目は他の3群、回答者全体の指摘率と比較すると倍近い指摘率となっている。Ⅱ2「周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか」、Ⅱ8「ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減衰させますか」の項目については、L群でも50%に近い指摘率を示しており、一般に多い状態であると考えられる。

聴覚過敏を引き起こす音の評価では「音が大きい」、「発生が予測できない」、「自分ではコントロール

できない」の特性がある音の指摘率が高いことから、これらの音を過敏に感じると考えられる。

■ 回答者全体の項目の分析

Ⅲ1 で列挙した音のほかに過敏に感じる音を自由記述で回答する設問では、514 件の音が挙げられていた。音の特性で 17 のカテゴリーに分類した。

過敏に感じる音として、音声にカテゴライズされる音が多く挙げられていた。音声の中では、女性の高い声やくしゃみの回答が多数あることから、人の声の中でも特に高い音と突然の大きな音を過敏に感じると考えられる。また、機械音では、特に機械から発する高音の音を過敏に感じるとの回答や機械音全般を過敏に感じるという回答も得られた。過敏に感じる音源の特徴の回答では、大きな音や急に発生する大音量の音を過敏に感じるや、複数の音が聞こえる状況で音を過敏に感じる、音源位置が不明な音や音源の発生が不明な音を過敏に感じると回答するものもあった。

過敏に感じる原因として最も回答が多く得られたのは「突然発生する」であった。また、音を「避ける事ができない」ために過敏に感じる、音が「非常に大きい」ために過敏に感じるという回答も 40% 以上得られていた。音を過敏に感じる時の本人の状況では、およそ半数が「不安を感じている時」に過敏に感じる、「リラックスしている時」に過敏に感じると回答していた。過敏に感じる音に関して行っている対策では、部屋や場所を変えて静かな場所へ移動する対策や、イヤーマフ・耳栓等をつける対策であり、回答者の 70%前後がこれらの対策を行っているという回答していた。自由記述の中では、耳を塞ぐ対策が特に多く挙げられていた。

■ まとめ

聴覚過敏スコアは 0 から 40 点まで正規分布していた。アンケートは「聴覚過敏症状のあるお子さまの保護者さま」または「聴覚過敏症状のあるご本人さま」として聴覚過敏症状を表している人を対象としたが、聴覚過敏スコア群には回答者の上位 23 パーセントであり、聴覚過敏スコアの経験に関する項目の指摘率などからも聴覚過敏症状には個人差があることがわかる。

また、Ⅲ1 で列挙した音のほかに過敏に感じる音を自由記述で回答する設問では 514 件の音が挙げられており、女性の高い声やくしゃみのように特に多数の回答があった音のほか、多数の音が列挙されていることから、聴覚過敏を引き起こす音の多様性がうかがえる。特定の音ではなく音源の特性や状況をあげる回答も多い。自由記述で述べられていた音と、Ⅲ1 の回答結果から、音が大きい、音源の発生が予測できない、音源位置が不明、自分ではコントロールができない、避けることができない、という特徴を持つ音を過敏に感じるとわかる。

第4章 インタビュー調査

4.1. 概要

第2章、第3章のアンケート調査では、聴覚過敏に関して症状を引き起こす音などの実態知るために症状の状態や音の評価の問いや、具体的な音や症状についての記述を得るために自由記述の問いも設定した。アンケート調査では聴覚過敏に関する実態調査の一手としてより多くのデータを得るために、設問の内容は短簡なものとした。そこで本章の調査では、聴覚過敏の症状や経験に関する個々のエピソードを得ることを目的として、また医療従事者の専門的な立場での聴覚過敏の実態に関するエピソードを得ることを目的として、当事者および医療従事者にインタビューを行った。

インタビューでは、本研究の軸となる以下の3項目に関して回答を得た。

- I. 聴覚過敏症状の経験について
- II. 聴覚過敏を引き起こす音について
- III. 聴覚過敏に対して行っている対策・対処法

本章の調査概要について次表に示す。表4-1に示す日程にて、A～Iの10名に対面式のインタビュー調査を実施した²⁶。インタビューの内容について次節より述べる。4.2節では当事者およびその家族のインタビューについて、4.3節では医療従事者のインタビューについて述べる。

²⁶ 個人情報扱うインタビュー調査、施設訪問、および授業ボランティア実施にあたり以下の2点に注意した。
研究の目的の説明と同意:本研究の内容と目的について、書面と口頭で事前に説明をおこないインタビュー対象者に同意を得てから調査を実施した。また、インタビュー内容の録音と施設等の写真撮影に関しても承諾を得てから行った。
研究成果の還元:本研究では研究を遂行するにあたり多くの学びと助けを対象者から頂いた。論文内容については今後必要があれば還元する。

表 4-1 調査日程²⁷

日時	内容
7/27	発達支援センター長 A先生 施設見学、インタビュー
8/5	当事者 B君(17歳・男子) 母親 Cさん インタビュー
8/30	精神科病院 院長 J先生 発達支援センター長 A先生 医学学術講演会
8/31	国立大学病院 准教授 D先生 施設見学、インタビュー
10/2	小児科医 E先生 施設見学、インタビュー
10/18	発達障害サポートグループ 前理事長 Fさん インタビュー
10/20	小児科医 E先生 医学学術講演会
11/1	小児科医 E先生、学園長先生 授業見学
11/5	当事者 Gさん(25歳・女性) インタビュー
11/7	小児科医 E先生、精神科医と臨床心理士(8名) 勉強会
11/13	特別支援教室 教員、児童 授業ボランティア
11/29	特別支援教室 教員 児童(当事者 H君(10歳・男子)、I君(15歳・男子)) 授業ボランティア、インタビュー
12/1	特別支援教室 教員、児童 授業ボランティア
12/2	特別支援教室 教員、児童 授業ボランティア
12/5	特別支援教室 教員、児童 授業ボランティア

27 A 先生:小児科専門医/臨床遺伝専門医

D 先生:児童精神専門医/精神医学専門医

E 先生:小児科学専門医/小児神経学会専門医/小児精神神経学会認定医/てんかん学会認定医専門医専門医指導医

J 先生:精神保健指定医 / 日本精神神経学会専門医 / 日本精神神経学会指導医 / 臨床研修指導医 / 日本児童青年精神医学会認定医 / 日本小児精神神経学会認定医

4.2. 当事者と家族へのインタビュー

本節では、当事者 B 君、母親 C さん、発達障害サポートグループの代表で当事者 G さんの母親 F さん、当事者 G さん、当事者 H 君、当事者 I 君の 6 名のインタビューについて、Ⅰ聴覚過敏症状の経験について、Ⅱ聴覚過敏を引き起こす音について、Ⅲ聴覚過敏に対して行っている対策・対処法について、Ⅳ改善してほしい音・空間の 4 部に大別し述べる。

4.2.1. 聴覚過敏を引き起こす音について

B 君²⁸「トイレのフラッシュ音と流れる水の音が気になります。離れていたら聞こえないですが、自分が使う時はちょっとうるさいなと思います。

(他に室内では) ドアをガタンと激しく閉める音とか、ちょっとうるさいなあって。自分でもたまになってしまう(びっくりしてしまう)けど、他の人が閉めると余計になってしまったり。自分で閉める時はゆっくりそっと(閉めています)。

外ではやっぱり犬の鳴き声ですね。気にならない時もあるんですけど。やっぱり夜疲れている時とか…ちょっと体力がない時とか、疲れている時は結構気になってしまいます。

電車はやっぱり車内のアナウンスとかドアの音とか気になるので、今はあんまり乗れないですね。(学校では)体育はありますが、笛がやっぱりあれなんで僕はもう出ないです。」

(B 君のインタビューより 2018.8.5)

B 君は、自宅内ではトイレの水を流す音、ドアの開閉の音を聴覚過敏を引き起こす音として挙げていた。また、自宅外では犬の鳴き声、電車の車内アナウンス、体育の授業で使われる笛を挙げていた。トイレの水を流す音については、我慢して流していると言っていた。ドア開閉の音が気になるため、毎回のドアの開閉非常に注意を払っているという。犬の鳴き声は B 君に向かって吠えている鳴き声だけではなく、自室内で外から聞こえる犬の鳴き声にも驚いてしまうと語っていた。体育の授業で使われる笛の音が苦手なため、現在は体育の授業には出席していないという。中学校の時や、小学生の一部の時期は、先生に笛を使用しないで授業を運営してもらおうよう依頼していたという。また、昨年度のみ履修していた学校の音楽の授業については、「(音楽の授業では音が)気にならなかったですし、まず音楽の授業自体頻繁にない。頻度が少なかったの。出やすかった。」と語っていた。

B 君「例えば、車で走っている時とかにバイクの大きなブルンというエンジン音？走行音？がちょっとうるさかったりします。普通のバイクだったらいいですけど、ちょっとモーター音が大きいバイクっ

²⁸ B 君は現在も聴覚過敏の症状があるため、B 君とのインタビューに際して事前に母親 C さんに B 君とのインタビューの進め方について打ち合わせを行った。B 君に対しては聴覚過敏という言葉を用いずに、音を過敏に感じる・イヤだなと感じるという表現を用いた。また、「高い笑い声とか咳とかもしんどかったりするので、フラットな感じであればどなたでも(会話は問題ない)」という要望もあり、笑い声や声の高さに配慮した。

であるじゃないですか？あれは結構耳にきます。(車の中では)一応イヤフォンを持って行って、『ああ、なんかうるさいの来そうだな』となったらつけて、それがおわったら外します。」

(B君のインタビューより 2018.8.5)

Cさん「今、車で行ける場所もすごく限定的ですが、『とりあえず海は行けるか』といって、でも車の前後にトラックがいると気になってそわそわします。エアブレーキの音とかがしんどいみたいです。」

(Cさんのインタビューより 2018.8.5)

B君は電車やバスが利用できないため主に車の移動の生活である。自動車内でも近くを走行するバイクのモーター音や前後のトラックのエアブレーキの音が気になり落ち着いて過ごせていないと母Cさんが語っていた。そのため、自動車内ノイズキャンセリングのイヤフォンを持ち、近くにトラックやバイクが見えた際には装着している。宅配のトラックが発車する時の「キューインという」音を過敏に感じるために、トラックのドアの開閉音などで自宅近くに来ることが予期されると、B君はリビングから自室に移動するという。母親Cさんは、「苦痛に感じる音をネガティブメモリーとして蓄積しているために実際にはあまり過敏に感じない音にも身構えて疲れてしまっている。その悪循環が繰り返されているのではないか」と語っていた。

B君「(昔は映画館に)何度か行っていたんですけど、今はもうそういうのは行けませんね。何度か行ったときは、音とか気にならずに楽しめていたんですけど、今は行けるかといったらちょっと無理です。」

(他には)大音量のコンサートとかですね。耳栓なしで普通にいけていたときもあったんですけど、今はすごく敏感なので(行けない)、行っていたときは本当に全然気になってなかったんだなと感じます。」

筆者「(聴覚過敏の)状態が良くなった際に行きたい場所がありますか。」

B君「まずは、やっぱり映画館とかコンサートとかに行ってみたいです。夏休みだとロックフェスとかありますもんね。小さい頃はロックフェスではないですが、ちょっと小さいライブには行ったことはあるんですけど。音楽とかもそうしていた時期があったので、洋楽とかははまっていた時期があって、行ってみたらカッコいいなど。」

(B君のインタビューより 2018.8.5)

症状が比較的軽度であった小学校～中学校の時期には、映画館に行き映画を楽しんでいたが、現在の状況では映画館に行くことは難しいと語っている。他にも、聴覚過敏症状のために訪れることが難しい場所としてコンサートやライブを挙げていた。B君は音楽が好きだという。インタビューの中でも小学校4年生のときに行ったライブについて楽しそうに語っていたが、現在は好きなギターを演奏することも難しいという²⁹。

²⁹ Cさん「それも私にしては悲劇にしか捉えられなくて。なんで(音楽が)好きなのに聴覚過敏なんだろうって。多分しんどい、けど好きだから聞いて、その闘いで、もう何台か壊してますよね。バンドをすることも夢でもうずっと何年も言っていて

Fさん「うちの子供³⁰も、私に聞こえない超音波か高周波も聞こえているようです。池袋の地下街で症状が発生してしまったり。例えば、スーパーの入り口にあるネズミ避けの音がいたたまれないほど嫌になって、困ってしまうことが子供の頃はありました。(中略)多分、赤ちゃんの泣き声とかも嫌だったんだと思いますね。」

(Fさんのインタビューより 2018. 10. 18)

Fさんの娘 Gさんが幼少の頃に過敏に感じていた音として、モスキート音と赤ちゃんの泣き声を挙げていた。また、チャイムの音をうるさく感じるためにチャイムの音量は小さく設定していると述べていた。

Gさん「今でも人の声に敏感です。自分からバラエティー番組は見ないです。学生や社会人の時は、通勤や通学で誰かと話すだけで自分のキャパがいっぱいになっちゃって、帰ってから見るのはしんどかったです。

身近なことだと声が大きくて、だみ声の父の声が苦手です。そのため、余裕がないときは食事の時間をずらしたり、父がリビングにいる時は自室にいるなど、父から離れるようにしていました。

鬱がひどく過敏がひどい時は、道路を通る人の声なども耳をふさぎたくなることがありました。子供とか動物は好きなので、どちらかという中高年層などの押しの強い声や口調にドキッとしてしまいます。

小学生の時、体調が悪いときに小児科に行くと、待合室がうるさくて耳をふさぎたくなったり、その場にいられず外に出て順番が来るまで待つということがありました。箱が狭くて音が反響しやすかったりして、人の声が近くで聞こえてくるので地下が苦手です。(中略)地下の部屋が苦手なのは、視覚的なものや換気が悪いのも理由だと思います。小児科のクリニックでも、暖房と子供のにおいが嗅覚的にもこもっていたので、様々な面から圧迫されました。」

(Gさんのインタビューより 2018. 11. 5)

Gさんは聴覚過敏の症状がある時は人の声を特に過敏に感じると話した。通学や通勤などの生活内での人との会話で自分の限界に達してしまうため、帰宅後にバラエティー番組観ることはしんどいが、全テレビ番組の人の声に対して過敏に感じるのではなく、映画やドラマの吹き替え音声やNHKのニュース番組で原稿読み上げる声は無駄が省かれていて聴きやすい。人の声では、低くてかすれている父親の声や大きな声、中高年代の人の押しの強い声や口調を過敏に感じ、体調が優れない時期は、父親と食事の時間をずらす、自室で過ごすなどで父親の声から離れて生活を送っていた、と語っていた。

…できてないから、聞いてだと思いますねそれも。バンドとかも仲間が集まってやるにも自分の部屋を使ってやればそんなに響かずにできるから、とか彼なりに色々妄想は広がってたみたいなんですけど、最近はやっともう諦めているというか…」(Cさんのインタビューより 2018. 8. 5)

³⁰ Fさんのご息女はGさんである

また、過敏に感じる空間として地下を挙げていた。幼少期の通院先の待合室が地下にあり、周囲の音に耐えられず外に出て順番までの時間を過ごしていたという。また、地下の空間で音を過敏に感じる原因として音が反響しやすいために人の声は実際よりも近くに聞こえることに加えて、視覚的に閉塞感や換気不足などで嗅覚に刺激があり聴覚だけではなくほかの感覚に圧迫感を感じることを理由として挙げていた。地下のメトロのホームでも、空間が狭く音が逃れる場所がないため音を過敏に感じる。大きな声の人とホームですれ違った際に気分が悪くなってしまうと語っていた。

現在は聴覚過敏の症状は落ち着いているが、具合が悪い時には、風の音や足音、鳥の鳴き声を敏感に感じてしまい自室の窓を開けることもできなかった、道路を通る人の声にも耳を塞ぎたくなることがあったと語っていた。

また、トイレ用擬音装置などの自身のタイミングで音を発生させられる音に関しては心構えができているため過敏には感じないと話していた。車のクラクションは突然発せられることから「最も苦手な助手席に乗っている時にならされるだけでパニックになることもありました」と語っていた。

H君「工事の雑音とか機械から出たハウリング音など(が苦手な音)。低すぎか高すぎかの音は嫌。教室内で流している音量もうるさいと思う、マウスのクリック音ぐらいの音量でも構わないと思う。好きな音楽なら面白いから不満は言わない。けど、面白くなってうるさいのはただの迷惑だと思う。工事とかは面白くもないからうるさく感じる。面白いから逆に集中できる。他に(嫌な音)はゼロ距離³¹で、友達が大声を出すとうるさく感じる。(担任の)先生の声は大きいけど、みんなにわかりやすく説明してくれて優しいと思う。」

(H君インタビューより 2018. 11. 29)

H君は聴覚過敏を引き起こす音として、工事現場の騒音や機器のハウリング音などの低い音や高い音を挙げていた。音の高さが「高すぎる/低すぎる」のほかに、花火のように大きすぎる音も過敏に感じると話していた。筆者がH君の所属するクラスで授業ボランティアを行っていた時期は学園祭の準備期間であったため、教室内でスピーカーを用いて音楽を流していた。その音楽については、「大きすぎてうるさい。好きな音楽は大きな音でも面白く感じるから許容できるが、面白くない大きな音量の音楽は迷惑だ」と語っていた。H君のそばで友達が発した大きな声もうるさく感じると述べていたが、教室で先生が発する大声は、同じクラスの児童へ何かを周知するためという目的を持って発せられた音であるから、許容できると語っていた。他の児童の意味のない大声に関してはどう思うかという質問に対しては、「特にH君に対して得がないからうるさく感じる」と話していた。

31 ゼロ距離:インタビュー内でH君は、距離が近いという意味の言葉として用いていた。

I 君「いきなり高音になったりするの苦手かな。何かを削ったり、引っかいたりする音かな。あと、お皿とかガリガリした時のキュッって音も好きではない。基本的に高い高音は好きではないかな。電車のブレーキの音は車内にいればそこまで聞こえないから大丈夫。

あと、人混みの中とかで話し声とか足音などのいろいろな音が混じっている状態は気持ち悪くなる。(中略) (店舗から流れる呼び込みの音を指して)あの音は単体なら大丈夫だけど、いろいろな音が混じるのは好きではない。」

(I 君のインタビューより 2018. 11. 29)

I 君は高い音は好きではないと述べていた。過敏に感じる音として、何かを削ったり、引っ掻く音や、モスキート音などの高音をあげていたほか、警察のサイレンなどの大きな音やマイクのハウリングの音は突然発生し緊張感を生じさせるから好きではないと語っていた。また、これらの音のほかには複数の音が混じっている状態は気分が悪くなってしまうと話していた。

4.2.2. 聴覚過敏の症状について

B君「友達と遊んだりしたときは、意外とその時は気にならないですけど、疲れて帰ってきて気になります。意外と外出している間は気にならないです。友達と遊んでいるときは、それに気が向いて音のことは気にならないです。帰ってきて、どっと疲れがきてそこから気になります。後は気持ちが不安定な時ですかね。

(苦手な音があるのではないかと)不安で仕方ない時もあるれば、『まあ大丈夫だろう』みたいにあまり気にならない時もあります。もっと気になる時もありますが、今は割と(気になる時期が)終わって落ち着いています。」

(B君のインタビューより 2018.8.5)

B君は帰り道などの疲れている時や気持ちが不安定な時に症状が引き起こされると語っていた。聴覚過敏の症状が引き起こされている時の本人の状況に関して、アナウンスなどの苦手な音がばかりに集中してずっと気になってしまうと語っていた。また、現在はイヤフォンを装着せずに出かけることが難しいが、聴覚過敏の症状があまり現れていなかった小学生(8歳)頃は、イヤフォンなどを持たずに現在では利用することが難しいバスや電車に乗り色々な場所へ出かけられていたと語っていた³²。

B君「中3の3学期に学校に行けなくなってしまいました。色々な音が気になって仕方ないから家から出られないということあったんです。特にしんどかったのは、色々な音が気になるというのはそうなんですけど、日常的に聞こえる人の声もう気になって仕方がない時期があって…家族(の声)とかもそうですし、外から聞こえてくる、例えば誰かが喋りながら通っているときに、窓は閉めているのですがすごく小さくしか聞こえないけど、それがなんか結構気になって仕方ない、結構大きく感じる、という時期がありました。もう声が気になるとやっぱり会話もできないので、それが1番しんどかったです。その時は、声は全部ダメでした。声に関しては、今はもうだいぶなくなっています。その時は、家族にも小さい声で話して欲しいと伝えていました。筆談でもちょっとしていたんですけど、だんだんと声に関しては気にならなくなってきた、今はもう普通に話せます。」

(B君のインタビューより 2018.8.5)

最も症状が重い時期(中学校3年生)には人の声が気になっていたため、家族との会話も難しく筆談で対応をしていた。この時期には、窓の外から聞こえて来る人の話し声も非常に敏感に感じていたと語っていた。B君によると、自身の音に対する苦痛を意識し始めたのはこの時期だという。

しかし、母親CさんはB君には小学校4年生頃から聴覚過敏の症状はあったのではないかと語って

³²「今思い返してみると、小さい頃では8歳とか小学生ぐらいですけど、本当に全然気にならなかった時期もあったんです。あちこちにお出かけできて、電車も普通に乘れて、これ(イヤフォン)なしで、バスもこれ無しでのれて、いろんなところにお出かけできていた時期もあった。気にならない時は本当に気にならないっていう、気になりだしたらやっぱり気になる。」(B君のインタビューより 2018.8.5)

いた。その頃から B 君は飛行機や新幹線の乗車中には母親 C さんに手で耳を覆うように求めたり、外出中も自分で耳を手で覆っていたという。また、中学校 3 年生は学校の勉強や友人関係で B 君が疲れていたために、会話も難しいほどの聴覚過敏の症状が現れていたのではないかと母親 C さんは推測していた。

F さん「本人に良い音と嫌な音があり、嫌な音が聞こえてきた場合にはどうしようもなくなってしまふ。その場にいられない。

発達障害の人は、聴覚過敏ももちろんあるんですけど、突然のことに弱いんです。(中略)例えば、音楽のライブに行くとき、映画を見に行くときはあらかじめそのつもりで行くじゃないですか。でも「あんなすごい音楽聞けるのに、聴覚過敏なの？」と思われることがある。映画を観に行くと思って、観に行くので、ある程度は大音量も問題ない。それよりも隣の人がカサカサやるような音が気になったりとかいうことはあるが、映画は心構えがあるのである程度は大丈夫。それでもダメで抜ける場合もありますけど。

ある人は、自分の好きな音楽だったら、大音量で聴いている。聞かせてもらおうとびっくりするくらいの大音量。その人は、会議とか難しい話には参加したくないし、人が揉めてるような時も聞きたくない。好きな音であれば、大音量でも大丈夫でカラオケにも行くし。自分の娘も音楽やっているの、自分の出す音とかは大丈夫。」

(F さんのインタビューより 2018.10.18)

F さんは聴覚過敏の症状が引き起こされている時には、パニックになってしまったり、過敏に感じる音がある空間にそれ以上留まることができないと話していた。

発達障害の特性として予定の変更に不安を感じるという特性があるが、映画などは心構えをして観に行くため大音量でも楽しめるという。また、嫌な音は過敏に感じるが好きな音や自分のタイミングで発せられるような音は過敏に感じないと話していた。

G さん「心身ともに体調が悪くなると過敏がひどくなります。普段は耐性がある音でも、体調が悪くなると過敏がひどくなって悪循環で気持ち悪くなったりします。(中略)内勤をしていた時には、(自分の席の)近くの島で他の人が上司に怒られている場面を見ると、その場面が自分に置き換えられて夢の中で再現されてしまったり…。街中できつく叱っているお母さんなども夢に出てきたり、忘れられなかったりしまいました。」

(G さんのインタビューより 2018.11.5)

G さんは体調が優れない時に特に過敏の症状が現れ、うずくまりたくなるほどの動機や冷や汗が生じていた。体調が優れない時には、普段は許容できる音でも過敏に感じてしまい、過敏の症状の影響でさらに体調が悪くなるという悪循環があると語っていた。また、会社で働いていた時に自席に近い席の

同僚が注意を受けている場面が夢で再現されたり、母親が子どもを叱っている場面も夢で再現されたりという経験があると語っていた。

H君「(教室内で流れている音楽を指して)あのぐらいの音なら集中してしまえば耐えられる。音以外のことに集中してしまえばその他のことは気にしなくなるから。

なぜかわからないけど日によって、朝は(テレビの)音量が小さくても聞こえるが、夜につれて(テレビの)音量が大きくなる。だから、朝に夜の音量で聞くと「うるさい」となっちゃう。」

H君「(友達の大声はうるさく感じるが先生の大声はうるさく感じない理由として)だから、そのときになぜその音を出したか、その内容が良ければうるさいとは思わない。けど、自分や他人に利点がないとわかっていたらうるさいと思う。」

(H君インタビューより 2018. 11. 29)

H君は大きな音を過敏に感じると語っていたが、周囲の大きな音全てを過敏に感じているのではなく、音の目的や音の内容によりその音が耐えられないほどのうるささと感じるか否かを判断していると語っていた。好きな音楽や、面白い内容のテレビ番組、動画は内容はH君が楽しめる内容であるから大きな音でも良い、同様に、先生の大声はH君の得になる目的を持って発せられているから耐えられる³³、と語っていた。

I君「地下から出てくる時とかの空気の通り道に鳴っているモスキート音はすごくうるさい、耳が痛くて鼓膜が破れるかと思うほど好きではない。(中略)うるさいのではなく耳の中が痛い感じがする。」

(I君のインタビューより 2018. 11. 29)

I君が聴覚過敏を引き起こす音として挙げていたモスキート音は、うるさく感じるだけではなく耳の中が痛い、細くが破れるかと思うほど耳が痛いというように始終『痛い』という表現を用いて、聴覚過敏の症状が出ている時の自身の状況を説明していた。

³³H君の発言「得になる」について:担任の先生の指示で周囲の児童が静かになったり、先生が必要事項を伝達することはH君にとっては結果的に『得になる』から大声の指示であっても許容できると語っていた。

4.2.3. 対策について

B君「音を完全になくすのではなくて、例えばピンクノイズとか滝の音とかを鳴らして、完全に無音の状態ではなくて、常に音が流れている状態を作っておいて、その音に慣れていく。全く音がない状態だと逆に小さな音が気になったりするんで、ある程度ずっと音を鳴らしておくのが大事です。」

(B君のインタビューより 2018.8.5)

Cさん「イヤマフを持っていたんですけど、痛いらしいんですね。やっぱりかなり締め付けて密封性があるので。その物理的なしんどさがあって、重いし、押さえつけられて。レストランとかのガヤガヤもダメなので、でも食べるからあまり関係ないかなって『イヤマフをして食べなよ』と言っていたんですけど、ある日突然泣き出して。咀嚼をこれ（イヤマフ）が邪魔するんですね。これが重すぎて、『こんなことまでして食べたくない』とキレて、とかあったのもう、イヤマフもしなくなりました。あと『あんなのをして街を歩きたくない』と年齢が出てくるでしょ、思春期に入ってきて。それでしなくなっ

て。耳栓は自分で入れるのは難しいので、小さいときは私が入れて、それでお出かけは幸せだったみたいなので、色々出かけていました。中学に通い始めて、自分で（耳栓の装着を）できるようになったんですけど、今度は中がかぶれるんですね。というのと、外した時に余計過敏が強くなるんですね。それももう使わなくなって…」

(Cさんのインタビューより 2018.8.5)

現在 B君は電車やバスを利用することが困難で車の移動のみの生活であるが、一時期は通学のために電車を利用してたという。電車を利用する際は、ノイズキャンセリングのイヤホン装着し対処していた。また、イヤホンは音楽を聴くためではなくノイズキャンセリングの機能のみを利用しているという。耳栓の利用に関しては、ライブ会場などの大きな音のある環境下では効果があるものの、自宅内など日常生活では周囲の音が小さいために効果が得られないと語っていた。

無音の状態では小さな音が気になるため、自室ではパソコンでピンクノイズや水の音などを流して常に音がある状態を意識的に作っているという。母親 Cさんはパソコンの音だけではなく、水槽の水を常時循環させることで水が流れる音を発生させたり、サーキュレーターを常につけて音を発生させる工夫をおこなっている。同様に、エアコンや換気扇も意識的に常時作動させているという。

B君の聴覚過敏の症状が顕著に現れ始めた時期のあと、引越しをして現在の家へ引越しをしたという。以前の家の周囲には塀がなく、家屋が密集していたという。引越しする際に現在の家をリフォームし、B君の自室に吸音材とカーペットを設置し、二重窓に変更した。自宅や学校の環境が変わったことなどから、以前の自宅の時よりも B君の状態は落ち着いているのではないかと母 Cさんは推測していた。カーペットを設置したのは B君の自室のみで、他居室はフローリング材である。フローリングでは床に物が落ちる音などが気になるため、他居室はあまり利用せず自室のみでの生活だという。他居室にも同様の工事を行えば自宅内の行動範囲が広がったのでは、と母親 Cさんは語っていた。

B君は以前はイヤマフを使用していたが、締め付けと重さで痛みを感じていたという。レストランで食事をする際にも周囲の音を過敏に感じていたため、イヤマフを装着して食事していたが、イヤマフの重さで咀嚼が邪魔されてしまうとB君が泣き出してしまったという。その後、イヤマフは利用しなくあった。耳栓は幼い頃から利用していたが、耳栓を外したときに音の刺激を大きく感じてしまうことと、耳栓によってかぶれてしまい今は利用していないという。雑音を常に発生する機器を利用していた時期もあるが、現在は利用していないという。

Fさん「今は、そういう場所(嫌な音がある場所)に行かないという手もあるし、そういう音がするものだと分かって行くので、パニックになることは滅多にないです。

センサリーフレンドリー上映では光も真っ暗にしないで、音も大音量にしないでとか配慮してあるそうなんですけど³⁴、実際には全部そう行かない。今外国のスーパーでもそういうのがあるらしいんです³⁵。そのくらいのやり方ならできるかもしれないですけど、映画館でっていうのはちょっと無理があるかな。聴覚過敏の人は自分でイヤマフ持っていたり耳栓持っていたり、自分で調節するってことがある程度できますよね。だから映画館でそれをやってもらうのもどうかなと思いますね。」

(Fさんのインタビューより 2018.10.18)

Fさんは聴覚過敏を引き起こす音に対して有効な対処法として、過敏に感じる音のある場所を避けることと、ノイズキャンセリングイヤホンの使用を挙げていた。ノイズキャンセリングイヤホンを装着するとガサガサした音はなくなり人の声はしっかり聞こえるようになるが、耳鳴りが酷くなるためFさん自身は利用していないという。

Fさんは娘Gさんが幼少の頃に、舞台を観に行く機会があったという。発達障害の特性のために娘Gさんは、すぐに退出したくなるため周囲観客の迷惑とならないよう端の席に座っていたという。その経験から、Fさんの娘Gさんが観に行ったというセンサリーフレンドリー上映に関しては出入りの自由の配慮はよい取り組みなのではないかと述べていた。

³⁴ センサリーフレンドリー上映とは、音や光の刺激を控え映画を上映する取り組み。Fさんのインタビューでは2018.9に行われたセンサリーフレンドリー上映の取り組みについて語っている。その上映では、音や光の刺激に配慮した環境調整だけではなく、上映中の出入りの自由やクールダウンスペースの設置などの取り組みが行われた。産経ニュース:発達障害の人に「センサリーフレンドリー」音や光控え映画を上映。(<<https://www.sankei.com/>>) (参照2018.9.28)、たーとるういず:発達障害の方や家族へ「センサリーフレンドリー試写会」行われる。(<<https://www.turtlewiz.jp/>>) (参照2018.9.28)

³⁵ クワイエットアワーとは、店舗などで店内の音楽や照明を消して営業を行う取り組みのこと。イギリスのスーパーマーケットcolesでは、2017年8月からクワイエットアワーの取り組みを行っており当初は70店舗での実施であったが、2018年9月より276店舗でクワイエットアワーに取り組んでいる。毎週火曜日の午前10時30分～11時30分に実施している。この期間は①店舗全体で照明を削減②店内の音楽放送は実施しない③レジ機器の音量を下げる④カートは使用しない⑤非常時を除き館内放送は行わない。NHKオンラインどーがれーじ:クワイエットアワ(<<https://www.nhk.or.jp/d-garage/>>) (参照2018.8.30) coles:Quiet hour expands nationwide to help shoppers. (<<https://www.coles.com.au/>>) (参照2019.1.16)

Gさん「具合が悪かったり、ストレスがたまるとジャズやクラシックなど声がない楽器だけの音楽を聴いていました。ずっと(イヤフォンを)していると耳に良くないので限られた時間だけにしています。移動時間などですね。電車は消耗するので苦手で、半個室空間で割と騒音も少ないので車が移動手段で一番好きです。でも、すべての移動を車でできないので電車は覚悟してイヤフォンをして乗っています。(中略)本当に具合が悪かった時は片方だけでもカナル型イヤフォンをつけると少しは楽になりました。でも、職場や友達の前では(イヤフォンをつけている理由の)説明が大変なのでしていませんでした。」

Gさん「(高校や大学の授業に関する質問の返答)こじんまりとした大学だったので割と授業などは受けやすかったと思います。うるさくしている人も少なかった。でも、お昼などは食堂周辺がうるさくて就活などで一人行動をするようになってからは避けて人気のない階などで過ごしていました。そういうときのために屋外とかがあると良いですね³⁶。大学受験の時に通っていた個別指導ではレッスン室とは別に自習室があって、そこは仕切りがあり周りも静かだったので集中しやすかったです。あと、大学の図書室も同じ理由でよく利用していました。ESやレポートなどを一人で通っていた図書室での時間は貴重でした。」

筆者「自宅の自室よりも集中できましたか。」

G「そうですね。机の上が散らかっていると視覚的にも気が散って、机の上に最低限のものしか置いてない環境の方が集中できるので。同じ理由で、会社のデスクも乱雑にものを重ねると混乱してしまうのできれいにしていました。」

(Gさんのインタビューより 2018.11.5)

Gさんは聴覚過敏への対処法として主にノイズキャンセリング機能のないカナル型のイヤホンを利用した。体調の良い時はボーカルの音楽も聴くが、体調の悪い時は楽音のみのジャズやクラシックの音楽を聴いて過ごしていた。常時イヤホンを装着することは聴覚に影響を及ぼす可能性があるため、通勤や通学の移動時間などの限られた時間に利用を制限している。体調が優れない時には片耳だけでもイヤホンを装着することで、症状が楽になった。カナル型のイヤホンができて生活がだいぶ楽になった、と語っていた。

勤務中はイヤホンの利用せずに過ごしていた。会社からの配慮で、昼休みには倉庫にあるソファでカナル型イヤフォンを装着し、灯りを消して一人で休んでいたという。刺激のない空間で一人で休める時間は貴重だったと語っていた。

大学の授業は快適に受けることができていたが、昼休みは周囲が騒がしく人が少ない静かな空間を探し過ごしていたという。空き教室などの自習ができる静かな教室では、話している人がいると話している声に集中が向いてしまうため、イヤホンをつけて過ごしていたと話していた³⁷。

36 Gさんの大学時代に過ごしたキャンパスはビルだったため、屋外の休めるスペースがなかった。

37 人の声に注意が向いてしまい集中が逸れるという状況のほか、「普通の人なら集中する時間と気を抜く時間をうまく

H君:「動画などで(ハウリング音)が出た時は音を減らすか、(スマートホンの)電源を落とすとかをして音を消せる場合は音を消す。工事の音など消せない音は耳を塞いだり、(自分で)ダダなど音を出して防いで。 (中略) (工事現場の騒音は)短い時間だから我慢している。一つの手段として耳ふさぐとか。あと、今日あった学校のこととか、道端にあったものとか他のことを考えて集中してその音がいってこないようにする。イヤホンはあればつけるけど、イヤホンだと外の音が入ってしまうから基本は耳に指を入れてふさぐ。」

(H君インタビューより 2018. 11. 29)

I君「短い時間なら良いがずっと鳴っていると耳をふさいだりする。すごくびっくりする。」

(I君のインタビューより 2018. 11. 29)

H君はハウリングの音と工事現場の騒音を聴覚過敏を引き起こす音として挙げていた。ハウリングの音に対しては電源を消すことで対処できるが、工事現場の騒音などの追いやることの出来ない音に対しては、指で耳を塞いだり、自分で音を発してやり過ごすと言っていた。また、工事現場の騒音は短い時間であるため、他のことを考えるなどをして集中状態に自分を置き対処していると話していた。

また、H君同様にI君も発生が短い期間の高音に対しては我慢をするが、長時間発生し続ける音に対しては耳を塞ぐと話していた。

やりくりすると思うが、私は発達障害であるので人より頑張らないといけないというコンプレックスから気を張ってしまいうまくやりくりすることが出来なかった。」と語っていた。

4.2.4. 改善要望

B 君「病院は色々な部屋があってドアもあるじゃないですか。ガタンってドアが開まったりとか(するドア)があります。こういう(身振り)ゆっくり閉まるタイプのスライドの(ドア)ばっかりにしてくれたら助かると思います。

車両によって(アナウンスの)音量が違ったりするんです。『今日の電車ちょっとうるさいなあ』とか、『今日は意外と大丈夫だなあ』とかあるんですよね。気になりだすと、車両によって音の大きさが結構違ったりすることが分かってきます。やっぱり声の質や声の高さとかも、あんまり声が高い人とか声が大きい人とかは苦手ですけど、ある程度車両側で音量を下げてもらっていたら大丈夫です。音量を上げてしまうと気になります。車両の(音量の)違いは、気になる人にしかわからないと思います³⁸。」

(B 君のインタビューより 2018. 8. 5)

病院は診察室や検査室などの室が多数あるため、ドアの開閉音を聴く機会が多い。病院にはゆっくりと閉まるスライド式のドアを使用して欲しいと語っていた。

また、過敏に感じる音として電車のアナウンスをあげていた B 君であるが、電車のアナウンスの音量も改善して欲しい音として挙げていた。アナウンスの音量が車両間で統一されていないこと、車掌の声の室や声の高さが異なることが気になるとしていた。

C さん「(イヤマフが)音楽のヘッドホンと同じような形状だったら多分抵抗ないと思います。あともう一点最近言われているのが、ヘッドホンをするべき場所じゃないところって結構多いですね。音楽聴いているのは失礼だよって場所のときに、注意を受けたことがある人は、経験上二度と(イヤマフを)できないです。だからそういう経験があったり、なくてもうちの子はそういうのを気にしています。うちの子も飛行機の飛び立つ音が苦手なので、ノイズキャンセリングの普通のヘッドホンをつけていたら、CA さんに離陸の時は機器を外してと言われて説明したら、(CA が)『外人で向こうの人はすごい

³⁸ B 君は①車両毎にマイクからでる音量が異なる②日によってアナウンスの音量が異なる、ということを指摘していた。B が住む地域の鉄道会社 4 社へ筆者がメールで問い合わせたところ、各鉄道会社から回答が得られた。

「車内スピーカーの音量は全車両一律ではなく、車両毎に設定しているのか。車内スピーカーの音量設定の方法について。」という質問に対して、A 社「車内での放送につきましては、お客様の状況や列車種別、時間帯により、その内容、表現、言葉遣いや音量に注意し、適切な放送ができるよう普段から教育・訓練を実施しております。」

B 社「車両の放送装置には、一部の車両を除き、周囲の音等に対応して音量を自動調整する機能があります。(中略)また、車内放送を担当する車掌につきましては、乗務員代後および折返し駅において乗務位置を変更した際に、車内に流れる放送音量が適切であるかを確認しています。加えて、車内放送実施時は、放送装置の音量レベルメーターを確認するなど、明瞭で聞き取りやすい放送を行うように努めております。」

C 社「弊社車両の車内スピーカーの音量設定(スピーカーに出力する増幅器(アンプ)の電圧の値)は、編成内で共通の出力値としております。ただ、同じ編成の中でも、お客様の乗車人数の違いやお客様の乗車位置によって聞こえ方に差が出てまいります。また、これまでの新造や改造の時期により、採用する機器が異なり、それぞれ若干違う特性を持っているため、編成によってお客様への聞こえ方に差が生じていると考えております。」

D 社: 車内放送とスピーカーは担当する車掌が放送音量が適切であるかを確認している。

車掌の采配で車内のアナウンスは決定していることから、B 君がインタビューで語っていたように車内アナウンスの大きさが大きい日や小さい日が生じている場合があるとわかる。

diversity にすごい寛容だから OK』と揉めなかったけど、うちの子にとっては（苦い経験だったな）っていうのはありました。」

（Cさんのインタビューより 2018.8.5）

イヤマフが音楽を聴くためのヘッドフォンだと誤って認識をされてしまい、第三者から注意を受ける経験をした子供は、イヤマフを身につけることが出来なくなってしまうという。そういった経験を防ぐための、聴覚過敏保護用シンボルマークは素晴らしいと母親 Cさんは語っていた。

Gさん「新大久保駅のサイン音がブザーっぽくうるさくて頭痛がしてくるので「メロディー」や「やりわりとした効果音」などにしてほしいです。あと、高田の馬場のアトムも好きではないです。構成されている音がブザーっぽいから。踏切の音も強めで苦手だが警報なので仕方ないと思います。

センサリーフレンドリー上映に行った時に、多動や自閉の傾向が強い男の子がいて良くクールゾーンを利用していたのを見て特性によりけりだがそのようなタイプの上映時間があっても良いと思いました。私も小さい時は多動がひどかったが、講演などではじっとすることができずにいた。このように出入り自由などと言ってもらえると心起きなくいける。（通常の上映形式では出入りの）タイミングに融通が利かないと思います。最初から出入り自由ってしてもらえると周りの人にも理解してもらえと思うので、必要な人にとっては気持ちが楽になると思います。

アメリカのスーパーで BGM やアナウンスを消すクワイエットアワーがあると聞いたが、あったらいいなと思います。モニターに流れる CM など音のたてかたがキツくて驚いて冷や汗や動機ができてしまうことやめまいができてしまうことがあります。」

（Gさんのインタビューより 2018.11.5）

Gさんは改善して欲しい音として、JR 新大久保駅や高田馬場駅のサイン音を挙げていた。どちらの駅もサイン音がブザーのような音なので、頭痛がしてくる。メロディーなどに変更して欲しいと語っていた。なお、許容できる駅のサイン音として東武東上線のサイン音はクラシック音楽のような音なので負担がないと話していた。

また、センサリーフレンドリー上映³⁹やクワイエットアワー⁴⁰の取り組みについては、自身の経験から国内でもこの様な取り組みが実現することを願う、と語っていた。

Gさんが高校生の時に通っていたカフェは、BGMはあるものの会話や通話が禁止のため人の声を過敏に感じる Gさんにとっては落ち着いて過ごせる環境であった。このような通話や会話がなく静かな環境のカフェが増えればいいのにな、と話していた。

³⁹ 前掲 34

⁴⁰ 前掲 35

4.3. 医療従事者へのインタビュー

本節では、医療従事者 A 先生、D 先生、E 先生へのインタビューについて述べる。専門的な立場からみた聴覚過敏の症状と聴覚過敏に対する対応についてインタビューを行った。本節では、具体的なエピソードを抽出できるように、インタビュー対象者毎に内容を述べることとする。

4.3.1. A 先生へのインタビューより

(2018.7.27 実施)

① 施設の建築設計に関して

A 先生「大人用のトイレと子供用のトイレと、別に作ったんですけど。そういう細かいことを言い出すと選択肢はどんどん広がるんですけど、私たちもなんとなく知識はあるが、それはどれくらい有効なのかとか（まではわからなかったり）、まあそうやって作ってみただけでも使い勝手が悪かったりすることもあるので、そういうコンセンサスとかガイドラインがあったり、そういう知識を持った方がたくさん育ってくると嬉しいなと思っている。

だから所謂建物でも、障害者施設の専門家とか…出てきてくださると嬉しいなと思って。（中略）核となるところは（事前に決めたいが）…かといって本当に予算とか色んなものがつきまとうので。」

A 先生は発達支援センターのトイレの例を挙げて、施設の設計の難しさを語っていた。一般的な施設では、トイレの一角に子ども用の便器を設置している施設があるが、そうではない施設もある。大人用の便器のみを設置しているトイレを利用する際に「大人用の便器だからトイレに行けない」と言う子どもがいるという。そのため、支援センターなどの療育を目的とした施設では、子ども用の便器を設置せずに一般的な便器を採用しているところもあるようだ。A 先生は、子どもの用の便器も併設することを選択したが、発達支援センターなどの発達障害を持つ子どもが過ごす環境設計のためのガイドライン等がなく、予算の制限もあるため施設の設備決定が難しかったという。

② センター周辺の環境に関して

筆者「（施設周辺の環境に関する質問）」

A 先生「そうそう、サイレンではないですけどチャイムみたいなものがしょっちゅう鳴るとなると…隣（に立地する学校施設）と運動場を共有しているので、最初は行事も向こうは向こうのスケジュールで動いていたんですけど、せめてスケジュールを教えてくださいというふうに。突然太鼓の練習が始まったりとか。そういうのは一応お知らせ（していただく）…だからそれを禁止するというのはちょっと難しいし、時間を変えていただくというのも難しいので、こちらが対応するのでスケジュールを教えてくださいとお願いしたことはあるかな。」

筆者「隣の施設のグラウンドで行事が行われる際の対策は行っていますか。」

A先生「(教室が)グラウンドに近い側と、中庭に近い側の2列になっているので、なるべくこっち(中庭に近い側)を使うとか。あるいは、予約制なので(聴覚)過敏の子はあえてそこには入れないとか。」

センターには学校施設が隣接しており、センターの側にある運動場はその学校施設と共用しているという。学校が運動場を利用している際の音について質問したところ、学校側からスケジュールを伺い運動場利用時には運動場から離れた教室で療育を行うなどの対策を行っているという。

③ 療育を進める上で「聞こえ」に配慮している例

筆者：聴覚過敏によって診療が困難だったりする体験はありますか。

A先生「特に自閉傾向のあるお子さん達って言葉を深く捉えるのが苦手なのでニュアンスがわからないんですよ。だから嫌いって言われると本当にそのまま嫌いって取っちゃったりとか、『そんなことするから嫌い』とか言っても、奥に含まれている『そんなことしないで』っていう意味に取ったらいいことでも、嫌いって言われちゃったみたい僕はあの子から嫌われちゃったみたいなお勤違いをしたりとかある。

あるいは、よく例え話であるようにもう仕事をする気がないんだって帰って上司に言われてそのまま素直に書いちゃったとか。極端な例ではあるけれど、それに近いようなことは多分しばしば起こってると思うんですよ。(中略)だから、内容についてもどれだけ伝わっているかってなかなか分かりにくいところあります。」

自閉スペクトラム症の特性には、状況理解の困難さ、特に複雑な社会的場面での状況判断が難しいことがある。そのため、言葉の真意が伝わっているかを確認でき、フィードバックできるような目線を持つよう意識していると語っていた。

④ 「聞こえ」の自己調整に関して

A先生「話す音量の調整ってのはね難しいお子さん達もいらっしゃるんですよ。だから急に大きな声を出すとかいうのも教室の中では目立つ行動にはなるんですけど自分の声に気がついていないと興奮してすごく大きな声になってしまったり。(中略)「おかあさんといっしょ」なんかでも体操なんかにも、ぞうさんになったりとかありさんになったりとか、ありさんになったら小さな声で話したりとか(の場面がある)。それを見て声真似ができる子と、そこに気づかないのでなかなか難しいお子さんっていらっしゃったりするので。

(中略)

発達障害って、コミュニケーションとか行動とかがメインにはなるんですけど、そういう風な自己調整(の困難さの特性もある)。例えば体温なんかでもそうだし、いろいろ自己調整が難しい方が多いですよ。だから、暑いからと言って上着を脱ぐとか冬だからコートを変えて行くとか言うのも、私たちは寒いと感じるとそろそろだっって気がつくんですけど。季節感なんかカレンダーを見ないと

なかなか(分からない)。自覚的に温度とか疲れたとかそういうものを感じにくい方もいらっしゃるの
でね。」

発達障害の特性には、コミュニケーションの困難さ、対人関係・社会性の困難さなどに加えて、自己調整の難しさがある。その自己調整の難しさのため自分の話す声の音量の調整が難しい子どもがいるという。

⑤ 指導に関して

A先生「例えば見通しを立てるとか、全体像を見通すっていうのがすごく理解を助けるみたいなので。多くの方はそれを直感的にやっちゃうんですね。」

(例えば)夏休み 40 日だから宿題の量はこれぐらいでって言ったなら何ページごとに分けるとかいうことはしないですよ。だんだん夏休みが進んでるのに山が減らなくてまずいなって思うところが途中で1回来るわけですよ。でもそういう感覚があんまり得意じゃないんだらうな、と思うんですよ。最初から何日まで仕上げるためには例えば1日何ページのノルマとか決めると安心してこなされる方もいらっしゃるし、それが重荷になって動けなくなるタイプの方ももちろんおられるんですけど、どちらにしても構造化するとか、見通しを外在化すると行った方がいいかな…だからお母さんとの約束にしても何ページごと(に毎日)しますとか言ってたらお母さんも手助けしやすいじゃないですか。今日はまだ終わってないねとか昨日の分もしなくちゃねとか誰でもが分かりやすくなるということで助けもしやすいし本人も目標が立てやすいし。」

発達障害を持つ子どもの療育の進め方での、全体を見通しせるように手助けができるような取り組みについて A 先生が上記のように話していた。見通しが立てやすいよう、目標に向けて行う手段を数字を用いて物理的に構造化することで、理解が進みやすいとしていた。

⑥ 音の選択性・学習に関して

A先生「例えば講演の最中に、講演が面白ければきっと気にならなかったかもしれない音でも、講演がちょっと面白く無くなったりすると(選択性が変わり)、換気扇の音とかクーラーの音とかが気になる。選択性という言葉使うんですけど、大勢の中で知ってる人の声が聞こえやすいつてのはやっぱり耳がその人にアンテナを合わせることができるので選択してその人の話を集中して聞くんですね。だから他の事はマスクされる、マス킹されるんですけど、選択性とマスクで、拾いたい情報を拾う作業をするんです。けど、発達障害の方はそれがなかなか難しいんじゃないかって。」

筆者「この選択性は学習によって習得が可能ですか。」

A先生「(習得する) こともあります。言葉を覚える過程っていうのはほとんどそうなんですよ。最初は人の声も、モノの声とあんまり変わらなかったところから、きっと言葉として言葉の塊として意味ある音として入ってくることによって初めて言葉として認識されるので、それが定着してくると物

と音が繋がっていくとか、それが情報として意味を持ってくる。だから私たち外国に行くといろんな言葉の中でやっぱり日本語が聞き取りやすいし、日本語はないとしても英語とか少しは勉強したことがある単語が出てきたりするとそこにはきゅっと反応できる、例えば「A と Shi と Ta」じゃなくて「明日」っていう音がスポンと入ってくると明日の何かなっていう風にやっぱりそこを情報として、明日に何か大事なこと言うんじゃないかなっていうので集中できるんですね。

興味を持って聴ける講演会では気にならない音が興味を持ってない講演会の時には気になってしまうという例を用いて、音の選択性の仕組みについて述べていた。周囲に音が多数ある中で、必要な音を拾い上げ聴取する仕組みを音の選択性とする。発達障害のある人では、この音の選択性が難しい場合がある。このように音の選択性に困難がある場合には、集中へのプロセスが音の選択性を持つ人と異なる場合もあり、音の選択性に困難を持つ人へ配慮した音環境の設計には難しさがあるという。

音の選択性は学習によって習得することがあるという。選択性が高まると、周囲の音が快な音とそうでない音に分類されたりと優先順位をつけて情報が聴取できるようになり音への過敏性が緩和されることがあるとしていた。その選択性の習得に関して、療育が有効であると語っていた。

また、乳児期にはあらゆる音を刺激に感じ反射反応を起こすが、成長の過程でドアの閉まる音やサイレンの音を学習することで音の安全性を理解できるようになるという。音の種類が判別が出来るようになると、大きな音や不快な音であることに過敏性が残るといふ。このように、成長過程の音の学習によって聴覚過敏の症状が落ち着くことは考えられるという。

⑦ 聴覚過敏症状の認知について

A先生「後々聞くと、成長して言葉にできるようになって聞くと、あの雑音が耐えられなかつただけで本当は音楽大好きだったりとか。発生している音の種類にもよるかなと。ピアニストの弾く音楽は大好きなんだとか。同じ音楽だって言っても子供達の演奏って不協和音の塊じゃないですか。音が外れるのが嫌だって言って、それを指摘してしまう子たちもいるので。急に音が外れてるとか言って、それこそ周囲の空気を読まずに間違ってるのは君だって指摘して、みんな知ってるけどそこまで言わなくてもとか、そういう結果になったりするし。そこにとってはきつと堪え難い音だったんだろうけれど。どっちが我慢するのかって話になるのでね。そういう人たちと一緒に教えろって言われても先生たち困るだろうなと思いますし。」

特別支援学級の教員などの中では聴覚過敏の症状は認知を得ているのかという質問に関して、知識としては持っているが目の前の児童が聴覚過敏の症状を表しているのかという判断は難しいと話していた。聴覚過敏の症状の程度が個人で異なることや、発達障害の特性のために言語化ができず症状を具体的に訴えることが難しいことを理由として挙げていた。

⑧ トイレのエアタオルに関して

A先生「(音と風の)相互作用があるかもしれない。(ジェットタオルを)使わなければ音が出ないからって言っても入りたがらない子もいます。見るだけで風が来るから嫌って。トイレにあること自体が許せないみたいです。お母さんのお言葉ですけど、ジェットタオルがあるところには入りたがらないので、トイレ探るのが大変ですって。(中略)気がつかなければいいんですけどね、気が付いた途端にパニックになるので。彼らを追い詰めていくみたいな思考があるからね、ジェットタオルを使わなかったらいいじゃないとか、使わないから大丈夫よところが。もし~だったらっていう、~かもしれないっていうところが…間がないので…あったら絶対、絶対はないっていうので。あるところには入らないとか近づかないとか、なければ大丈夫という0か100かみたいな二択の選択肢が多いですね。」

トイレのエアタオルは発せられる音の大きさと、風の2つの刺激があるため苦手な子どもが多いのではという筆者の質問に関して、聴覚と触覚の2つの感覚への刺激が相互に作用し、過敏性を引き起こしているのかもしれないと語っていた。

エアタオルは使用しなければ、音や風はでないが、エアタオルを設置しているトイレ自体の利用を拒否する子どももいるという。ネガティブな感情が100%になってしまい、嫌いなことが少しでもあると拒否してしまうという。この価値観のために、生活には様々な方面で支障を生じさせていると語っていた。

⑨ 今後の対応・対処に関して

A先生「目指すところはユニバーサルなんだけど、意外と難しいじゃないですか。それよりも多様性の方が多分やりやすいと思うので。(例えば)テレビは、いろんな注意を引きやすい音を発したいと思ってると思うんですよ、そうするとそれを避けたいと思う人との価値観はなかなか合わないから、パーソナルな事情をどう踏み込んでいくかっていう。」

地震速報の音やJアラートの音を過敏に感じる音として挙げる回答はアンケートの中でも複数見られた。こういった音で過去の経験が思い起こされ落ち着きがなくなったり体調を崩す人は一般的に少なくはない。こういった反応は「体が反応してしまっている反応なんだ」とA先生は語っていた。例えば、ガラスのキーという音を不快に思う反応では、不快・快を意識下で反応しているのではなく、自分の無意識下にある場所で体が反応し決定していると考えられる。そのため、同じ音に対する反応でも安心や安全できる状況下では反応が変化する。過敏性が現れやすい時とそうでない時が生じるのではないかと話していた。

そのため、医療の観点からはリズムよく生活することなどの本人の体調管理全体から対応していく必要があるとしていた。

4.3.2. D先生のインタビューより

(2018.8.31 実施)

① 感覚過敏の診断基準に関して

D先生「まず一つは聴覚だけでなく、触覚・味覚・視覚など他の感覚にも関しても乱れがある人がいる。乱れとは、過敏な人ももちろんいるが、痛覚に鈍感で、自傷行為を行ってしまう、特定の感覚的な刺激を好むといった、感覚の偏りがある。

診断基準に、アメリカ精神医学会が作っている分類マニュアルがある。2013年で日本語版ができて、このバージョンになった時に、感覚刺激に対する過敏さまたは鈍感さまたは環境の感覚的側面に対する並外れた興味、例えば痛みや体温に無関心に見える、特定の音または触覚に逆な反応をするなどが(自閉スペクトラム症の診断基準に)加えられた⁴¹。

要するに、今までの診断基準では感覚の問題は、診断基準に入っていなかった。困った人が自閉スペクトラムの中にいっぱいいることが明らかになったので診断基準に入った。」

近年、感覚過敏は重要であると意識されつつあり、これまでの診断基準には組み込まれていなかったが、2013年に日本で刊行された診断基準DSM-5では感覚の特性が組み込まれた。また、自閉スペクトラム症の診断基準を満たす人でなくても、感覚の問題を持つ人は多数いるとD先生は話していた。また、感覚過敏は前述のように自閉スペクトラム症の診断基準に採用されているが、自閉スペクトラム症以外の発達障害を持つ人の中でも感覚過敏を持つ人は多数存在している。

② 自閉スペクトラム症と感覚過敏の症状に関して

D先生「感覚の過敏の種類や強さもありますが、その人が他にどういう問題を持っているかによって、それにどれくらい本人が困っているか、それから困っていることを周りに伝えられるかどうか。例えば、自閉スペクトラム症は、対人コミュニケーションの問題があるので、感覚的な問題があること、自分は人と違うことや環境の違いを認識したり、困っているから助けてくださいということがうまく表現することができないことがある。」

D先生は自閉スペクトラム症の特性や低年齢であるためにために、感覚の異常や過敏を持っていてもなぜ苦しいのかという原因が分からない、周囲に伝えられない場合がある。

D先生「赤ちゃんの泣き声が嫌いなお子さんが多い。赤ちゃんが泣くと、黙って静かにしてほしいと思う。ところが、その子が20才とかになって100kgぐらいの体格になる。知的な遅れもある。電車で出

⁴¹ 自閉スペクトラム症:「発達障害は、理論的には脳の機能の発達に問題があつて、小さい時から精神行動上、困っている人のこと。自閉スペクトラム症はその典型。多動症、ADHDとか知能の遅れがなかったとしても、字を書く、読むこと、特異的な落ち込みがある学習障害とか、それらを含めて、本人の機能の問題で小さい時から困っている人を見てきた。」(D先生のインタビューより 2018.8.31)

かけてた時、赤ちゃんが泣いていて、怖くなって泣き止んでもらいたくなって、口を抑えに行く。周りから見たら暴漢に襲われているように見える。そしたら極端な話、外に出かけないでくれとなる。

(中略)

私の患者さんの中で、軽度の知的な障害かつ自閉症の方がいるが、自分の状態をある程度言葉で話してくれる人なんだけど、音への過敏が強くて、泣いているのと諍いをしているようなことにすごく不安になってしまう。電車に乗るのが辛くて、ノイズキャンセリングのイヤマフをして作業したり、学校通ってたが、それでも電車のブレーキ音で混乱して、結果的に周りの人がびっくりしちゃって、そういう自分が情けないと思ってしまう、結果的にはお母さんがずっとついて行ってあげた。

女性専用車両を利用して、今も作業所にお母さんと一緒に通っている。とても優しい子だし、単純な作業であつたらちゃんとできる。もしそういう症状がなければ、障害者枠で単純なお仕事をして就職することもできるくらい。」

聴覚過敏の症状のために本人自身が行動を制限されている場合があると D 先生は話していた。上記の 2 つのエピソードはその例である。前者では、過敏に感じる赤ちゃん泣き声を恐怖に感じ、本人が対処をしようとしたが、結果的に周囲からは赤ちゃんを襲う危険に思われるような行動となってしまった。後者では、症状のために周囲に迷惑をかけてしまったと自分の行動を制限してしまったり、「自分は情けないからダメ」だと嫌な思いをしている。このように、聴覚過敏の症状のために結果的に本人の行動が制限されてしまう例があると D 先生は語っていた。

③ 聴覚過敏の症状への対応に関して

D 先生「聴覚過敏は一つの症状ですから、様々な要因で起こる。(中略)そういう精神的なことと関連したその身体症状、心身症的なものでも起こるでしょうし、聴覚器官の不調があると不安になったりしますね。(中略)感覚自体の問題もあるが、不安と関連して、またそうなるのではないのかというものでより敏感になることがある。自閉症のお子さんは将来の見通しが立ちにくかったりする。見通しが立ちやすくしてあげる。本人も見通しに沿って行動することを積み重ねて自信をつけてあげる感覚過敏がなくならないにしても、不安を取り除くことで変わるかもしれない。

考え方としては 0 を目指すのではなく、100 だと困るから 5 と 10 ならそこら辺の人と同じくらいだから、一生持っていくことにはなるが、成長していくことが大事。困ることは少なくなっていく。

一人ずつ違うのでどういう環境がいいのかを考える。」

D 先生「例えば、認知行動療法的というか、音にちょっとずつを暴露してても、大丈夫だ、と思って強い不安を抱かないようにして耐えられるようにする。(中略)あと聴覚ではなくて、不安をどう取り除くか。持っていると安心するお守りで、うるさい時にはこの音楽聞いてとか。もちろん環境の調節という意味では、学校とか職場とかお願いして、影響のある人と別の部屋にしてもらって、別のチームにもらってとか。環境の調整と違うけど、本人がそこから抜け出せるように周りに配慮してもらってだけな

く、本人にもコミュニケーション能力をつけてもらう。うるさい子が喚きそうになったら、先生にお断りを入れて他の部屋に入って休んでいいっていう風にして移動できるか。他の部屋に行きたいんだと意思表示できる。」

同じ感覚に対する問題を持っていたとしても、症状の度合いは異なるため、周囲も対処が難しい、と話していた。感覚過敏の問題では、複合的な感覚に対する刺激が不安感や不快感を引き起こすこともあり。単に一つの感覚器官の問題ではない場合がある。

このように聴覚過敏は聴覚の問題だけではなく、不安を抱くことと関連しているため、将来への不安などから症状がより強く現れることがある。見通しを立てて行動することなどで不安を取り除くなどの対応を行うことで、症状を緩和させる場合もある、とD先生は話していた。

対応策としては、本人への対応と周囲の環境調整の2つのアプローチを併せて行うことが有効とされていた。具体的には、本人が音を遮断する、不安を除き安心を高めるである。例えば、イヤマフや耳栓を利用して音を遮断する、過敏に感じる音に少しずつ暴露することを積み重ね音に慣れることで強い不安感を抱かず耐えられるようにする、持っているとお守り、うるさいと感じる時には音楽を聴くなどの対策を挙げていた。また、周囲の環境調整に関しては学校や職場などに配慮をお願いするという方法に加えて、本人のコミュニケーション能力を向上させ、本人の状態を周囲に認知してもらえるよう本人が働きかけるという対応も挙げられていた。

4.3.3. E先生へのインタビューより

(2018.10.2実施)

① 自閉スペクトラム症に伴う感覚過敏に関して

E先生「例えば、自閉症だったら生後半年とかだとわからない。症状が揃わない。7ヶ月くらいから自閉症の症状が出てきて、1才くらいにはっきりしてきて、3才に症状が揃うって言われている。だから自閉症は生まれ落ちた時に半分、3才までに症状が完成するっていう風に言われている。感覚の問題は最初は出てこない。1才半~2才くらいから感覚過敏の症状が出てくる。そこはどうも通常の意味の感覚過敏とは違う。というのはなんでかという年齢が上がってくると、感覚過敏がなくなったりする。」

E先生は、自閉スペクトラムの症状は3歳前後に症状が完成するが、感覚の特性はその時期には出現しない。ガラスを引っ掻く音に対して定型発達の人でも不快に感じることは多いが、自閉スペクトラム症に伴う感覚過敏は一般の反応とは異なる症状である、と話していた。

② 自閉スペクトラム症の感覚記憶に関して

E先生「『私はお母さんの膝の上に赤ちゃんの時はいつも乗っていました。椅子に座っているように』って言っていた。それから『私は床の上の模様を眺めながらはいはいした。模様が綺麗で私にとっては快樂でした』みたいなことを言っている人もいる。(中略)例えばアスペルガーのお母さんの話によると、『私は盲腸の手術をした時に、ぬるっと腸から出る感覚が忘れられません』(と言っていた)。普通は麻酔で覚えていない。感覚だけが残っている。」

上記のエピソードは、蘇ってきた視覚などの過去のイメージ記憶などに対して、映画の音声の様に感覚の説明を後から付けているものである。

自閉スペクトラム症を持つ人の中に多い経験として、視覚などの感覚が記憶として残り、その記憶がフラッシュバックすることがあるという。そのため、上記のエピソードの様に過去の記憶や幼少の経験を思い出すことがある。つまり、幼少期の過去記憶とその時の感覚の体験は、本人の中に残っているが、感覚の説明については後から付けたものであるとE先生は語っていた。

③ 感覚過敏に対する対応に関して

E先生「最終的にアスペルガー以外の人は、自動的に選択性を働かして必要な音を選び出している。一般的な人は自動でやっているわけですよ。だけど(アスペルガーの人は)自動的に選択ができていない。例えばさっき言った人の話を聞いてみると、『ひな壇のある番組でも、BGMが流れている。』(と言う。)僕なんか全然聞こえないんだけどそれが聞こえている。」

(中略)

それともう一つはそれに意味付け(ができるかどうか)。

例えば椎茸食べるのがダメな自閉症の人は多い。それはなぜかってアスペルガーの成人の人に聞いて

たら、『椎茸はカビの仲間だからそれを食べるのは気持ち悪い』って言っていた。その人は1才半前後から椎茸を食べてないわけよ、ということはカビかどうか知ってるわけがない。(中略)椎茸を食べると、ナスもそうだが、噛み切ったか噛み切っていないかわからない。喉に張り付く。一回その記憶が残ると、二度と椎茸が食べられないんだよね。悪い記憶と一緒になった時にそれに対して拒否感が出てくる。」

E先生は感覚過敏に関して2つの要因があると語っていた。1つは、音の選択性、意味付けである。聴覚過敏の状態は、一般の人は無意識で行っている音の選択をできていないために、通常では聞こえない音が聞こえている状態であるとしていた。

上記のエピソードで、椎茸を食べない理由として「椎茸はカビの仲間だからそれを食べるのは気持ち悪い」が挙げられているが、1歳前後から椎茸を食べていないということからこの理由は後付けであることがわかる。また、ナスや椎茸を食べない理由として挙げられている「噛み切ったか噛み切っていないかわからない。喉に張り付く」があるが、これらは触覚などの問題である。この触覚の記憶がネガティブな記憶として残りナスや椎茸に拒否感が生じる状態にある。これらのことから、選択性と意味付けの対応によって感覚の過敏は改善されることがあるとE先生は語っていた。

また、発達障害の特性として感覚鈍麻があるが、この「鈍」の感覚に関しては選択性に問題があるとしていた。

④ 感覚のラベリングに関して

E先生「お腹が空いたって言葉は非常に曖昧な言葉。選択性がちゃんとしてないから頭かゆいな、この辺痛い、お腹がへこんだという感じがするという感覚が同等に存在している。一般の人はお昼になると、お腹の方の感覚とかそういうことだけ(を選び出し)、他の感覚は頭に入れない。けれど、自閉症の人は、そろそろお腹が空いたかなと思い、この辺(身振り:お腹)に関係のある感覚だけを残し、残りを無視するというのをわざわざ行う。そしてこの辺にある感覚を集めていって、そこにお腹が空いたというラベリングを行う。(中略)統合することが自閉症にとって根本問題。その中で選択的にあるものを概念化して、それで満足している。

(中略)

例えば、毎日運動している人が、足を挫いてから2週間くらい運動していない人が急にここに来て『体の中にモルモットが走っているんです。気持ち悪いんですけど、どうしたらいいですか』っていうんだよ。それで僕は『それはね、運動していないから、体は運動したいといっているんだよ』って教えた。これでラベリングはできた。だけど、自分で自動的にラベリングできない。それは余計怖い。得体のしれない感覚になる。」

E先生は自閉スペクトラム症の人は、感覚をラベリングして満足していると語っていた。涙が出たことに対して、「悲しいからである」というラベリングや、上記のエピソードの様に「お腹が空いた」な

どの感覚は一般では自動的にラベリングされる感覚であるが、自閉スペクトラム症を持つ人の場合は、感覚を統合することなどが難しく、自動的にラベリングを行うことが出来ないのだという。

⑤ 感覚と感情に関して

E先生「赤ちゃんが泣くことに対して、我慢できずに殴りにいった子が、ある日成育医療センターにいった時に赤ちゃんが泣いてたと、するといつも赤ちゃんが泣いていると直ぐに殴りに行ってた子が我慢した。なぜ我慢できたのかと聞くと、生育(医療センター)にきている赤ちゃんは、病気の赤ちゃんだったから我慢できた。他の赤ちゃんは病気じゃないのに泣いているからイライラするといっていた。(中略)

例えば、よく患者さんにいうのは、パチンコ屋が一生懸命うるさい音を出していてその前を通るとうるさい。何にも意味がない音として聞こえていれぱうるさい。だけど、パチンコ屋さんは儲けようとして外に出して宣伝しているんだ、うるさくてしょうもない人だねと言えば我慢できる。全然意味がわからず、音が聞こえてきたら、おそらく誰だって嫌になる。」

自閉スペクトラム症の人は、感覚が感情から独立している。上記のエピソードの様に、目的や意味が分からない音に対しては嫌悪を感じるが、目的や意味が理解できるとその音に対して嫌悪を抱かない。このように、自閉スペクトラム症に伴う感覚過敏では1つ1つの音に対して意味がわかれば過敏に感じないということがあり、この点において通常感覚過敏とは異なっているとE先生は語っていた。

4.4. 考察とまとめ

■ 当事者と家族へのインタビュー

聴覚過敏を引き起こす音については、トイレの水を流す音、バイクのモーター音、エアブレーキの音、マイクのハウリング音やモスキート音などが聴覚過敏を引き起こす音として挙げられていた。これらの音を過敏に感じるために、トイレを我慢して流している、電車やバスを利用できないために車のみの生活であるなど、聴覚過敏が日常生活に影響を与えていることがわかった。また、人の声が気になる G さんは低くてかすれる父親の声やバラエティー番組の声、怒鳴り声は苦手を感じるが、映画の吹き替えなどは聴きやすいと感じており、単に人の声を過敏に感じているのではなく、声質や声色など声の特徴で過敏性は左右されるということがわかった。目的を持って発せられている大声は許容できるが、友人の無意味な大声はうるさく感じるという話から、音の持つ目的も過敏性に影響を与えることがわかる。また、人混みや地下空間で発せられる音を過敏に感じるという話では、視覚や嗅覚の影響も聴覚の過敏性に関係していると語っていた。

G さんや H 君、I 君は現在は聴覚過敏の症状は落ち着いていると語っていることから聴覚過敏の症状はその時の当事者の状況によって変化すると考えられる。当事者それぞれが聴覚過敏の症状が現れた時の本人の状況を語っており、学校帰りなどの疲れている時、心身不調のときをあげていた。また、過敏に感じる音を聞いたときの本人の状態を、耳の中が痛い、めまい、動悸、冷や汗が出て気分が悪くなる、パニックになってしまうなどと表現をしていた。このことから、聴覚過敏の症状は単純に音を「過敏」に感じるという状態よりも複雑であるとわかる。

聴覚過敏症状への対処として、イヤホンや指で耳を物理的に塞ぐという対策のほか、音楽を聴く、水の音やピンクノイズを流すことで心を落ち着かせる対処法や、聴覚だけではなく視覚的にも刺激のない部屋で休むなどの対応を行っていた。また、インタビューの中では、センサリーフレンドリー上映やクワイエットアワーなどの社会の取り組みへの期待を語っていた。

■ 先生へのインタビュー

発達障害の特性として感覚の過敏があり、その感覚過敏の一つとして、聴覚の過敏がある。これら感覚の問題は他の感覚器官も複合的に影響を与えており、単に一つの感覚器官の問題ではない。自閉スペクトラム症の診断基準に感覚過敏の項目は組み込まれているが、自閉スペクトラム症以外の発達障害でも感覚過敏を持つ人は多数存在する。また、発達障害の診断を受けていない人の中にも聴覚過敏症状が現れる場合があるが、D 先生と E 先生は通常感覚過敏は自閉スペクトラム症の感覚過敏とは異なるのではないかと語っていた。

聴覚過敏の症状は同じ音に対する反応でも安心や安全できる状況下では反応が変化し、過敏性が現れやすい時とそうでない時が生じる。

また、見通しを立てて行動することなどで不安を取り除くなどの対応を行うことで、症状を緩和させる場合もあるが、同じ感覚に対する問題を持っていたとしても、症状の度合い個人で異なるため、周囲も対応することが困難である。

聴覚過敏症状への対応としてD先生は、本人への対応と周囲の環境調整の2つのアプローチを組み合わせることが有効なのではないかと語っていた。

E先生は感覚過敏に関して、音の選択性と意味付けの2つの要因があると語っていた。選択性と意味付けの対応によって感覚の過敏は改善されることがあると話していた。また、目的や意味が分からない音に対しては嫌悪を感じるが、目的や意味が理解できるとその音に対して嫌悪を抱かない。このように、自閉スペクトラム症に伴う感覚過敏では1つ1つの音に対して意味がわかれば過敏に感じないということがあり、この点において通常感覚過敏とは異なっているとE先生は語っていた。

以上より、聴覚過敏を引き起こす音を苦痛に感じる要因には、音が大きい・突発的であるなどの音の持つ特性に加え、当事者の視覚や嗅覚などの感覚へ影響を与えるその場の周囲の環境や本人の心身の状態があるとわかる。このことから、聴覚過敏症状へ影響する要素には、周囲の環境〈外的環境〉と本人の心身状態〈内的環境〉が考えられる。それぞれの対策として、外的環境に対しては遮音・吸音や、音を低減させるなどの物理的な環境調整、内的環境に対しては安心感を持たせる、音の意味づけを促すなどの当事者本人への調整が有効であると考えられる。

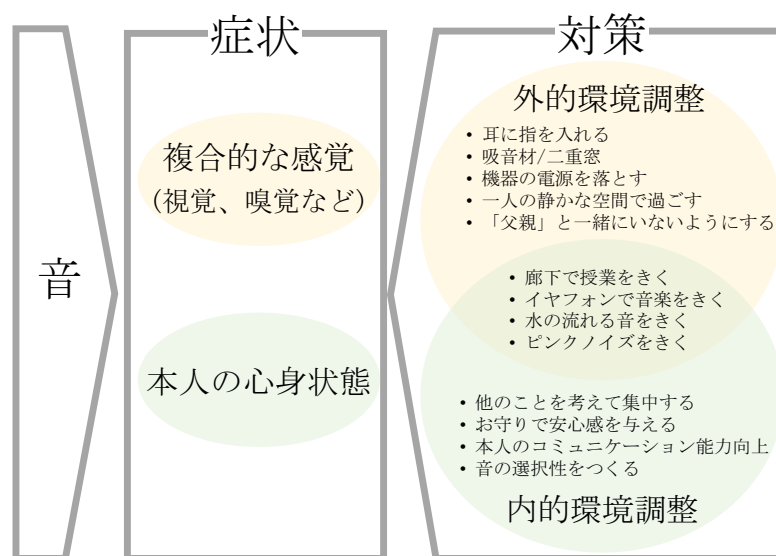


図 4-1 聴覚過敏に対する環境調整

第5章 総括

5.1. 本研究のまとめ

第1章では、日常の生活空間で聴覚過敏症状が与える生活への障害について、国内における聴覚過敏に関する研究について概観し、音の過敏性に配慮した環境設計のための基礎情報の必要性を説いた。また、本研究は環境設計のための基礎情報を明らかにすることを目的に、実態把握を試みる研究であることを述べた。

第2章では、アンケート調査の実施概要とアンケート項目の構成に関してまとめた。多数の回答を得ることを目的に、回答者は「聴覚過敏症状のある子ども/本人」対象とし、アンケートの設問に関しても、インターネット上で回答することを考慮した内容とした。アンケートの設問設定では、聴覚過敏の症状と聴覚過敏を引き起こす音に関する基礎的な情報を明らかとなるようアンケート構成を行った。

第3章では、2章で構成したアンケートの結果をまとめた。聴覚過敏の経験への評価を用いて回答者群を3群に分類した場合と、聴覚過敏を引き起こす音への評価を用いて回答者群を4群に分類し、それぞれ項目ごとの指摘率を確認した。聴覚過敏を引き起こす音や空間の特性、聴覚過敏の症状が現れている時の当事者の状況などの基礎的な状況を把握した。

第4章では、当事者と医療従事者にインタビュー調査を行った。聴覚過敏症状が引き起こされる場面やその時の当事者の状況、有効であった対策に関して詳細にヒアリングした。また、医療従事者には専門的な立場から見た聴覚過敏の症状や対応策について回答を得た。これまでに実際に行ってきた対策、発達障害に伴う聴覚過敏の特性などの回答を得たことで、聴覚過敏への対応として、内的な環境調整と外的な環境調整のアプローチが有効であると考えた。

5.2. 今後の課題

本研究では、聴覚過敏症状の実態把握を目的としてアンケート調査とインタビュー調査を行った。

近年、発達障害の診断は増えていることから聴覚過敏のために日常生活に不便を生じている人も増えていると言えるだろう。本調査では、聴覚過敏の症状は日常生活を送る空間やそこに散在している音によって引き起こされ、その症状のために心身の不調や日常生活に不便が生じていることがわかった。そのため、成長の過程や日常の生活空間で症状が悪化しないよう対応を講じることは重要であると考えられる。

聴覚過敏の症状は当事者の心身状態や、その場の状況などに影響を強く受けることや、当事者の中でも症状は変化し症状の幅には個人差があることから、一律の対応は難しいとわかる。しかし、当事者本人が音を遮断する・周囲へ配慮を依頼する・心身の状態を整えるなどの、当事者本人への対処や周囲の環境の調整により聴覚過敏への対応は可能である。このような対応を社会が講じるために、まず、「社会に聴覚過敏の症状を知らせる・知ってもらおう」ことが重要であると考えられる。その上で、生活に悪影響を及ぼさないよう『合理的な配慮』が必要であろう。

本研究で得られた知見が今後の研究の一助となることを期待したい。

参考文献・引用文献

(本文中で参考とした順。引用箇所は本文中に記載)

- バグリー・デービッド,アンダーソン・ゲルトハント:聴覚過敏-仕組みと診断そして治療法-. (中川辰雄訳) .海文堂出版,2012.
- Vernon JA : Pathophysiology of tinnitus : a specialcase —hyperacusis and a proposed treatment. The American Journal of Otology,1987,
- Bagly,DM. : Hyperacusis. Journal of the Royal Society of Medicine,2003,93,
- NHK スペシャル取材班 : 発達障害を生きる. 集英社. 2018,
- Andersson, G.,Lindvall, N.,Hursti, T.,&Carlbring, P : Hypersensitivity to sound (hyperacusis): a prevalence study conducted via the Internet and post. International Journal of Audiology,2002,41,
- Fabinjanska, A.,Rogowski, M.,Bartnik, G.&Skarzynski, H. : Epidemiology of tinnitus and hyperacusis in Poland. Proceedings of the Fifth International Tinnitus Seminar,2005,
- 中川辰雄:騒音制御. 2016,40(6),
- 東京都福祉保健局 : 発達障害を理解しよう 〈<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/>〉 (参照 2019.1.18)
- 萩原拓 : 日本語版感覚プロフィールの概要,日本児童青年精神医学会,2016,57(1),
- 株式会社石井マーク : 「聴覚過敏保護用シンボルマーク」 無償公開データ(参照 : 2018.6.4)
- 発達障害プロジェクト : 2017年5月～発達障害の理解促進を目的として、NHKの各番組が連携し特集企画・番組を放送するプロジェクト. NHK オンライン:”発達障害プロジェクト” 〈 <http://www1.nhk.or.jp/asaichi/hattatsu/index.html>〉 (参照 : 2018.6.4)
- 大木啓義 : 特別支援学校における自己領域化に関する研究, 〈<http://www.hues.kyushu-u.ac.jp/>〉 (参照 : 2018.1.11)
- 熊谷晋一郎, 綾屋紗月, 武長龍樹ほか:一般大学生における聴覚過敏の実態とリスク要因,Audiology Japan,2013,56,
- Khalfa S, Dubal S, Veillet E, et al : Psychometric normalization of a hyperacusis questionnaire,ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec 64 :2002.
- 中川辰雄:一般大学生における聴覚過敏の実態とリスク要,Audiology Japan,2011,54(5),
- 中川辰雄:保護者に対する質問紙調査による特別支援学校在籍時の聴覚過敏の実態騒音制御, 2016,40(6),
- 関谷健一, 関谷芳正, 加藤有加ほか:聴覚過敏の臨床的検,Audiology Japan,2011,54(5),

-
- 山田浩之, 大石直樹, 神崎晶ほか: Khalfa Hyperacusis Questionnaire 日本語版の妥当性について, *Audiology Japan*, 2013, 56(5),
 - 産経ニュース: 発達障害の人に「センサリーフレンドリー」音や光控え映画を上映.
〈<https://www.sankei.com/>〉 (参照 2018.9.28)
 - たーとるういず: 発達障害の方や家族へ「センサリーフレンドリー試写会」行われる.
〈<https://www.turtlewiz.jp/>〉 (参照 2018.9.28)
 - NHK オンラインどーがれーじ: クワイエットアワー 〈<https://www.nhk.or.jp/d-garage/>〉 (参照 2018.8.30)
 - coles: Quiet hour expands nationwide to help shoppers. 〈<https://www.coles.com.au/>〉 (参照 2019.1.16)

謝辞

本論文は筆者が東京大学大学院新領域創成科学研究科、社会文化環境学専攻、修士課程において、同専攻准教授 佐久間哲哉先生のご指導のもとに行った研究をまとめたものです。

佐久間先生には本研究の遂行にあたり研究のテーマ設定から、本研究に取り組むにあたっての姿勢など、貴重なご指導とご助言を頂きました。

同専攻准教授 清水亮先生には副指導を担当いただき、社会学の視点から貴重なご指導とご助言を賜りました。

ならびに、本調査においてご協力いただいた株式会社 LITALICO 発達ナビ編集長 鈴木悠平様、東大病院准教授 金生由紀子先生、兵庫県立こども発達支援センター長 野中路子先生、どんぐり発達クリニック理事長 宮尾益知先生、翔和学園 中村朋彦先生、林光紀先生、一般社団法人 Alternative Space Necco 金子磨矢子様、インタビュー調査にご協力頂いた皆さまには深く感謝いたします。宮尾益知先生には研究に関してお話を伺う機会を頂いた上、調査にご協力くださる施設のご紹介と勉強会へ参加させて頂く貴重な経験も頂き甚大なる謝意を表します。

佐久間研究室特任研究員の井上尚久さん、博士課程の會田祐さん、劉金雨さん、榎本貴之さん、孔敬受さん、研究室の先輩である角谷純平さん、坂吉佑太さん、駒井彩乃さんには研究やそれ以外の面でも沢山のアドバイスを頂きました。後輩である兪凡さん、田主望さん、研究生活を支えてくださり、楽しい時間を過ごすことができました。特に、中津成博さん、山崎泰知さん、研究遂行にあたり日頃より支えてくださりありがとうございます。同期の坂本栞さん、谷野葵さん、堤遼さん、西川宏作さん、とは常に刺激的な議論を頂き、精神的にも支えられました。研究以外でもたくさんの刺激をもらい、修士学生としての2年間、多くの時間を共有し切磋琢磨してこられたと感じています。本当にありがとうございました。

また最後になりますが、私の学生生活を支えてくれた家族と友人に心より感謝申し上げます。

発表論文一覧

修士論文要旨

本研究以外の発表論文

松井温子, 佐久間哲哉：発達障害に伴う聴覚過敏症状と音環境に関するアンケート調査, 日本音響学会
研究発表会講演論文集(秋), p1301-1304

発達障害に伴う聴覚過敏と音環境に関する実態調査

Survey on sound environment and hyperacusis for developmental disorders

学籍番号 47-176769
氏名 松井 温子(Matsui, Yoshiko)
指導教員 佐久間 哲哉 准教授

1. 研究の背景と目的

聴覚過敏とは「大抵の人が十分我慢できる音に対する苦痛の要素を伴う異常な大きさの経験」とされている^[1]. すなわち、聴覚過敏を持つ人は生活空間で生活音や環境音に苦痛を感じており、疲労やストレスの要因となる. さらに、一般の聴覚過敏の罹患率は9～22%^[1]であり、一定数に対して日常の音環境が健康に影響を与えていると分かる. しかし、これまでは聴覚過敏の治療や診断基準などの医学や心理学に基づく調査や研究が主であり、どのような生活空間で苦痛や不便を感じるかという実態は明らかにされておらず、音の過敏性に関する社会的認知が低いといえる. 発達障害には感覚過敏の特性が多く見られることが知られ、自閉症を持つ集団に対する調査でも聴覚過敏があると回答する率は一般の人よりも高いとされている^[1]. しかし、特別支援教室等でのカムダウンスペース導入などの空間設計の配慮例はあるが、日常の音環境に関しては音に過敏性を持つ人に配慮した環境設計は行われていない.

本研究は音の過敏性に配慮した環境設計のための基礎情報を明らかにすることを目的に、発達障害者を対象にアンケート調査及び当事者と関係者へのインタビュー調査を行い、聴覚過敏症状の実態把握を試みた.

2. アンケート調査概要

アンケートは発達障害情報支援サイトの登録会員にメールを介して配布し、インターネットを通じて行った(平成30年3月～4月の2週間). 有効回答は766件であった. 登録会員のうち回答対象者を、聴覚過敏症状のある子どもの保護者または聴覚過敏症状のある本人とした. 約60項目で構成し、Ⅰ回答対象者自身、Ⅱ聴覚過敏症状、Ⅲ聴覚過敏症状を引き起こす音に関する内容とした(表1). Ⅱ1～10の聴覚過敏症状の経験に関する項目は、カルファの聴覚過敏尺度を参考に作成した^[1,2]. カルファの調査では対象者が17～69才であったため、幼児の生活環境には不相当と考えられる項目とⅢと同様の内容を除いた. Ⅲは、回答者の生活空間で想定される音を評価させた(表3).

3. アンケート調査結果

3.1 Ⅰ回答対象者

回答者は保護者が563名(73%), 本人が203名(27%), 平均年齢は16.0才(1～68才), 全体の男女比は、男性が58%(440名), 女性が41%(317名)であった. 発達障害に関する診断については、ASD(自閉スペクトラム症)が最も多く505名(66%), ADHD(注意欠陥多動症)が226名(30%), LD(学習障害)が62名(8%), 発達障害などの診断を受けていないが136名(18%)であった.

3.2 II 聴覚過敏症状

II 1~10 を「いつもある(4点)」～「全くない(0点)」の5段階で回答を得た。これらの設問の合計点を聴覚過敏スコアとし、本調査ではカルファらの調査結果^[2]を参考に、聴覚過敏スコア 28 点以上を「聴覚過敏スコア群」、上位 4%(29 名, 36 点以上)を「高度聴覚過敏スコア群」、聴覚過敏スコア 28 点以下を「低スコア群」と考えた(図 1)。

年代別では、0-6 才が 13%(22 名)と最も低く、20-39 才が最も高く 42%(50 名)であった(図 2)。これより本調査では、成人回答者の約半数が聴覚過敏の可能性があることが示唆された。(聴覚過敏スコア群の判定と年代区分をカイ二乗検定により検証した結果、有意性が認められた。P<0.0001)

また、II 1~10 の状態が「ある」と指摘した率(指摘率、いつもある+よくある)を求めた(表 2)。高度聴覚過敏スコア群では多くの項目で 100%に近い指摘率を示した。II 2, 8, 10 は、低スコア群でも比較的高い指摘率を示しており、これらは一般にも多い経験であると考えられる。II 7 は、回答者全体では 19.1%, 低スコア群では 10%と低いが、聴覚過敏スコア群では、他の 9 項目と比較すると低いものの約半数の指摘率である。

3.3 III 聴覚過敏症状を引き起こす音

III 1 では、生活空間で想定される音を列挙し、「特に過敏に感じる」～「全く過敏に感じない」の4段階で評価を得た。それぞれの音を「過敏に感じる」指摘率(特に過敏に感じる+過敏に感じる)を求めた(表 3)。1, 2, 3, 4 は聴覚過敏スコア群で指摘率が高く 70%以上が過敏に感じると指摘していた。低スコア群と比較して高度聴覚過敏スコア群では、2, 6, 25 が特に指摘率が高い。

表 1 アンケート項目

I 回答者対象者について	
1	回答者[単一回答,本人/保護者]
2	性別[単一回答]
3	年齢[自由記述]
4	現在の状況[単一回答]
5	発達障害に関する医師の診断の有無[複数回答]
II 聴覚過敏症状について[五段階単一回答,いつもある/よくある/ときどきある/まれにある/全くない]	
1	日常生活において,周りの音を無視することにしんどさを感じますか。
2	周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。
3	周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。
4	騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。
5	通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。
6	外出先で想定される騒音が原因で,今まで誘いを断ったり,外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会,コンサート,レストランなど)
7	少しうるさい部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが,騒音や特定の音に悩まされますか。
8	ストレスや疲労は,騒音の中で集中する力を減弱させますか。
9	一日の終わりが近づくにつれて,騒音の中で集中することができなくなっていくますか。
10	騒音や特定の音が,ストレスやいらだちの原因になりますか。
11	聴覚過敏症状を引き起こした状況とその音について,記憶に残っている出来事について[自由記述]
III 聴覚過敏症状を引き起こす音について	
以下の音を過敏に感じるがありましたか。(室内/屋外/施設/学校や施設など) [四段階単一回答,特に過敏に感じる/過敏に感じる/やや過敏に感じる/全く過敏に感じない]	
1	III 1 の音以外に過敏に感じる音 [自由記述]
2	音を過敏に感じる原因[複数回答]
3	音を過敏に感じる時の状況 [複数回答]
4	過敏に感じる音に関して行っている対策[複数回答]
5	音・場所や空間などへの改善要望[自由記述]

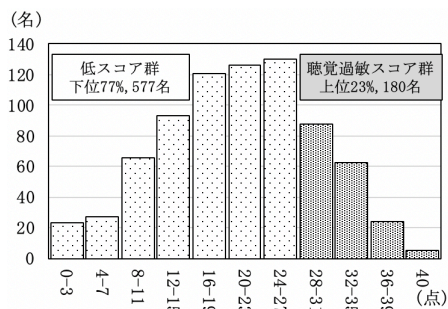


図 1 聴覚過敏スコア分布

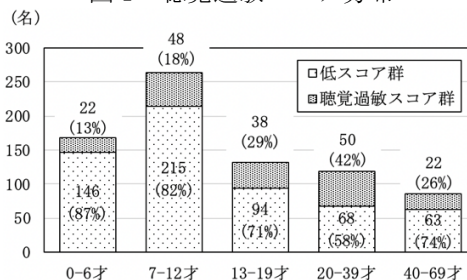


図 2 年齢毎のスコア群分布

これらは、「音が大きい・空間やサービスを利用中に鳴り続ける・自身でコントロールできない」の特性があると考えられる。自由回答では、「咀嚼音・ボイラーや換気扇の音・洗濯機の音」の定常的にある程度の大きさで発生し避けられない音が挙げられていた。他にも、「花火・非常ベルや警笛・くしゃみ・ピストル」の発生が予測不能な大きな音も多く挙げられていた。以上より、定常的に発生し避けられない音や対処ができない音を特に過激に感じると考えられる。

Ⅲ4では、「不安を感じる時」「リラックス時」が多く、「常に過敏に感じる」も約40%と多く回答された。自由回答では「疲労時」「睡眠不足」などの「体調が優れない時」を示唆する回答のほか、「勉強中・集中している時」に過敏に感じるという回答が多い。

Ⅲ5では「部屋や場所を移動する」「人混みを避ける」などの音回避の対策や、「イヤーマフや耳栓を装着する」「イヤフォンで音楽を聴く」などの耳を塞ぐ対策が多く、自由回答でも「手で耳を塞ぐ」「秒針の音が出ない時計」テレビやラジオは持たずPCやスマホはサイレントのように音を調整・除外する回答や、「外出を避ける」「映画館にはいかない」などの聴覚過敏を引き起こす音があると想定される場所を避ける回答も多く、聴覚過敏症状のために生活空間が制限されていると示唆された。子どもの場合、保護者が「前もって説明しておく」「事前にしらせておく」といった対策が取られていた。

4. インタビュー調査

4.1. インタビュー調査概要と対象者

本調査では、発達障害児の療育や診療に携わる医師、聴覚過敏の当事者とその家族の計10名にインタビューを行った。

表2 Ⅱ1～10の指摘率

	回答者全体	高度聴覚過敏スコア群	聴覚過敏スコア群	低スコア群
Ⅱ1	37	93	81	23
Ⅱ2	53	100	91	41
Ⅱ3	31	93	68	19
Ⅱ4	48	100	89	35
Ⅱ5	39	100	87	24
Ⅱ6	34	100	76	21
Ⅱ7	19	59	48	10
Ⅱ8	56	100	94	44
Ⅲ9	34	90	68	23
Ⅲ10	62	100	96	52

表3 Ⅲ1の指摘率

	聴覚過敏スコア群	高度聴覚過敏スコア群	低スコア群
1 大勢の会話や人ごみの声	88	86	29
2 選挙カーやラッピングカーの音	77	90	22
3 工事現場の騒音	74	90	41
4 バイクや車のクラクション	73	93	55
5 赤ちゃんの泣き声	68	59	15
6 ゲームセンターやボーリング場の音	67	76	18
7 掃除機の音	66	72	26
8 救急車のサイレン	63	69	21
9 電車の走る音	62	69	24
10 トイレのエアータオルの音	61	79	32
11 ヘリコプターの音	61	79	34
12 祭りの和太鼓の音	59	75	24
13 テレビ・ラジオから聞こえる音	57	66	23
14 食器のぶつかる音	55	86	33
15 電車のプレーキの音	55	83	40
16 電車の発車・進入を知らせる音	54	59	13
17 ドライヤーの音	53	55	13
18 電話が鳴る音	53	31	6
19 踏切の音	53	83	40
20 店舗のBGM	52	59	5
21 館内放送	51	72	24
22 オーディオ機器の音	50	55	16
23 空調・換気扇の音	49	59	10
24 ドアを開閉する音	45	38	13
25 バスの停車・進入を知らせる音	44	83	21
26 時計の秒針の音	42	69	21
27 咳の音	41	45	12
28 冷蔵庫の音	36	66	26
29 家の中の足音	34	69	30
30 水洗トイレを流す音	33	38	12
31 鼻をすする音	32	52	12
32 ドアをノックする	32	52	17
33 シンクに落ちる水の音	31	69	24
34 レジの操作音	30	79	42
35 信号の音	27	72	20

4.2. インタビュー調査結果

4.2.1. 聴覚過敏症状について

症状は、「耳の中が痛い、鼓膜が破れるような感じ」と表現されていた。症状が出ている時には、めまい、動悸、冷や汗が出て気分が悪くなり、その場に座り込んだり、パニックになってしまう場合もある。しかし、本人の心身の状態や時間帯によって許容できる音の大きさや種類は異なる。また、嗅覚や視覚の情報によっても症状の幅は変化することから、聴覚過敏の症状は個人の状態やその場面に影響を受けるとわかる。

4.2.2. 聴覚過敏を引き起こす音について

「電車やバスが利用できず、車で移動している」「トイレの音は苦手だが、我慢して流している」のように生活の不便さを訴える声があった。「教室内の友人の声は苦手だが、先生の大声はわかりやすくするためだから大丈夫」「楽しいものは大きい音でもいい」「心構えができていれば大丈夫」との回答があった。このことから、聴覚過敏の誘引には音の特性に加えて音の意味づけや本人の意識が関連していると考えられる。

4.2.3. 聴覚過敏への対処・対応について

「イヤホンで音楽をきく」「自室で水音やピンクノイズを流す」ことで、心を落ち着かせたり、聴覚だけではなく視覚にも刺激のない部屋で休むなどの対応を個人では行っていた。また、音の意味づけを促し音の選択性をつくる、お守りで安心感を得る、コミュニケーション能力を向上させ周囲の環境を本人がコントロールできるようにするなどの対応も有効であるとされている。

4.2.4. 考察

聴覚過敏を誘引する音を苦痛に感じる要因としては、突発的のような音の特性に加

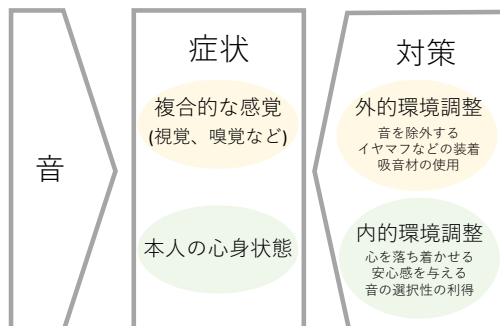


図3 症状の要因

え、その場面の周囲の環境や本人の心身の状態を挙げていた。このことから聴覚過敏症状の要因には、音の特性に加えて、周囲の環境(外的環境)と本人の心身状態(内的環境)が考えられる。外的環境に対しては遮音・吸音の物理的な環境調整、内的環境に対しては安心感を持たせる、音の意味づけによる心理的な環境調整が有効な対応策であると考える(図3)。

5. おわりに

聴覚過敏症状の診断は増えており、症状を持つ人が日常生活で不便が起きないように配慮する必要がある。聴覚過敏の症状は心身状態や外的環境に影響を受け、本人の中でも症状は変化し症状の幅に個人差があることから、一律の対応は難しいと分かる。しかし、環境調整や成長過程での音の選択性の利得などにより症状に対応することは可能である。成長の過程や日常の生活空間で症状が悪化しないよう対応を講じることは重要であると考えられる。社会が対応策を講じるために、まず、「社会に症状を知らせる・知ってもらう」ことが重要である。その上で、生活に悪影響を及ぼさないよう〈合理的な配慮〉が必要であろう。

参考文献

- [1]バグリー, アンダーソン, 聴覚過敏 - 仕組みと診断そして治療法 -, (中川辰雄訳), 海文堂出版, 2012. [2]Khalifa S et al, ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec, 64, 436-442, 2002. [3]熊谷 他, Audiology Japan, 56, 234-242, 2013.

発達障害に伴う聴覚過敏症状と音環境に関するアンケート調査*

☆松井温子, 佐久間哲哉 (東大・新領域)

Table 1 Outline of questionnaire survey

1 研究の背景と目的

聴覚過敏とは、日常生活の音に対して異常に耐性が低くなり、一般には不快に感じない周囲の環境音に対して激しく耐性が欠如する状態のことであるとされている^[1]。すなわち、聴覚過敏を持つ人は住宅内、学校、オフィスといった日常の生活空間における生活音や環境音に対して不快さを感じており、この不快感は疲労やストレスにつながると考えられる。さらに、一般の人の聴覚過敏の罹患率は9~22%^[1]と示されており、一定数の人々に対して日常の音環境が健康に影響を与えていることが分かる。しかしながら、これまで聴覚過敏に関しては、聴覚治療法や診断基準などの医学や心理学に基づく調査や研究が主であり、過敏性を持つ人が日常のどのような生活空間で不便を感じているかという実態は明らかにされておらず、音の過敏性に関する社会的認知が低いといえる。

発達障害には感覚過敏の特性が特に多く見られることが知られ、自閉症を持つ集団に対する調査でも聴覚過敏があると回答する率は一般の人よりも高いといわれている^[1]。しかし、自閉症や発達障害の児童に対しては特別支援教室等でのカームダウンスペース導入などの空間設計の配慮例はあるが、日常の音環境に関しては音に過敏性を持つ人に配慮した環境設計は行われていない。

本研究では音の過敏性に配慮した環境設計のための基礎情報を明らかにすることを目的に、発達障害者を対象にアンケート調査を行い、聴覚過敏症状の実態把握を試みた。

2 アンケート調査概要

調査期間は平成30年3月~4月(2週間)である。アンケートは発達障害情報支援サイトの登録会員にメールを介して配布し、インターネットを通じて行った。有効回答は766件であった。登録会員のうち、回答対象者を「聴覚過敏症状のある子どもの保護者」または

I	回答者対象者について
1	回答者[単一回答、本人/保護者]
2	性別[単一回答]
3	年齢[自由記述]
4	現在の状況[単一回答]
5	発達障害に関する医師の診断の有無[複数回答]
II	聴覚過敏症状について[五段階単一回答、いつもある/よくある/ときどきある/まれにある/全くない]
1	日常生活において、周りの音を無視することにしんどさを感じますか。
2	周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。
3	周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。
4	騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。
5	通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。
6	外出先で想定される騒音が原因で、今まで誘いを断ったり、外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会、コンサート、レストランなど)
7	少しうるさい部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒音や特定の音に悩まされますか。
8	ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減弱させますか。
9	一日の終わりが近づくにつれて、騒音の中で集中することができなくなっていくますか。
10	騒音や特定の音が、ストレスやいらだちの原因になりますか。
11	聴覚過敏症状を引き起こした状況とその音について、記憶に残っている出来事について[自由記述]
III	聴覚過敏症状を引き起こす音について
1	以下の音を過敏に感じることはありませんか。(室内/屋外/施設/学校や施設など)[四段階単一回答、特に過敏に感じる/過敏に感じる/やや過敏に感じる/全く過敏に感じない]
2	III1の音以外に過敏に感じる音 [自由記述]
3	音を過敏に感じる原因[複数回答]
4	音を過敏に感じる時の状況 [複数回答]
5	過敏に感じる音に関して行っている対策[複数回答]
6	音・場所や空間などへの改善要望[自由記述]

* Questionnaire survey on sound environments and hyperacusis for developmental disorders, by MATSUI, Yoshiko and SAKUMA, Tetsuya (Univ of Tokyo).

「聴覚過敏症状のある本人」とした。

アンケートは約 60 項目(分岐条件により 58 ~72 項目)で構成し、表 1 に示す「I 回答対象者自身」、「II 聴覚過敏症状」、「III 聴覚過敏症状を引き起こす音」に関する内容とした。II 聴覚過敏症状については、聴覚過敏症状の経験に関する項目として II 1~10 項目を設定した。この項目は、カルファの聴覚過敏尺度を参考に作成した^[1,2]。カルファの調査では対象者が 17~69 才であったため、幼児の生活環境にはそぐわないと考えられる項目、及び III の項目と同様の内容の項目については除いた 10 項目を採用した。III 聴覚過敏を引き起こす音については、回答者の日常の生活空間において想定される音を評価させた。(表 3)

なお本報では質問項目 I 1~5、II 1~10、III 1、4、5 の結果について報告する。

3 アンケート結果

3.1 I 回答対象者について

回答者は保護者が 563 名(73%)、本人が 203 名(27%)、平均年齢は 16.0 才(1~68 才)、回答者全体の男女比は、男性が 57%(440 名)、女性が 41%(317 名)であった。発達障害などに関する診断については、ASD(自閉スペクトラム症:自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害などを含む)が最も多く 505 名(66%)、ADHD(注意欠陥多動症)が 226 名(30%)、LD(学習障害)が 62 名(8%)、発達障害などに関する診断を受けていないものが 136 名(18%)であった。

3.2 II 聴覚過敏症状について

II 1~10 について「いつもある(4 点)/よくある(3 点)/ときどきある(2 点)/まれにある(1 点)/全くない(0 点)」で回答を得た。これらの設問の合計点を聴覚過敏スコアとした。図 1 に聴覚過敏スコアの分布を示す。聴覚過敏スコアの平均点は 19.7 点、標準偏差は 7.8 点であった。カルファらの調査結果^[2]を参考に、本調査では聴覚過敏スコア 28 点以上(上位 23%、180 名)の群を「聴覚過敏スコア群」、上位 4%(29 名、スコア 36 点以上)の群を「高度聴覚過敏スコア群」、聴覚過敏スコア 28 点以下(577 名、77%)を「低スコア群」と考えた。

年代別の聴覚過敏スコア群の割合を図 2 に示す。0-6 才が 13%(22 名)と最も低く、20-

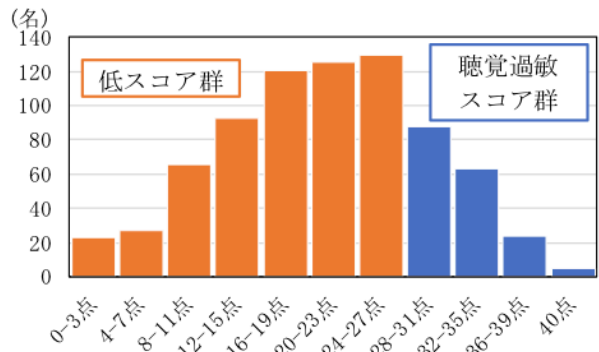


Fig. 1 Distribution of total score of the hyperacusis questionnaire

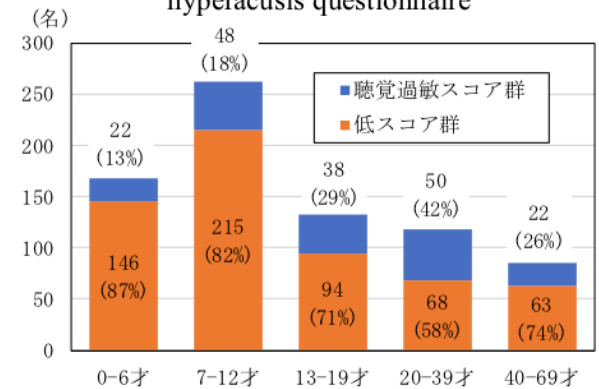


Fig. 2 Number of people by each age group

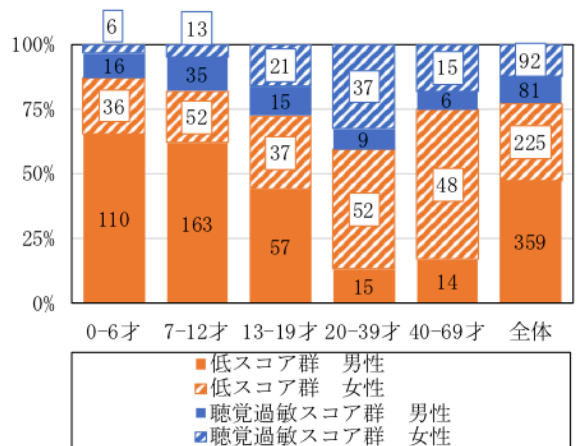


Fig. 3 Male-to-female ratio by age group

Table 2 Rating of hyperacusis questionnaire (%)

	回答者全体	高度聴覚過敏スコア群	聴覚過敏スコア群	低スコア群
II 1	37	93	81	23
II 2	53	100	91	41
II 3	31	93	68	19
II 4	48	100	89	35
II 5	39	100	87	24
II 6	34	100	76	21
II 7	19	59	48	10
II 8	56	100	94	44
III 9	34	90	68	23
III 10	62	100	96	52

39才が最も高く42%(50名)であった。このことから本調査では、成人回答者の約半数が聴覚過敏の可能性があることが示唆された。(聴覚過敏スコア群の判定と年代区分をカイ二乗検定により検証した結果、有意性が認められた。P<0.0001)

図3は年代別および回答者全体の、聴覚過敏スコア群と低スコア群の男女の割合を示す。未成年では回答対象者は男性の割合が高く、年代が高くなると女性の割合が増加した。回答全体では、聴覚過敏スコア群の判定と性別の有意性は認められたが(カイ二乗検定より。P<0.0001)、年代毎の検定では全ての年代において有意性は認められなかった。

II1~10について「いつもある(1点)/よくある(1点)/ときどきある(0点)/まれにある(0点)/全くない(0点)」として、それぞれの項目の状態が「ある」と指摘した率(指摘率)を求めた。表2に示すように、高度聴覚過敏スコア群では多くの項目で100%に近い指摘率を示した。II2、II8、II10は、低スコア群でも比較的高い指摘率を示した。これらの項目は一般の人にも多い経験であると考えられる。II7は、回答者全体では19.1%、低スコア群では10%と低い指摘率であるが、聴覚過敏スコア群においては、他の9項目と比較すると低いもののおよそ半数の指摘率が示された。

3.3 III聴覚過敏症状を引き起こす音について

III1では、室内、屋外、施設などにおける生活空間で想定される音を列挙し、それぞれの音について「特に過敏に感じる(1点)/過敏に感じる(1点)/やや過敏に感じる(0点)/全く過敏に感じない(0点)」の4段階で評価を得た。「過敏に感じる」以上を1点としてそれぞれの音を「過敏に感じる」指摘率を求めた。図4に、高度聴覚過敏スコア群、聴覚過敏スコア群、および低スコア群の指摘率を示す。聴覚過敏スコア群において特に指摘率が高く示された音は、1、2、3、4であり、70%以上の方が過敏に感じると指摘していた。低スコア群と比較すると、高度聴覚過敏スコア群では、2、6、25が特に指摘率が高く示された。これらの音には、「音が大きく」、「空間やサービスを利用する間にある程度鳴り続ける」、「自分ではコントロールできない」といった特性があると考えられる。自由記述の回答で

Table 3 Rating of environmental sounds (%)

	ア 群	聴 覚 過 敏 ス コ ア 群	高 度 聴 覚 過 敏 ス コ ア 群	低 ス コ ア 群
1 大勢の会話や人ごみの声	88	86	29	
2 選挙カーやラッピングカーの音	77	90	22	
3 工事現場の騒音	74	90	41	
4 バイクや車のクラクション	73	93	55	
5 大勢の会話や人ごみの声	68	59	15	
6 ゲームセンターやボーリング場の音	67	76	18	
7 掃除機の音	66	72	26	
8 救急車のサイレン	63	69	21	
9 電車の走る音	62	69	24	
10 トイレのエアータオルの音	61	79	32	
11 ヘリコプターの音	61	79	34	
12 祭りの和太鼓の音	59	75	24	
13 テレビ・ラジオから聞こえる音	57	66	23	
14 食器のぶつかる音	55	86	33	
15 電車のブレーキの音	55	83	40	
16 電車の発車・進入を知らせる音	54	59	13	
17 ドライヤーの音	53	55	13	
18 電話が鳴る音	53	31	6	
19 踏切の音	53	83	40	
20 店舗のBGM	52	59	5	
21 館内放送	51	72	24	
22 オーディオ機器の音	50	55	16	
23 空調・換気扇の音	49	59	10	
24 ドアを開閉する音	45	38	13	
25 バスの停車・進入を知らせる音	44	83	21	
26 時計の秒針の音	42	69	21	
27 咳の音	41	45	12	
28 冷蔵庫の音	36	66	26	
29 家の中の足音	34	69	30	
30 水洗トイレを流す音	33	38	12	
31 鼻をすする音	32	52	12	
32 ドアをノックする	32	52	17	
33 シンクに落ちる水の音	31	69	24	
34 レジの操作音	30	79	42	
35 信号の音	27	72	20	

は、「咀嚼音」、「ボイラーや換気扇の音」、「洗濯機の音」といった定常的に発生しており避けることができない音や、ある程度の大きさ

で一定期間発生し続ける音が挙げられていた。他にも、「花火」、「非常ベルや警笛」、「くしゃみ」、「ピストル」のように音が大きく発生が予測できない音も多く挙げられていた。以上より、聴覚過敏である人は、定常的に発生し避けることができない音や、どこから発せられるか予測がつかず対処ができない音を特に過敏に感じると考えられる。

Ⅲ4 過敏に感じる状況についての回答を図4に示す。回答者全体では、「不安を感じている時」「体調が優れない時」が多く見られた。また、「常に過敏に感じる」もおおよそ40%と多く回答されていた。また、自由回答では「疲れている時」「睡眠不足」と言った「体調が優れない時」を示唆するものの他、「勉強している時」「集中している時」に過敏に感じるという回答が見られた。

Ⅲ5 行っている対策についての回答結果を図5に示す。部屋や場所を移動する・人混みを避けるといった音を回避する対策や、イヤーマフや耳栓を装着する・イヤフォンで音楽を聴くといった耳を塞ぐ対策が多く見られた。自由回答でも、手で耳を塞ぐといった回答や、「秒針の音が出ない時計を置きテレビやラジオは持たず PC やスマホはサイレントにしている」のように過敏に感じる音を調整・除外する回答が見られた。また、「外出を避ける」、「映画館にはいかない」というように、聴覚

過敏を引き起こす音があると想定される場所を避ける回答も多く、聴覚過敏症状のために生活空間が制限されていると示唆された。子どもの場合、保護者が「前もって説明しておく」「事前にしらせておく」といった対策が取られていた。

4 おわりに

本報では、聴覚過敏症状の実態や聴覚過敏を引き起こす音について把握することを目的として、より多くの回答を得るためインターネットアンケート調査を行った。今後は、年齢と聴覚過敏症状の関係や聴覚過敏症状をもつ発達障害児への空間設計での具体的な配慮について検討をする予定である。

謝辞

株式会社 LITALICO 鈴木悠平氏には本調査にご協力いただき感謝いたします。

参考文献

- [1] バグリー, アンダーソン, 聴覚過敏 - 仕組みと診断そして治療法 -, (中川辰雄訳), 海文堂出版, 2012.
- [2] Khalifa S *et al*, ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec, 64, 436-442, 2002.
- [3] 熊谷 他, Audiology Japan, 56, 234-242, 2013.

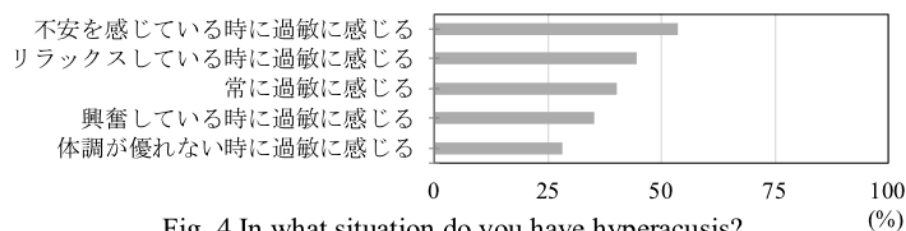


Fig. 4 In what situation do you have hyperacusis?

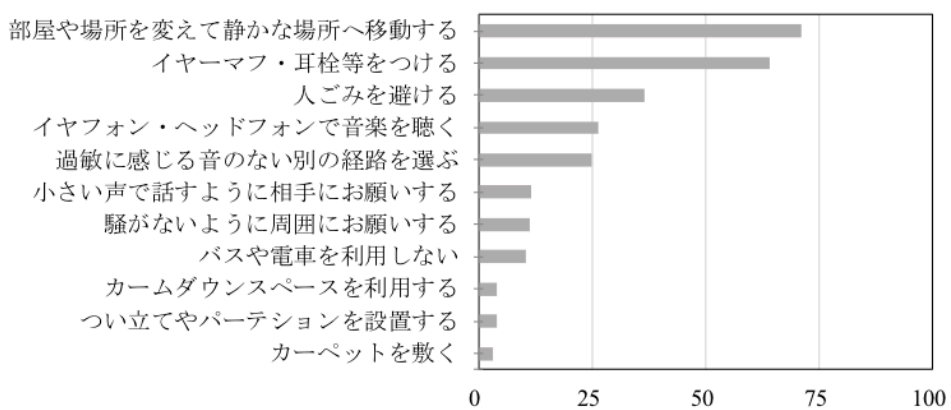


Fig. 5 How do you manage hyperacusis?

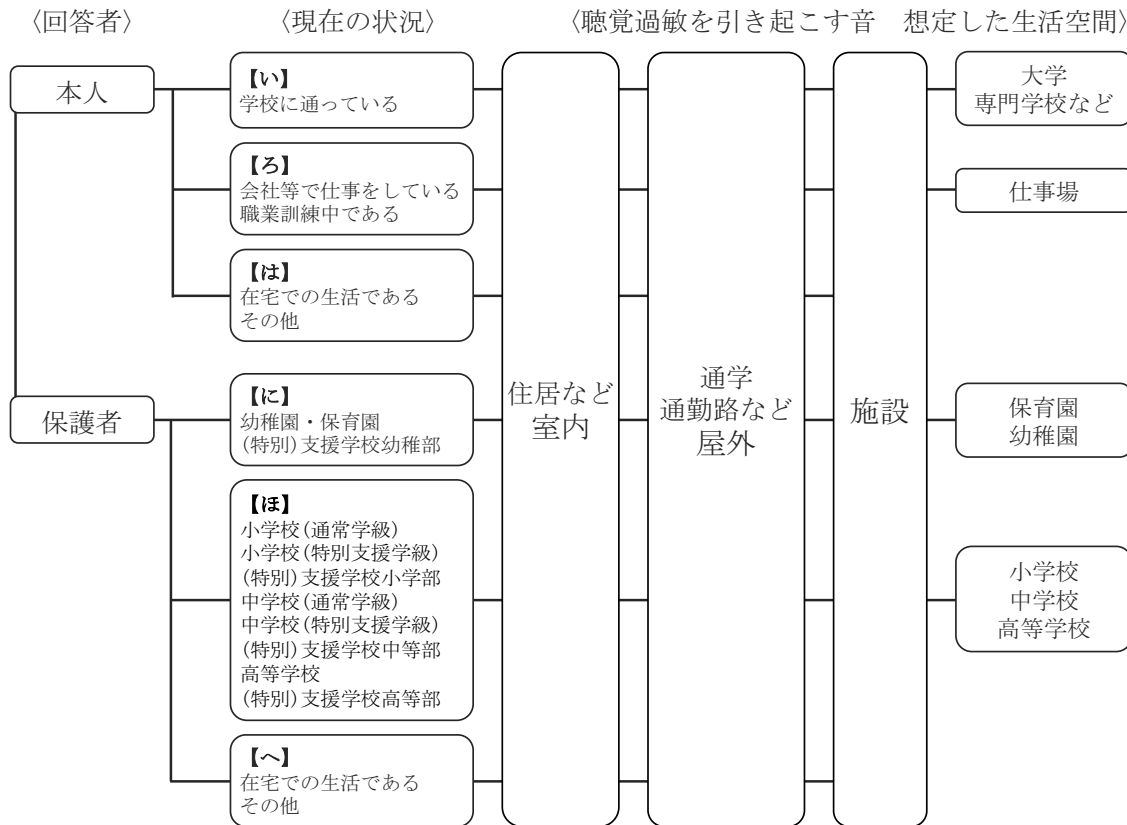
* Questionnaire survey on sound environments and hyperacusis for developmental disorders, by MATSUI, Yoshiko and SAKUMA, Tetsuya (Univ of Tokyo).

付録

アンケート質問票

■ 回答者分岐図

下記に示す分岐により、回答者は【い】～【へ】の6群に分けられる。以降より各群のアンケート票を示す。



■ 共通項目

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

■■■■■のみなさま

いつもご利用ありがとうございます。■■■■■です。

■■■■■では、ユーザーの皆さまの役に立つ情報や機能を提供していくための、アンケート調査を実施しております。

今回は、聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査です。

本調査は、東京大学 大学院新領域創成科学研究科 環境音響学研究室（佐久間研究室）との共同調査となります。

発達が気になるお子さまや、発達障害のある方の中には、聴覚に過敏性があり、日常生活に困難さが生じている場合も少なくありません。

本アンケートでは、東京大学の佐久間研究室の共同調査により、音に過敏性を持つ人々が快適で健康的に過ごせる生活空間に向けての音環境整備のあり方の調査検証を目指しております。

また、本研究では聴覚過敏を「一般的には不快に感じない周囲の環境音に対して耐え難い不快や苦痛を感じる」と定義いたします。

聴覚過敏症状を示すお子さまの保護者さまやご本人さまには、本研究の趣旨にご理解いただき、ご協力下さいますようお願いいたします。

- ※1. アンケートは匿名でのご回答となります。
- ※2. ログイン等は必要ありません。
- ※3. 回答時間は10分程度です。
- ※4. 設問数は60問程度です(回答内容によって設問数が少なくなる方もおられます)

回答対象:

聴覚過敏症状のあるお子さまの保護者さま または 聴覚過敏症状のあるご本人さま

※恐れ入りますが、今回の調査については、上記の条件に該当しない方は回答を控えていただきますようお願いいたします。

回答期限:

4月6日

以下の■■■■■プライバシーポリシーにご同意をいただいた上で設問にお進みください。

ご回答いただいた内容は■■■■■プライバシーポリシー（■■■■■）に基づき取扱います。

■利用目的

- a) 発達障害のある方への支援方法の研究開発のため
- b) より多くの人々に発達障害のある方の現状を知っていただくため、当社のウェブ媒体、SNS、プレスリリース、チラシ、広告、説明資料等での掲載
- c) より多くの人々に発達障害のある方の現状を知っていただくため、各種の新聞、雑誌、テレビ、オンラインメディア等での掲載
- d) 当社のサービス向上を検討するための資料として

■個人情報等の第三者提供について

以下のとおり、アンケート結果を第三者に提供することがございます。

目的：発達障害のある方への支援方法の研究開発のため、より多くの人々に発達障害のある方の現状を知っていただくため

項目：本アンケートに回答いただいた内容

※本アンケートに、個人を特定する情報(お名前等)のアンケート項目はございませんが、第三者提供の際には改めて個人を特定できない匿名情報であることを確認いたします。

手段：データ送信、郵送、FAX 通信、手交、ウェブ媒体・チラシ・説明資料等への掲載

相手：大学研究者、各種メディア関係者、ウェブ媒体閲覧者、チラシ・説明資料等の受領者

個人情報等の委託について

当社の個人情報保護管理体制が一定の水準に達していると認められた情報処理業者などに預託（委託）する場合があります。その場合には当社の責任で適切な委託先を選定し、個人情報の取扱いに関する契約を締結した上で委託します。

個人情報等の開示等に関するお問い合わせについて

当社が保有する個人情報について利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加又は削除、利用停止、消去及び第三者への提供の停止（以下、「開示等」といいます。）を希望される際は、下記担当者にお申し出下さい。ご本人様からの請求であることが確認できた場合、すみやかに開示等の対応をいたします。ただし、法令に別段の定めがある場合はこの限りではありません。

個人情報等に関するお問い合わせ先

個人情報保護管理責任者：個人情報管理部門管掌取締役

所在地： ██████████

FAX： ██████████ Eメール： ██████████

その他、██████の企画や運営に関するお問い合わせやご意見・ご提案は、次のメールアドレスまでご連絡ください。

██████████

***必須**

プライバシーポリシーに同意して回答を開始する

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

ご回答の手順

- ・ お子様やご自身の聴覚過敏症状、体験、症状を引き起こす音についてお聞きします。
- ・ ご自身やお子様の症状を、あまり深く悩まずお答えください。
- ・ 保護者様がお答えの場合は、普段のお子様の様子を主観的に評価しお答えください。
- ・ できる限り、すべての質問にお答えください。
- ・ 回答時間は10分ほどです。
- ・ 設問数は60問程度です。(回答内容によって設問数が少なくなられる方もおられます)

2/29 ページ

[戻る](#)

[次へ](#)

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

*必須

アンケートにお答えいただくのは、次のうちどなたですか。

以下の選択肢から当てはまる選択肢を1つお選びください。

*

- 本人
- 保護者

3/29 ページ

戻る

次へ

■ 「い」条件

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

あなたご自身についてお教えてください。

(1)性別をお答えください。*

- 男性
- 女性
- その他

(2)年齢をお答えください。*

回答を入力

(3)現在の状況をお答えください。*

- 学校に通っている
- 会社等で仕事をしている
- 職業訓練中である
- 在宅での生活である
- その他:

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

*必須

(4)発達障害に関する医師などの診断を受けていますか。*

以下の選択肢から全てお選びください。(複数回答可)

- 特に診断は受けていない
- ASD (自閉スペクトラム症：自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害などを含む)
- ADHD (注意欠如多動症)
- LD (学習障害)
- その他

5/29 ページ

戻る

次へ

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状の経験についてお答えください。

以下の質問の当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

*

	全くない	まれにある	ときどきある	よくある	いつもある
日常生活において、周りの音を無視することにしんどさを感じますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。

外出先で想定される騒音が原因で、今まで誘いを断ったり、外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会、コンサート、レストランなど)

少しうるさい

部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒

音や特定の音に悩まされますか。

ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減弱させますか。

一日の終わりが近づくにつれて、騒音の中で集中することができなくなっていますか。

騒音や特定の音が、ストレスやいらだちの原因になりますか。

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

これまでに聴覚過敏症状を引き起こした状況とその音について、記憶に残っている出来事についてお答えください。

その時の状況や、「聴覚過敏症状が引き起こされることによって困ったことがあった」などについて具体的にご記入ください。

例)通学途中に駅のホームの発車を知らせるベルで気分が悪くなった。ホームで休んだあとに、家に引き返した。寝室の空調の音が気になり、ゆっくりと休むことができない。

回答を入力

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状を引き起こす音に関してお答えください。

(1) 以下の音を過敏に感じるがありましたか。〈住居など室内〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
冷蔵庫の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食器のぶつかる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
テレビ・ラジオから聞こえる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
時計の秒針の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
オーディオ機器の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
水洗トイレを流す音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
咳の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電話が鳴る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアをノックする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
掃除機の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

赤ちゃんの泣き声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアを開閉する音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家の中の足音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
シンクに落ちる水の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
空調・換気扇の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
鼻をすする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドライヤーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(2) 以下の音を過敏に感じるがありましたか。〈通学途中の屋外〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
工事現場の騒音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車の走る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
踏切の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車の発車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バスの停車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バイクや車のクラクション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
選挙カーやラッピングカーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
救急車のサイレン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車のブレーキの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大勢の会話や人ごみの声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ヘリコプターの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3) 以下の音を過敏に感じるがありましたか。〈施設〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
レジの操作音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
トイレのエアータオルの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
館内放送	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
店舗のBGM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ゲームセンターやボーリング場の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
祭りの和太鼓の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(4) 以下の音を過敏に感じるがありましたか。〈学校〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
机や椅子を移動させる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
キーボードを叩く音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
体育館での人の歓声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校等のチャイムの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教室でのマイクから聞こえる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
鉛筆などで文字を書く音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周りの学生の声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

以上の音以外に過敏に感じる音がある場合は、具体的にご記入ください。

回答を入力

(5) お答えいただいた音を過敏に感じる原因として思い当たる点
はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 非常に大きい
- 圧迫感がある
- 突然発生する
- 衝撃性がある
- 避ける事ができない
- 静かな空間であるために際立って聞こえる
- 思い当たる原因はない
- その他:

(6) 音を過敏に感じる時のあなたの状況についてお答えください。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 常に過敏に感じる
- 体調が優れない時に過敏に感じる
- 不安を感じている時に過敏に感じる
- 興奮している時に過敏に感じる
- リラックスしている時に過敏に感じる
- 分からない
- その他:

分からない

その他:

(7) 過敏に感じる音に関してあなたが行っている対策はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- イヤーマフ・耳栓等をつける
- 部屋や場所を変えて、静かな場所へ移動する
- 過敏に感じる音のない別の経路を選ぶ
- バスや電車を利用しない
- 人ごみを避ける
- イヤフォン・ヘッドフォンで音楽を聴く
- カーペットを敷く
- つい立てやパーティションを設置する
- カームダウンスペースを利用する
- 小さい声で話すように相手をお願いする
- 騒がないように周囲をお願いする
- 特に対策は行っていない
- その他:

(8) 最後にお聞きします。特に改善して欲しい音・場所や空間などがありましたら、具体的にご記入ください。

回答を入力

■ 「ろ」条件

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

あなたご自身についてお教えてください。

(1)性別をお答えください。*

- 男性
- 女性
- その他

(2)年齢をお答えください。*

回答を入力

(3)現在の状況をお答えください。*

- 学校に通っている
- 会社等で仕事をしている
- 職業訓練中である
- 在宅での生活である
- その他:

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

*必須

(4)発達障害に関する医師などの診断を受けていますか。*

以下の選択肢から全てお選びください。(複数回答可)

- 特に診断は受けていない
- ASD (自閉スペクトラム症：自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害などを含む)
- ADHD (注意欠如多動症)
- LD (学習障害)
- その他

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状の経験についてお答えください。

以下の質問の当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

*

	全くない	まれにある	ときどきある	よくある	いつもある
日常生活において、周りの音を無視することにしんどさを感じますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。

外出先で想定される騒音が原因で、今まで誘いを断ったり、外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会、コンサート、レストランなど)

少しうるさい

部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒

音や特定の音に悩まされますか。

ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減弱させますか。

一日の終わりが近づくにつれて、騒音の中で集中することができなくなっていますか。

騒音や特定の音が、ストレスやいらだちの原因になりますか。

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

これまでに聴覚過敏症状を引き起こした状況とその音について、記憶に残っている出来事についてお答えください。

その時の状況や、「聴覚過敏症状が引き起こされることによって困ったことがあった」などについて具体的にご記入ください。

例)通学途中に駅のホームの発車を知らせるベルで気分が悪くなった。ホームで休んだあとに、家に引き返した。寝室の空調の音が気になり、ゆっくりと休むことができない。

回答を入力

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状を引き起こす音に関してお答えください。

(1) 以下の音を過敏に感じるがありましたか。〈住居など室内〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。(複数回答可)

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
ドライヤーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食器のぶつかる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
鼻をすする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
咳の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
シンクに落ちる水の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
オーディオ機器の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電話が鳴る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアを開閉する音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
赤ちゃんの泣き声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
テレビ・ラジオから聞こえる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

家の中の足音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
時計の秒針の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
水洗トイレを流す音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアをノックする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
冷蔵庫の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
空調・換気扇の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
掃除機の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(2) 以下の音を過敏に感じるがありましたか。〈通勤途中の屋外〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
ヘリコプターの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大勢の会話や人ごみの声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
選挙カーやラッピングカーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
救急車のサイレン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車の走る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車のブレーキの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バスの停車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車の発車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
踏切の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バイクや車のクラクション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
工事現場の騒音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3) 以下の音を過敏に感じるがありましたか。〈施設〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
祭りの和太鼓の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ゲームセンターや ボーリング場の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
レジの操作音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
館内放送	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
店舗のBGM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
トイレのエアータ オルの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(4) 以下の音を過敏に感じるがありましたか。〈仕事場〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
周りの同僚の声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
キーボードを叩く 音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
机や椅子を移動さ せる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
鉛筆などで文字を 書く音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

以上の音以外に過敏に感じる音がある場合は、具体的にご記入ください。

回答を入力

(5) お答えいただいた音を過敏に感じる原因として思い当たる点
はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 非常に大きい
- 圧迫感がある
- 突然発生する
- 衝撃性がある
- 避ける事ができない
- 静かな空間であるために際立って聞こえる
- 思い当たる原因はない
- その他:

(6) 音を過敏に感じる時のあなたの状況についてお答えください。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 常に過敏に感じる
- 体調が優れない時に過敏に感じる
- 不安を感じている時に過敏に感じる
- 興奮している時に過敏に感じる
- リラックスしている時に過敏に感じる
- 分からない
- その他:

(7) 過敏に感じる音に関してあなたが行っている対策はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- イヤーマフ・耳栓等をつける
- 部屋や場所を変えて、静かな場所へ移動する
- 過敏に感じる音のない別の経路を選ぶ
- バスや電車を利用しない
- 人ごみを避ける
- イヤフォン・ヘッドフォンで音楽を聴く
- カーペットを敷く
- つい立てやパーティションを設置する
- カームダウンスペースを利用する
- 小さい声で話すように相手にお願いする
- 騒がないように周囲にお願いする
- 特に対策は行っていない
- その他:

(8) 最後にお聞きします。特に改善して欲しい音・場所や空間などがありましたら、具体的にご記入ください。

回答を入力

■ 「は」条件

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

あなたご自身についてお教えてください。

(1)性別をお答えください。*

- 男性
- 女性
- その他

(2)年齢をお答えください。*

回答を入力

(3)現在の状況をお答えください。*

- 学校に通っている
- 会社等で仕事をしている
- 職業訓練中である
- 在宅での生活である
- その他:

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

*必須

(4)発達障害に関する医師などの診断を受けていますか。*

以下の選択肢から全てお選びください。(複数回答可)

- 特に診断は受けていない
- ASD (自閉スペクトラム症：自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害などを含む)
- ADHD (注意欠如多動症)
- LD (学習障害)
- その他

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状の経験についてお答えください。

以下の質問の当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

*

	全くない	まれにある	ときどきある	よくある	いつもある
日常生活において、周りの音を無視することにしんどさを感じますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。

外出先で想定される騒音が原因で、今まで誘いを断ったり、外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会、コンサート、レストランなど)

少しうるさい

部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒

音や特定の音に悩まされますか。

ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減弱させますか。

一日の終わりが近づくにつれて、騒音の中で集中することができなくなっていますか。

騒音や特定の音が、ストレスやいらだちの原因になりますか。

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

これまでに聴覚過敏症状を引き起こした状況とその音について、記憶に残っている出来事についてお答えください。

その時の状況や、「聴覚過敏症状が引き起こされることによって困ったことがあった」などについて具体的にご記入ください。

例)通学途中に駅のホームの発車を知らせるベルで気分が悪くなった。ホームで休んだあとに、家に引き返した。寝室の空調の音が気になり、ゆっくりと休むことができない。

回答を入力

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状を引き起こす音に関してお答えください。

(1) 以下の音を過敏に感じるがありましたか。〈住居など室内〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
時計の秒針の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
空調・換気扇の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
赤ちゃんの泣き声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
冷蔵庫の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
テレビ・ラジオから聞こえる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食器のぶつかる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアをノックする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
咳の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
オーディオ機器の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家の中の足音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

掃除機の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電話が鳴る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
水洗トイレを流す音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
鼻をすする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアを開閉する音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
シンクに落ちる水の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドライヤーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(2) 以下の音を過敏に感じることはありませんか。〈屋外〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

以下の目にはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ヘリコプターの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
工事現場の騒音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大勢の会話や人ごみの声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車の発車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
選挙カーやラッピングカーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車の走る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バスの停車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バイクや車のクラクション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
救急車のサイレン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
踏切の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車のブレーキの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3) 以下の音を過敏に感じることはありませんか。〈施設〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
館内放送	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
店舗のBGM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
レジの操作音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ゲームセンターや ボーリング場の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
祭りの和太鼓の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
トイレのエアータ オルの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

以上の音以外に過敏に感じる音がある場合は、具体的にご記入ください。

回答を入力

(4) お答えいただいた音を過敏に感じる原因として思い当たる点
はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 非常に大きい
- 圧迫感がある
- 突然発生する
- 衝撃性がある
- 避ける事ができない
- 静かな空間であるために際立って聞こえる
- 思い当たる原因はない
- その他:

(5) 音を過敏に感じる時のあなたの状況についてお答えください。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 常に過敏に感じる
- 体調が優れない時に過敏に感じる
- 不安を感じている時に過敏に感じる
- 興奮している時に過敏に感じる
- リラックスしている時に過敏に感じる
- 分からない
- その他:

(6) 過敏に感じる音に関してあなたが行っている対策はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- イヤーマフ・耳栓等をつける
- 部屋や場所を変えて、静かな場所へ移動する
- 過敏に感じる音のない別の経路を選ぶ
- バスや電車を利用しない
- 人ごみを避ける
- イヤフォン・ヘッドフォンで音楽を聴く
- カーペットを敷く
- つい立てやパーティションを設置する
- カームダウンスペースを利用する
- 小さい声で話すように相手にお願いする
- 騒がないように周囲にお願いする
- 特に対策は行っていない
- その他:

(7) 最後にお聞きします。特に改善して欲しい音・場所や空間などがありましたら、具体的にご記入ください。

回答を入力

■ 「に」条件

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

*必須

お子様自身についてお教えてください。

(1)お子様の性別をお教えてください *

以下の選択肢から1つお選びください。

- 男性
- 女性
- その他:

(2)お子様の年齢をお答えください。 *

回答を入力

(3)お子様の現在の状況をお答えください。*

以下の選択肢から1つお選びください。

- 幼稚園・保育園に通っている
- 幼稚園・保育園に通っていない
- (特別)支援学校幼稚部に通っている
- 小学校(通常学級)に通っている
- 小学校(特別支援学級)に通っている
- (特別)支援学校小学部に通っている
- 中学校(通常学級)に通っている
- 中学校(特別支援学級)に通っている
- (特別)支援学校中等部に通っている
- 高等学校に通っている
- (特別)支援学校高等部に通っている
- 在宅のみの生活である
- その他:

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

*必須

(4) お子様は発達障害に関する医師などの診断を受けていますか。*

以下の選択肢から全てお選びください。(複数回答可)

- 特に診断は受けていない
- ASD (自閉スペクトラム症：自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害などを含む)
- ADHD (注意欠如多動症)
- LD (学習障害)
- その他

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状の経験についてお答えください。

・ 普段のお子様様を主観的に評価しお答えください。

以下の質問に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

*

	全くない	まれにある	ときどきある	よくある	いつもある
日常生活において、周りの音を無視することにしんどさを感じますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。

外出先で想定される騒音が原因で、今まで誘いを断ったり、外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会、コンサート、レストランなど)

少しうるさい

部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒音や特定の音に悩まされますか。

ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減弱させますか。

一日の終わりが近づくにつれて、騒音の中で集中することができなくなっていますか。

騒音や特定の音が、ストレスやいらだちの原因になりますか。

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

これまでに聴覚過敏症状を引き起こした状況とその音について、記憶に残っている出来事についてお答えください。

その時のお子様の状況や、聴覚過敏症状が引き起こされることによって困ったことがあった、など具体的にご記入ください。

例)通学途中で駅のホームの発車を知らせるベルで気分が悪くなった。ホームで休んだあとに、家に引き返した。寝室の空調の音が気になり、ゆっくりと休むことができない。

回答を入力

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状を引き起こす音に関してお答えください。

・ 普段のお子様の様子を主観的に評価しお答えください。

(1) お子様は以下の音を過敏に感じることはありませんか。〈住居など室内〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドライヤーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電話が鳴る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
オーディオ機器の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
空調・換気扇の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
シンクに落ちる水の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
水洗トイレを流す音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
時計の秒針の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
テレビ・ラジオから聞こえる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家の中の足音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
冷蔵庫の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

食器のぶつかる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
鼻をすする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアをロックする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
赤ちゃんの泣き声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアを開閉する音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
掃除機の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
咳の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(2) お子様は以下の音を過敏に感じることはありませんか。〈屋外〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
電車の走る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車の発車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バスの停車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ヘリコプターの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
救急車のサイレン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大勢の会話や人ごみの声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
工事現場の騒音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
踏切の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
選挙カーやラッピングカーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バイクや車のクラクション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車のブレーキの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3) お子様は以下の音を過敏に感じるございましたか。〈施設〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
祭りの和太鼓の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
レジの操作音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
トイレのエアータオルの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ゲームセンターやボーリング場の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
館内放送	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
店舗のBGM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(4) お子様は以下の音を過敏に感じるございましたか。〈保育園・幼稚園〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
保育士や先生の声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
鉛筆などで文字を書く音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
机や椅子を移動させる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
遊戯の音楽(CDなどのオーディオ機器)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
遊戯の音楽(ピアノなどの楽器)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周りの園児や児童の声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

以上の音以外に過敏に感じる音がある場合は、具体的にご記入ください。

回答を入力

(5) お答えいただいた音を過敏に感じる原因として思い当たる点
はありますか。 *

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 非常に大きい
- 圧迫感がある
- 突然発生する
- 衝撃性がある
- 避ける事ができない
- 静かな空間であるために際立って聞こえる
- 思い当たる原因はない
- その他:

(6) 音を過敏に感じる時のお子様の状況についてお答えください。 *

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 常に過敏に感じる
- 体調が優れない時に過敏に感じる
- 不安を感じている時に過敏に感じる
- 興奮している時に過敏に感じる
- リラックスしている時に過敏に感じる
- 分からない
- その他:

(7) 過敏に感じる音に関して行っている対策はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- イヤーマフ・耳栓等をつける
- イヤーマフ・耳栓等はつけていない
- 部屋や場所を変えて、静かな場所へ移動する
- 過敏に感じる音のない別の経路を選ぶ
- バスや電車を利用しない
- 人ごみを避ける
- イヤフォン・ヘッドフォンで音楽を聴く
- カーペットを敷く
- つい立てやパーティションを設置する
- カームダウンスペースを利用する
- 小さい声で話すように相手にお願いする
- 騒がないように周囲にお願いする
- 特に対策は行っていない
- その他:

(8) 最後にお聞きします。特に改善して欲しい音・場所や空間などがありましたら、具体的にご記入ください。

回答を入力

■ 「ほ」条件

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

*必須

お子様自身についてお教えてください。

(1)お子様の性別をお教えてください *

以下の選択肢から1つお選びください。

- 男性
- 女性
- その他:

(2)お子様の年齢をお答えください。 *

回答を入力

(3)お子様の現在の状況をお答えください。*

以下の選択肢から1つお選びください。

- 幼稚園・保育園に通っていない
- 幼稚園・保育園に通っている
- (特別)支援学校幼稚部に通っている
- 小学校(通常学級)に通っている
- 小学校(特別支援学級)に通っている
- (特別)支援学校小学部に通っている
- 中学校(通常学級)に通っている
- 中学校(特別支援学級)に通っている
- (特別)支援学校中等部に通っている
- 高等学校に通っている
- (特別)支援学校高等部に通っている
- 在宅のみの生活である
- その他:

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

*必須

(4) お子様は発達障害に関する医師などの診断を受けていますか。*

以下の選択肢から全てお選びください。(複数回答可)

- 特に診断は受けていない
- ASD (自閉スペクトラム症：自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害などを含む)
- ADHD (注意欠如多動症)
- LD (学習障害)
- その他

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

お子様の聴覚過敏症状の経験についてお答えください。

・ 普段のお子様の様子を主観的に評価しお答えください。

以下の質問の当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

*

	全くない	まれにある	ときどきある	よくある	いつもある
日常生活において、周りの音を無視することにしんどさを感じますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。

外出先で想定される騒音が原因で、今まで誘いを断ったり、外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会、コンサート、レストランなど)

少しうるさい

部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒音は特におお

目や特定の音に悩まされますか。

ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減弱させますか。

一日の終わりが近づくにつれて、騒音の中で集中することができなくなっていますか。

騒音や特定の音が、ストレスやいらだちの原因になりますか。

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

これまでに聴覚過敏症状を引き起こした状況とその音について、記憶に残っている出来事についてお答えください。

その時のお子様の状況や、「聴覚過敏症状が引き起こされることによって困ったことがあった」など具体的にご記入ください。

例)通学途中に駅のホームの発車を知らせるベルで気分が悪くなった。ホームで休んだあとに、家に引き返した。寝室の空調の音が気になり、ゆっくりと休むことができない。

回答を入力

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状を引き起こす音に関してお答えください。

・ 普段のお子様の様子を主観的に評価しお答えください。

(1) お子様は以下の音を過敏に感じることはありませんか。〈住居など室内〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
冷蔵庫の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
テレビ・ラジオから聞こえる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
オーディオ機器の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
咳の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドライヤーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電話が鳴る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアをノックする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
時計の秒針の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
水洗トイレを流す音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
赤ちゃんの泣き声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアを開閉する音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

鼻をすする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家の中の足音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
空調・換気扇の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食器のぶつかる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
シンクに落ちる水の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
掃除機の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(2) お子様は以下の音を過敏に感じることはありませんか。〈屋外〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
バイクや車のクラクション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車の発車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大勢の会話や人ごみの声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車の走る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ヘリコプターの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
選挙カーやラッピングカーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
工事現場の騒音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車のブレーキの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
踏切の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
救急車のサイレン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バスの停車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3) お子様は以下の音を過敏に感じることはありませんか。〈施設〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
ゲームセンターや ボーリング場の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
祭りの和太鼓の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
トイレのエアータ オルの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
レジの操作音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
店舗のBGM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
館内放送	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(4) お子様は以下の音を過敏に感じるがありましたか。〈学校〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
ピアノの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
運動場でマイクから聞こえる声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他の楽器の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校等のチャイムの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周りの生徒の声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
キーボードを叩く音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教室でのマイクから聞こえる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
黒板を引っ掻く音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
体育館内での声や音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
運動会のピストルの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
先生の声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
鉛筆などで文字を書く音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
リコーダーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
机や椅子を移動させる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

以上の音以外に過敏に感じる音がある場合は、具体的にご記入ください。

回答を入力

(5) お答えいただいた音を過敏に感じる原因として思い当たる点
はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 非常に大きい
- 圧迫感がある
- 突然発生する
- 衝撃性がある
- 避ける事ができない
- 静かな空間であるために際立って聞こえる
- 思い当たる原因はない
- その他:

(6) 音を過敏に感じる時のお子様の状況についてお答えください。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 常に過敏に感じる
- 体調が優れない時に過敏に感じる
- 不安を感じている時に過敏に感じる
- 興奮している時に過敏に感じる
- リラックスしている時に過敏に感じる
- 分からない
- その他:

(7) 過敏に感じる音に関して行っている対策はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- イヤーマフ・耳栓等をつける
- ヘルメット・耳栓等をつける
- 部屋や場所を変えて、静かな場所へ移動する
- 過敏に感じる音のない別の経路を選ぶ
- バスや電車を利用しない
- 人ごみを避ける
- イヤフォン・ヘッドフォンで音楽を聴く
- カーペットを敷く
- つい立てやパーティションを設置する
- カームダウンスペースを利用する
- 小さい声で話すように相手をお願いする
- 騒がないように周囲をお願いする
- 特に対策は行っていない
- その他:

(8) 最後にお聞きします。特に改善して欲しい音・場所や空間などがありましたら、具体的にご記入ください。

回答を入力

■ 「へ」条件

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

*必須

お子様自身についてお教えてください。

(1)お子様の性別をお教えてください *

以下の選択肢から1つお選びください。

- 男性
- 女性
- その他:

(2)お子様の年齢をお答えください。 *

回答を入力

(3)お子様の現在の状況をお答えください。*

以下の選択肢から1つお選びください。

- 幼稚園・保育園に通っていない
- 幼稚園・保育園に通っている
- (特別)支援学校幼稚部に通っている
- 小学校(通常学級)に通っている
- 小学校(特別支援学級)に通っている
- (特別)支援学校小学部に通っている
- 中学校(通常学級)に通っている
- 中学校(特別支援学級)に通っている
- (特別)支援学校中等部に通っている
- 高等学校に通っている
- (特別)支援学校高等部に通っている
- 在宅のみの生活である
- その他:

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

*必須

(4) お子様は発達障害に関する医師などの診断を受けていますか。*

以下の選択肢から全てお選びください。(複数回答可)

- 特に診断は受けていない
- ASD (自閉スペクトラム症：自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害などを含む)
- ADHD (注意欠如多動症)
- LD (学習障害)
- その他

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状の経験についてお答えください。

・ 普段のお子様の様子を主観的に評価しお答えください。

以下の質問に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

*

	全くない	まれにある	ときどきある	よくある	いつもある
日常生活において、周りの音を無視することにしんどさを感じますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲が騒々しい中で集中することに困難を抱えていますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周囲の人に「騒音や特定の種類の音を我慢するのが苦手だ」と言われたことがありますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
騒々しい場所でコミュニケーションをとるのが難しいですか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

通りの騒音に特に敏感だったり悩まされたりしていますか。

外出先で想定される騒音が原因で、今まで誘いを断ったり、外出しなかったりしたことがありますか。(花火大会、コンサート、レストランなど)

少しうるさい

部屋にいる時よりも静かな場所にいる時のほうが、騒音や特定の音に悩まされますか。

ストレスや疲労は、騒音の中で集中する力を減弱させますか。

一日の終わりが近づくにつれて、騒音の中で集中することができなくなっていますか。

騒音や特定の音が、ストレスやいらだちの原因になりますか。

聴覚過敏と生活空間の音環境に関する アンケート調査

これまでに聴覚過敏症状を引き起こした状況とその音について、記憶に残っている出来事についてお答えください。

その時のお子様の状況や、聴覚過敏症状が引き起こされることによって困ったことがあった、など具体的にご記入ください。

例)通学途中で駅のホームの発車を知らせるベルで気分が悪くなった。ホームで休んだあとに、家に引き返した。寝室の空調の音が気になり、ゆっくりと休むことができない。

回答を入力

聴覚過敏と生活空間の音環境に関するアンケート調査

*必須

聴覚過敏症状を引き起こす音に関してお答えください。

・ 普段のお子様の様子を主観的に評価しお答えください。

(1) お子様は以下の音を過敏に感じることはありませんか。〈住居など室内〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
鼻をすする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
オーディオ機器の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
空調・換気扇の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアを開閉する音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドアをロックする音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
咳の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
赤ちゃんの泣き声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ドライヤーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
時計の秒針の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食器のぶつかる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
シンクに落ちる水の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

冷蔵庫の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電話が鳴る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
掃除機の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
テレビ・ラジオから聞こえる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
水洗トイレを流す音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家の中の足音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(2) お子様は以下の音を過敏に感じるございましたか。〈屋

外〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
電車の発車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
救急車のサイレン	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
踏切の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
選挙カーやラッピングカーの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車のブレーキの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ヘリコプターの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バスの停車・進入を知らせる音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
信号の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
工事現場の騒音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電車の走る音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大勢の会話や人ごみの声	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
バイクや車のクラクション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3) お子様は以下の音を過敏に感じることはありませんか。〈施設〉*

以下の音に当てはまる選択肢をそれぞれ1つお選びください。

	特に過敏に感じる	過敏に感じる	やや過敏に感じる	全く過敏に感じない
祭りの和太鼓の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
店舗のBGM	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
館内放送	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
トイレのエアータオルの音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ゲームセンターやボーリング場の音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
レジの操作音	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

以上の音以外に過敏に感じる音がある場合は、具体的にご記入ください。

回答を入力

(4) お答えいただいた音を過敏に感じる原因として思い当たる点
はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 非常に大きい
- 圧迫感がある
- 突然発生する
- 衝撃性がある
- 避ける事ができない
- 静かな空間であるために際立って聞こえる
- 思い当たる原因はない
- その他:

(5) 音を過敏に感じる時のお子様の状況についてお答えください。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

- 常に過敏に感じる
- 体調が優れない時に過敏に感じる
- 不安を感じている時に過敏に感じる
- 興奮している時に過敏に感じる
- リラックスしている時に過敏に感じる
- 分からない
- その他:

(6) 過敏に感じる音に関して行っている対策はありますか。*

以下の選択肢から該当するものを全てお選びください。(複数回答可)

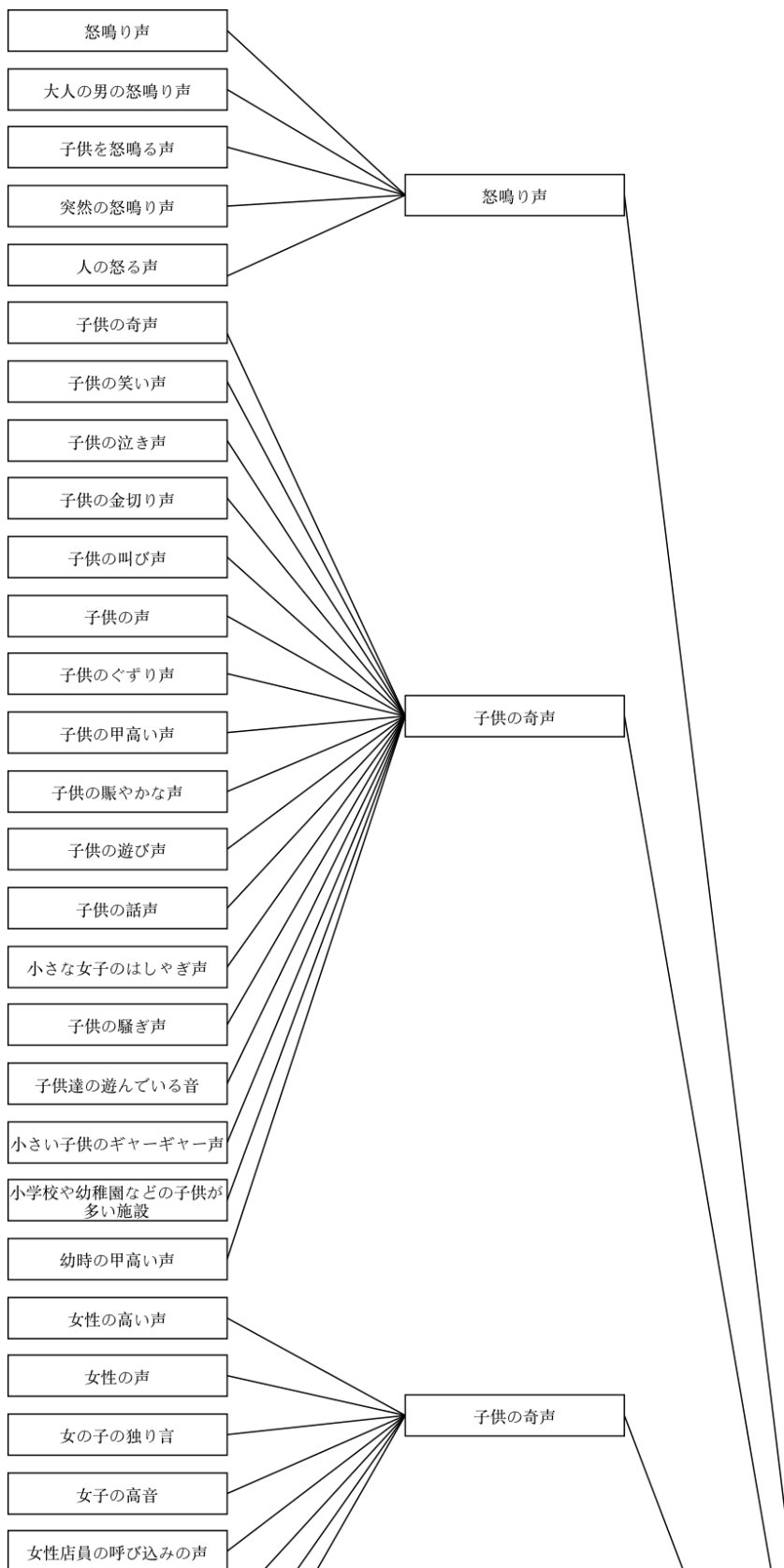
- イヤーマフ・耳栓等をつける
- フィーリング・身を守れる
- 部屋や場所を変えて、静かな場所へ移動する
- 過敏に感じる音のない別の経路を選ぶ
- バスや電車を利用しない
- 人ごみを避ける
- イヤフォン・ヘッドフォンで音楽を聴く
- カーペットを敷く
- つい立てやパーティションを設置する
- カームダウンスペースを利用する
- 小さい声で話すように相手をお願いする
- 騒がないように周囲をお願いする
- 特に対策は行っていない
- その他:

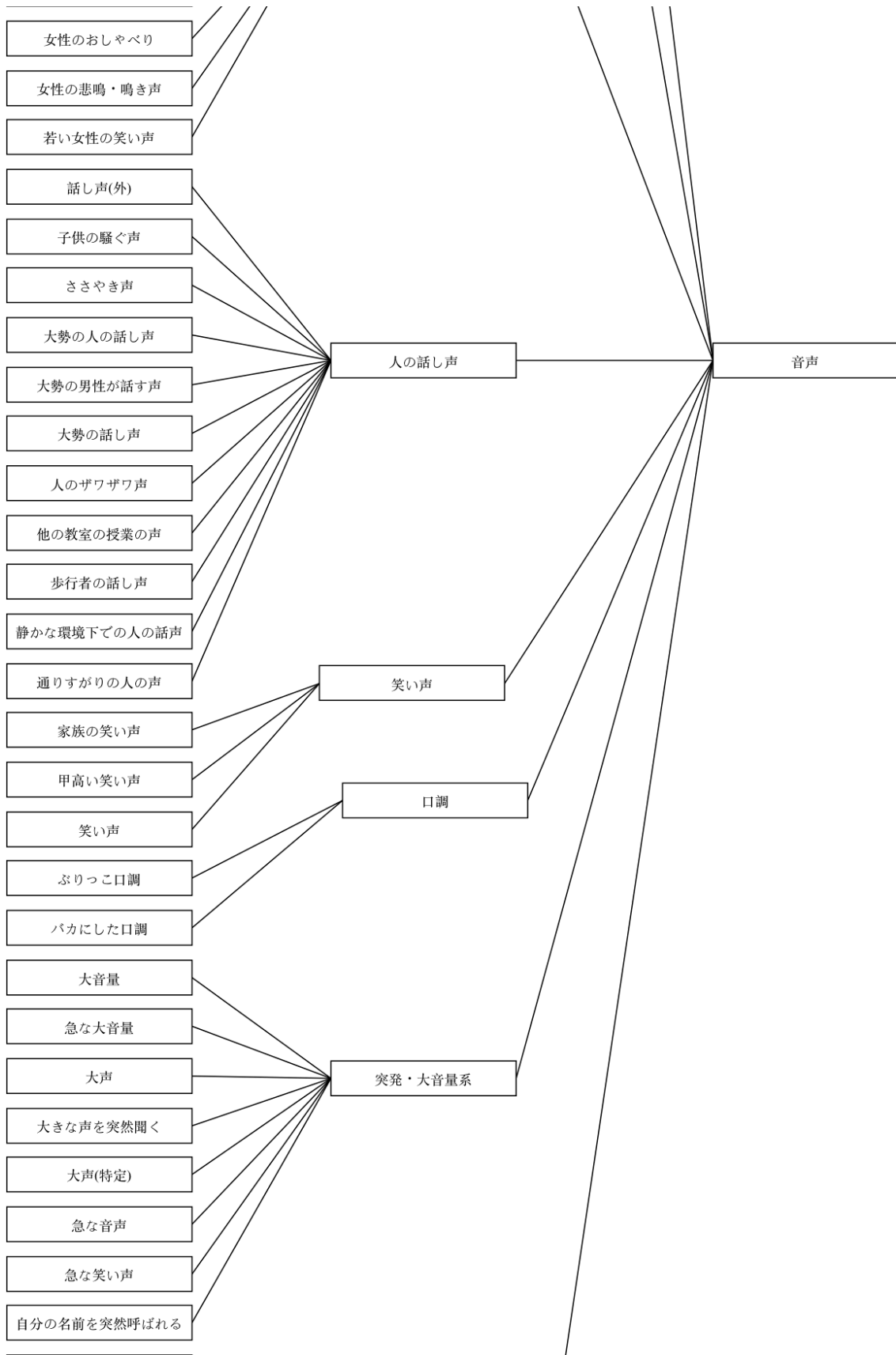
(7) 最後にお聞きします。特に改善して欲しい音・場所や空間などがありましたら、具体的にご記入ください。

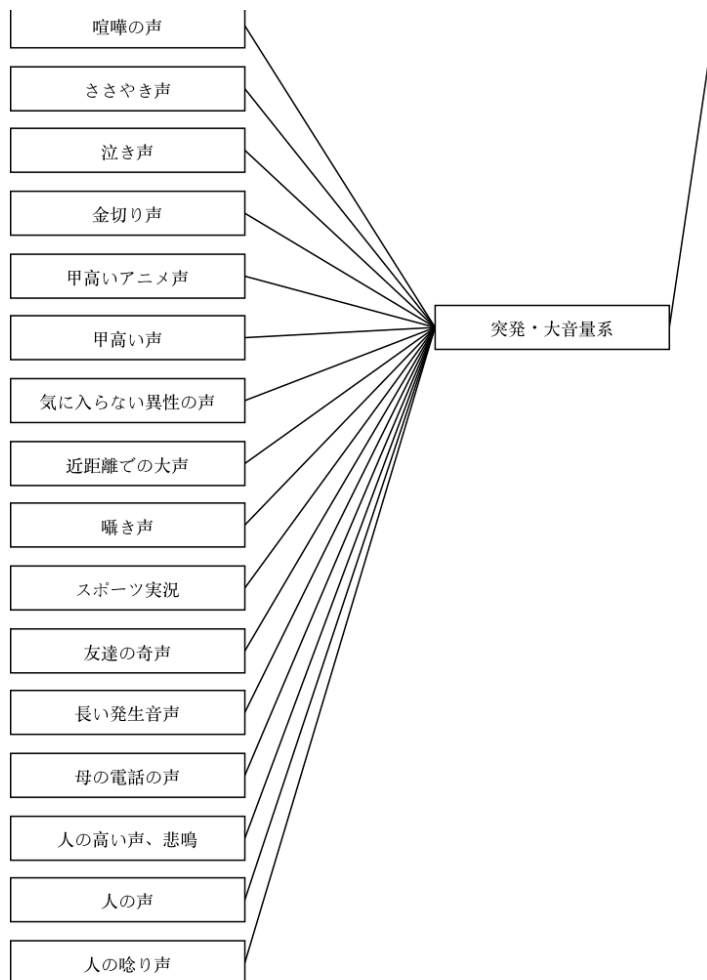
回答を入力

Ⅲ1 聴覚過敏を引き起こす音 自由記述の回答

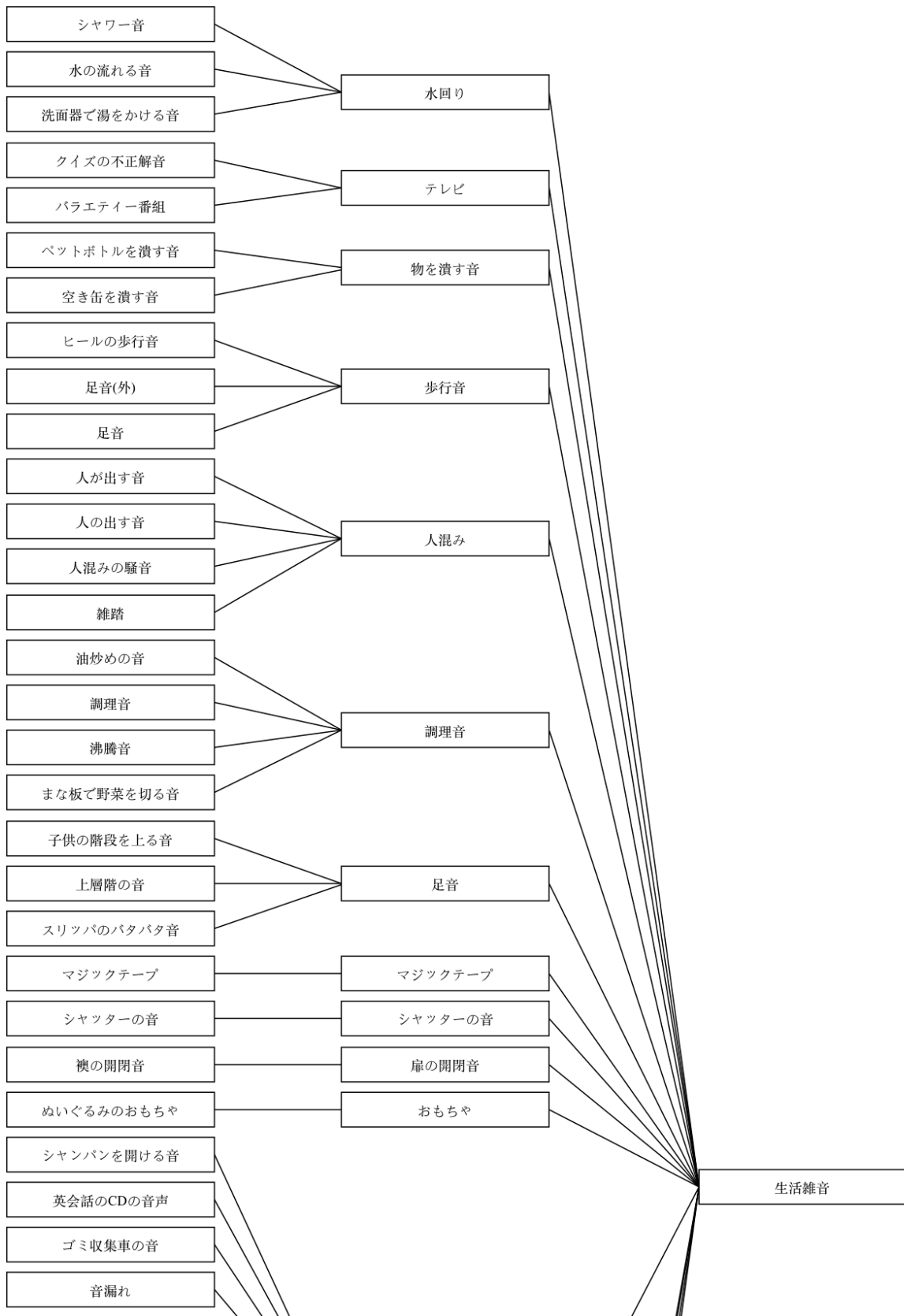
■ カテゴリー：音声

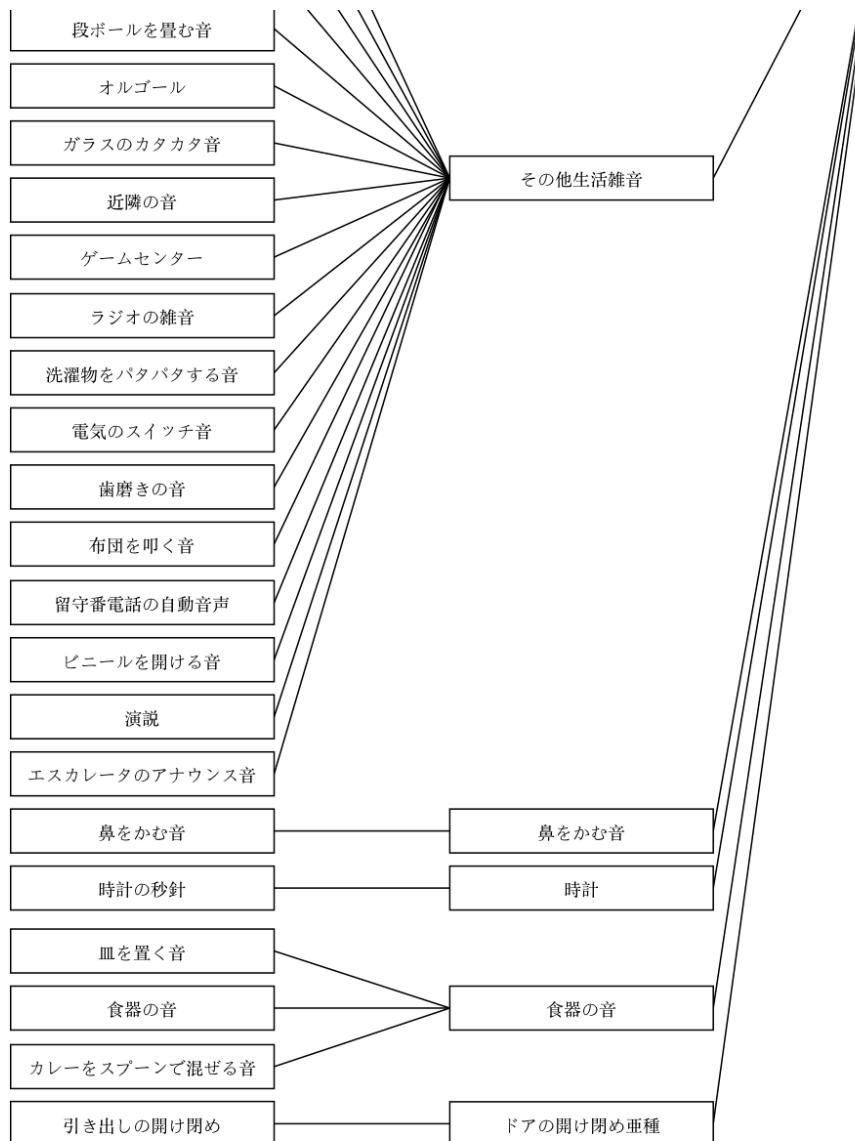




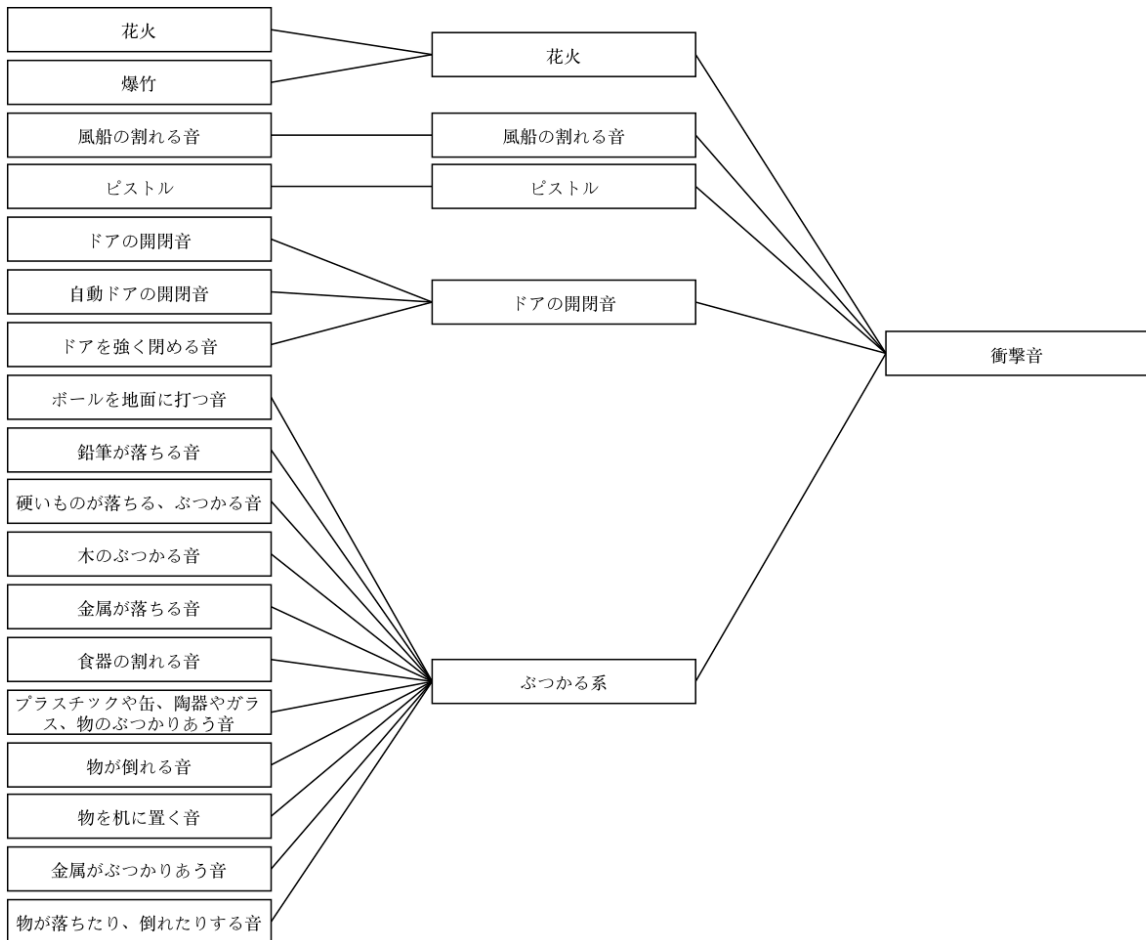


■ カテゴリー：生活雑音

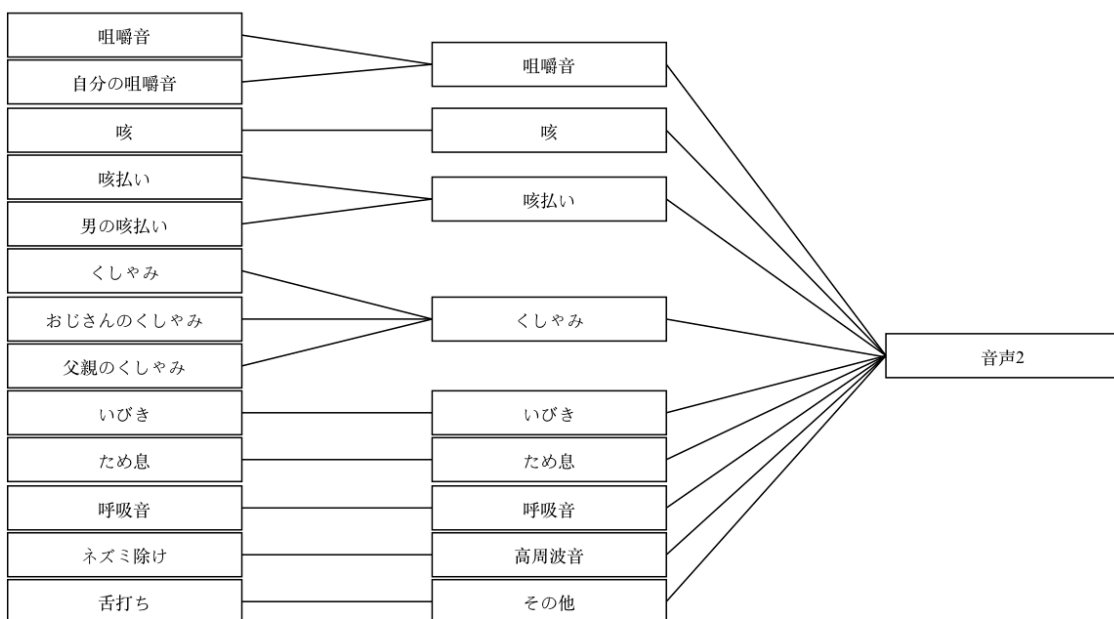




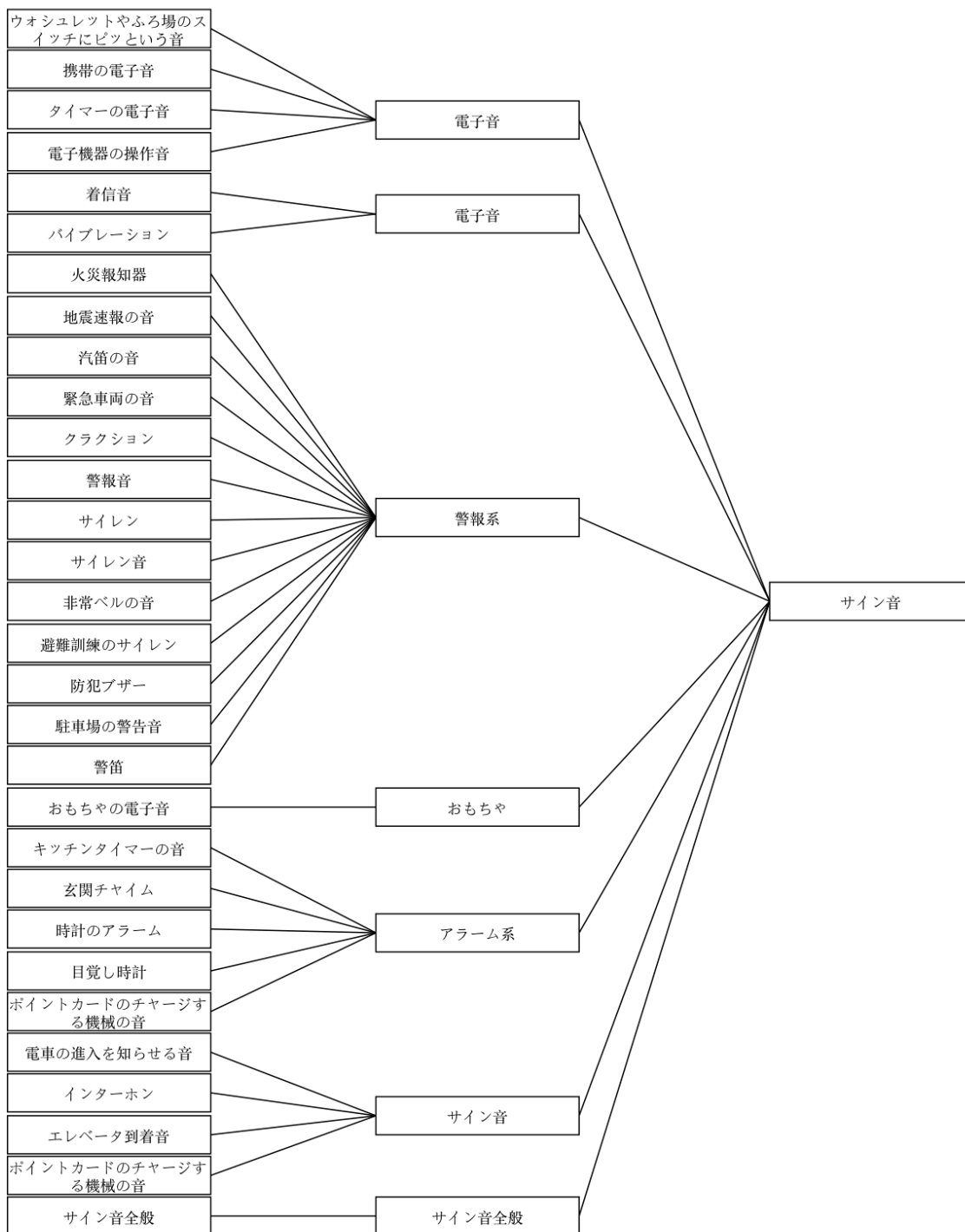
■ カテゴリー：衝撃音



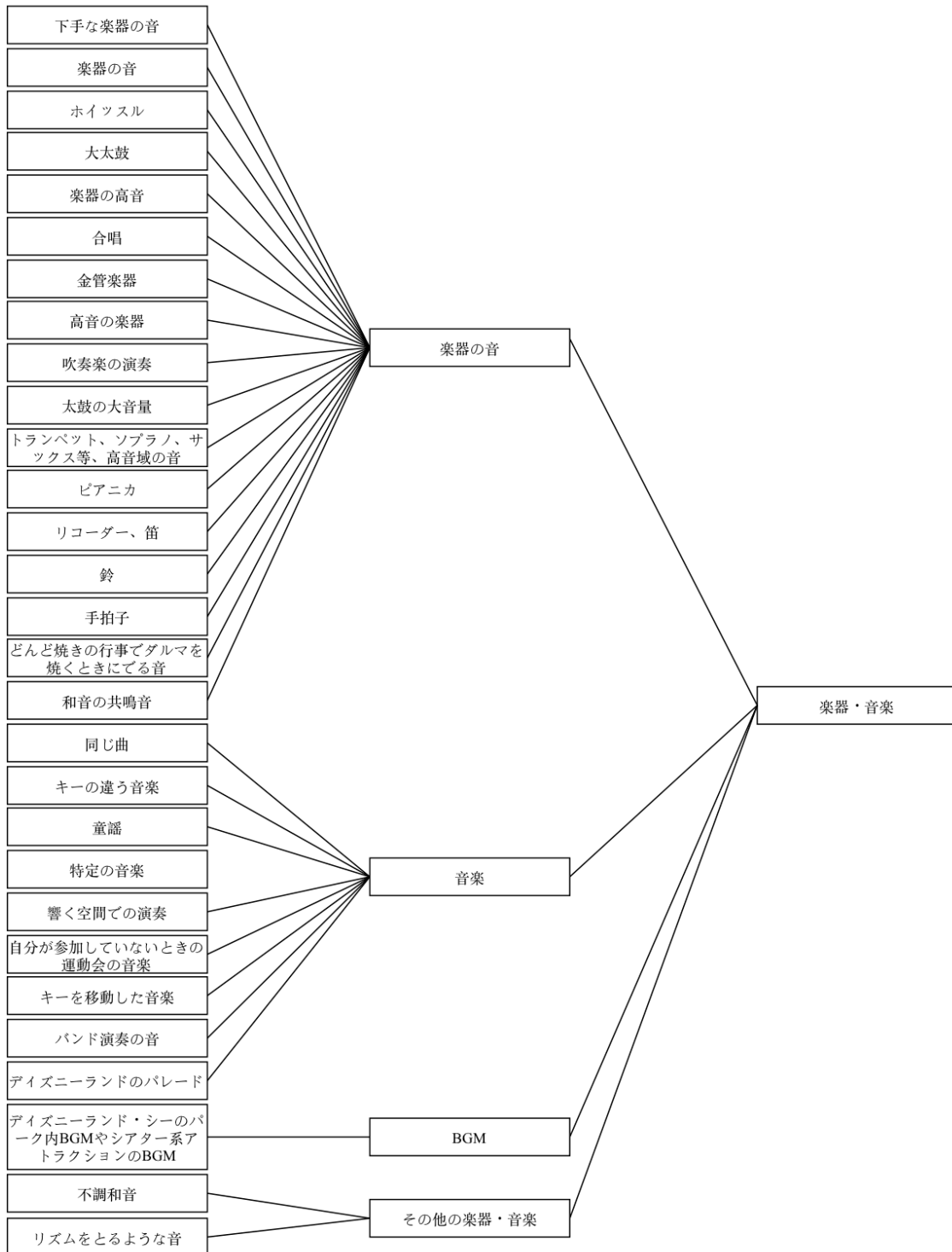
■ カテゴリー：音声2



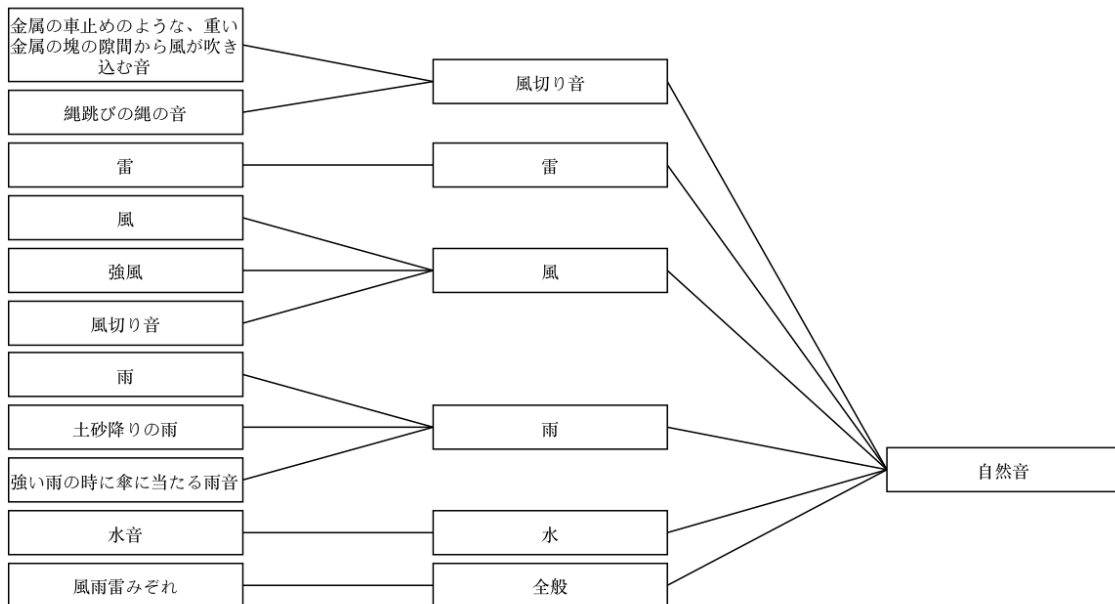
■ カテゴリー：サイン音



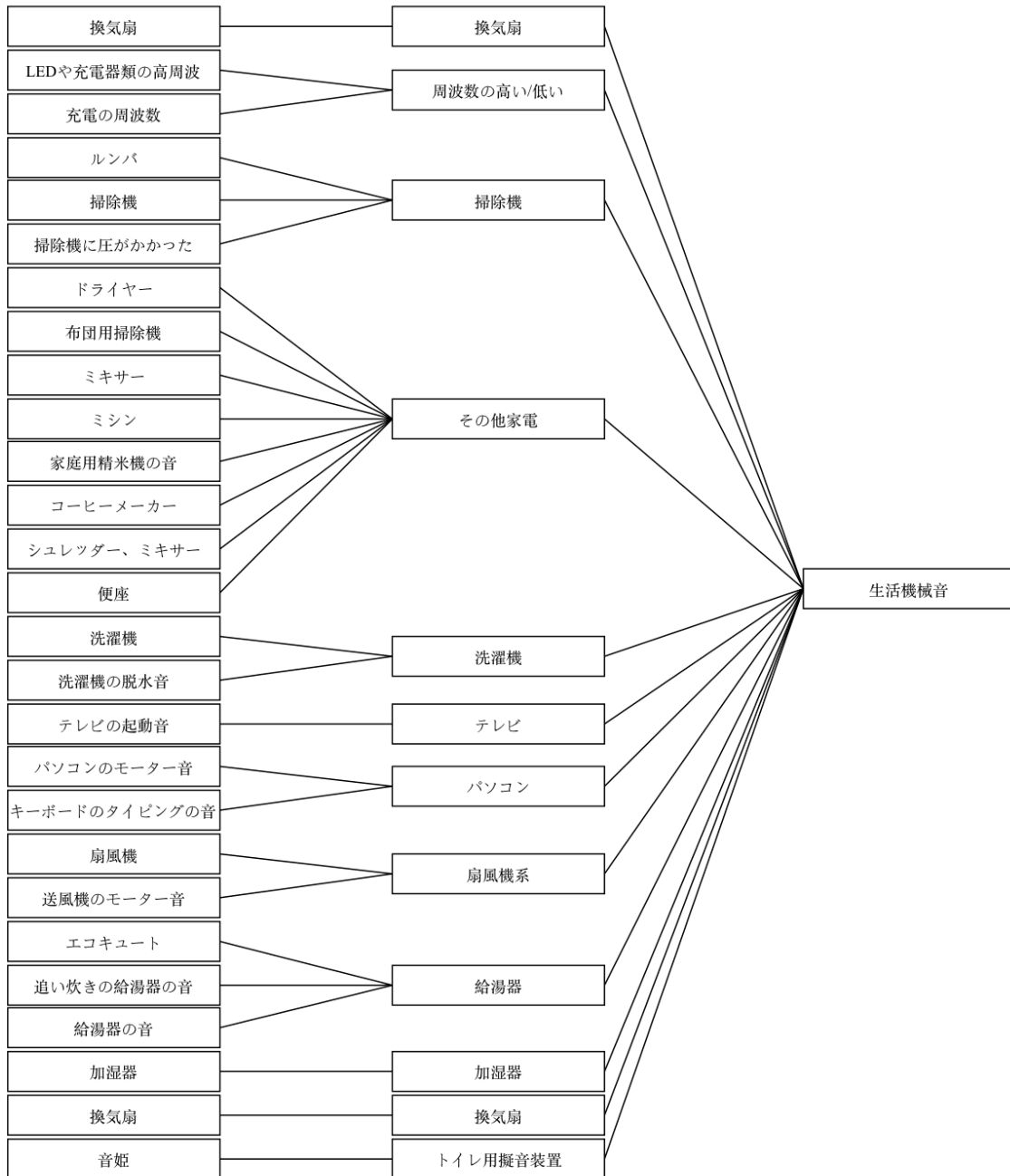
■ カテゴリー：楽器・音楽



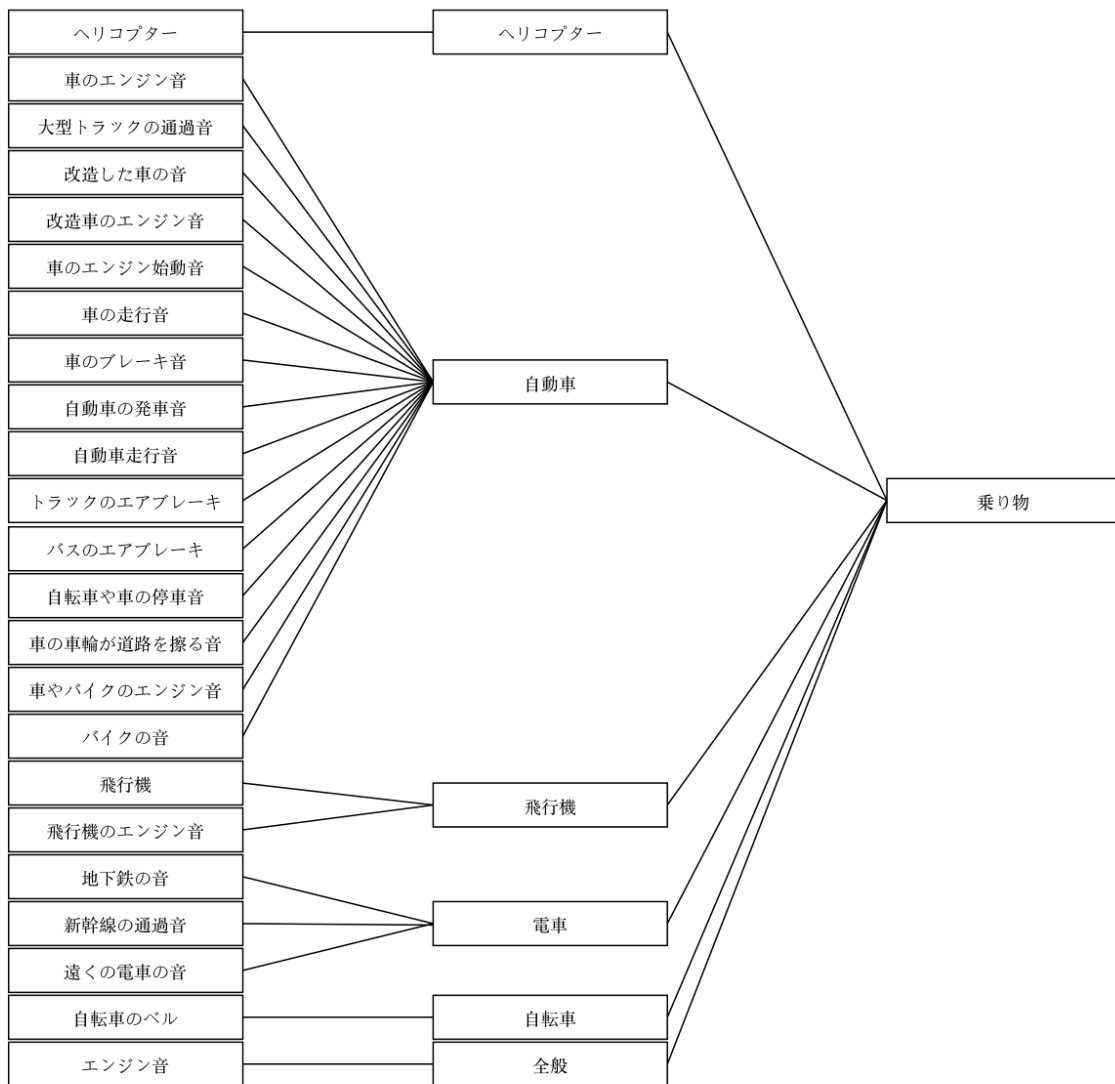
■ カテゴリー：自然音



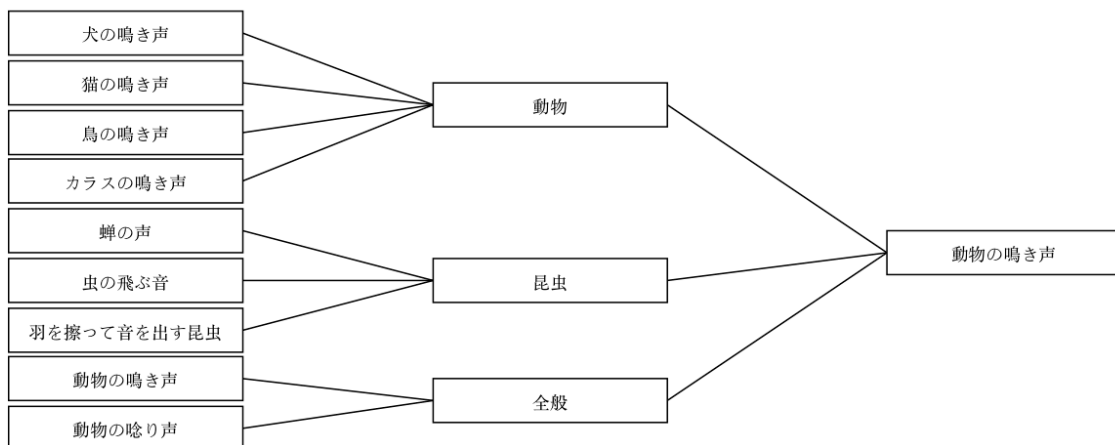
■ カテゴリー：生活機械



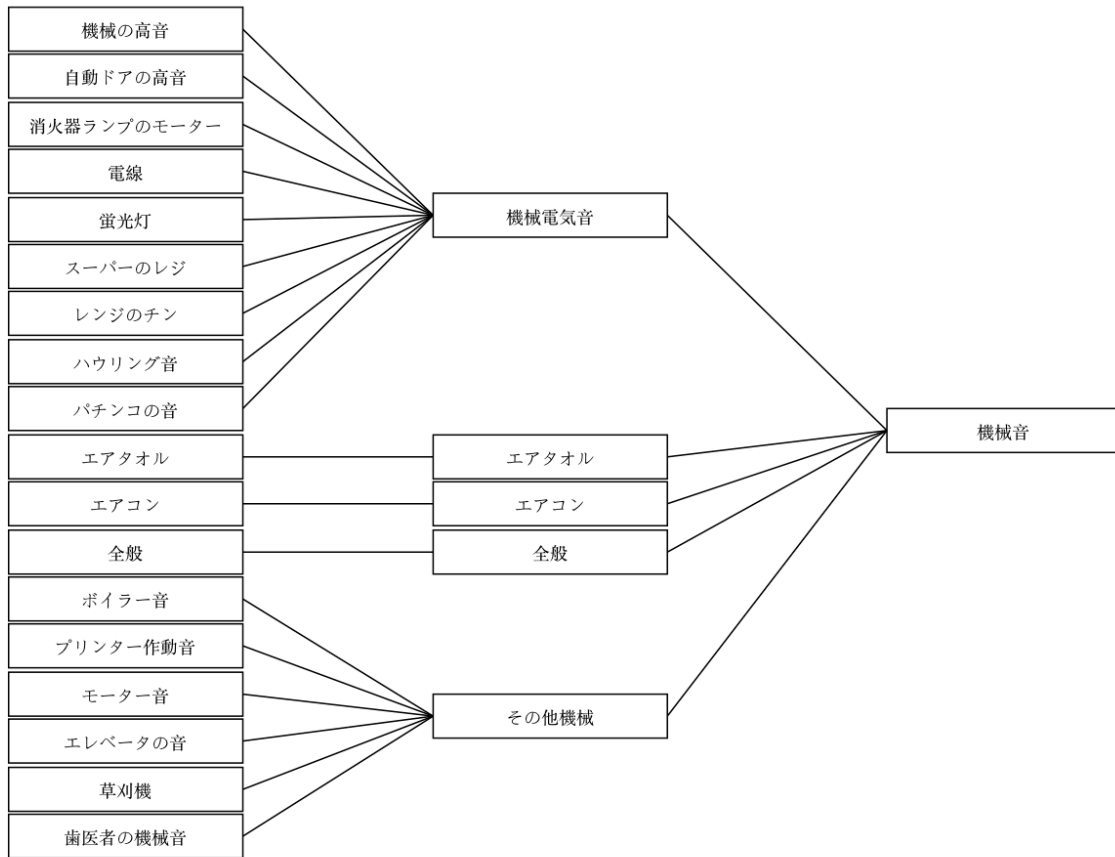
■ カテゴリー：乗り物



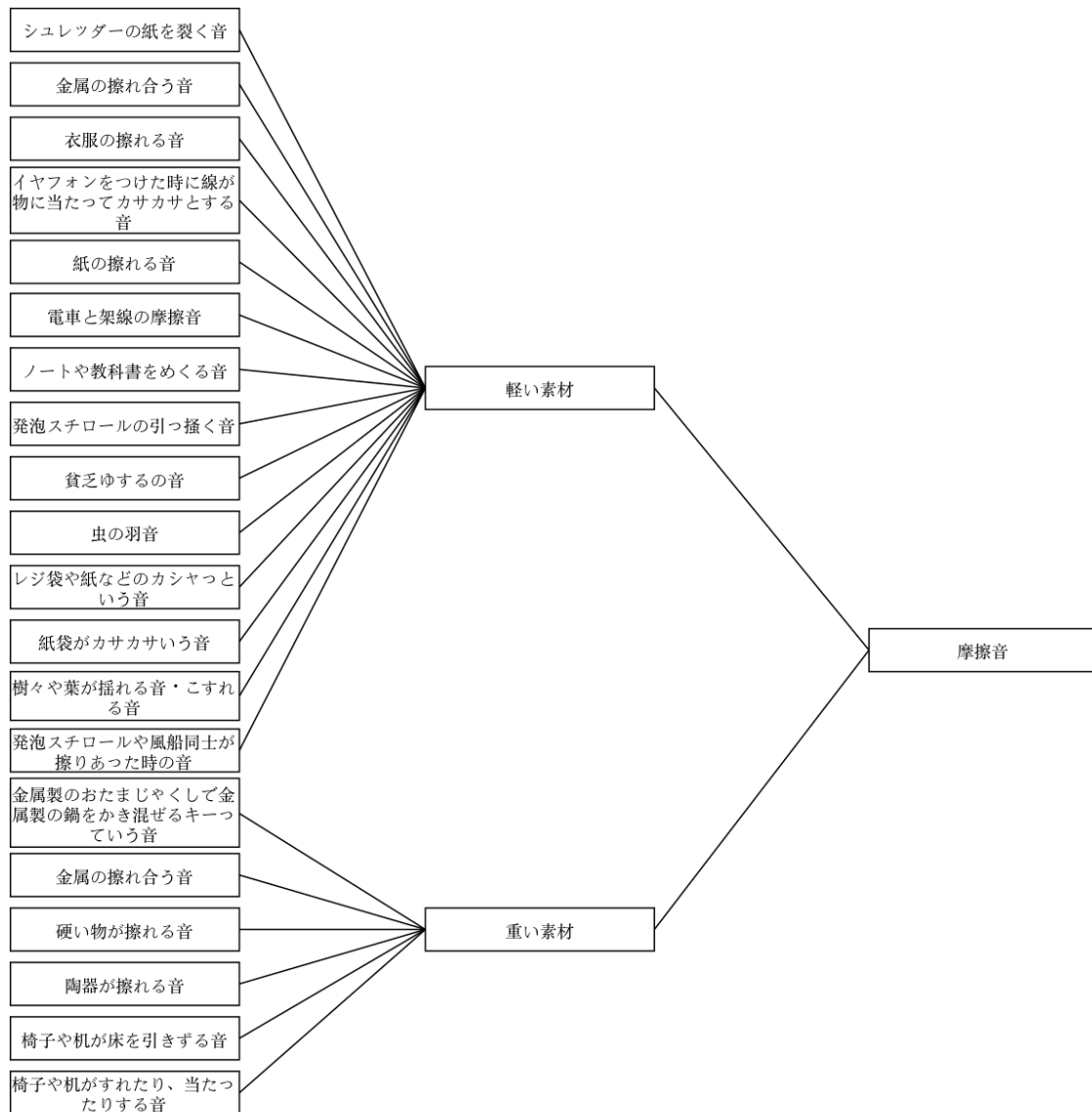
■ カテゴリー：動物の鳴き声



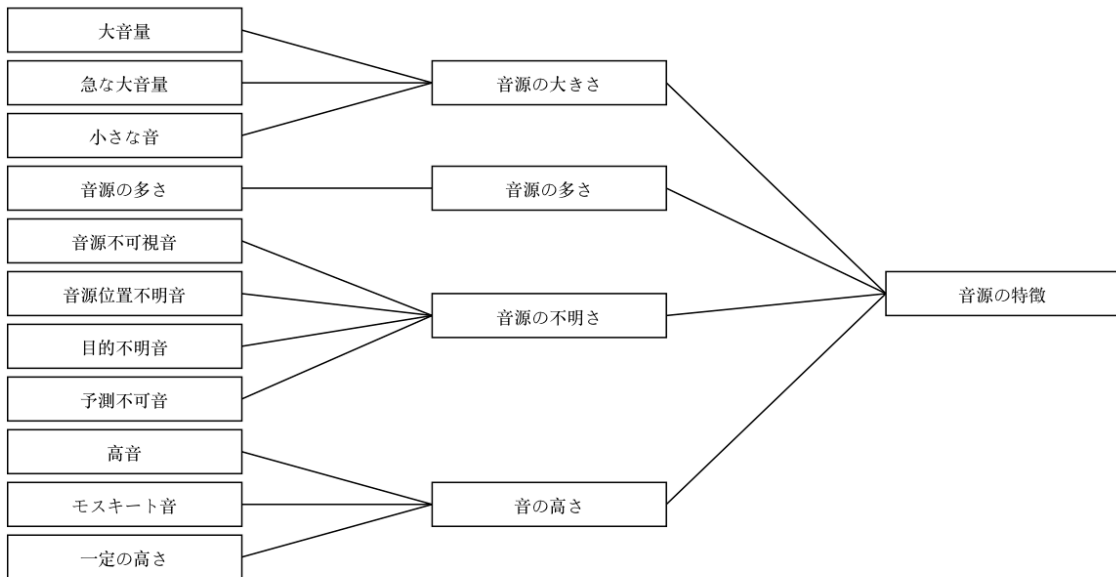
■ カテゴリー：機械音



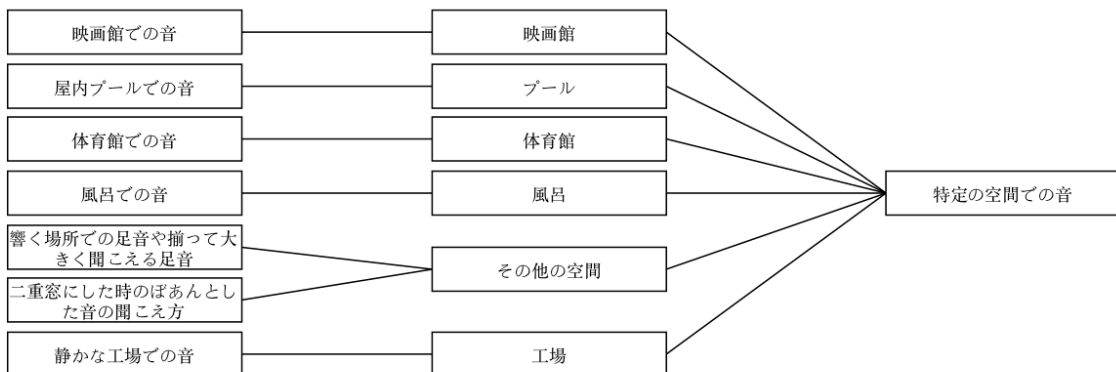
■ カテゴリー：摩擦音



■ カテゴリー：音源の特徴



■ カテゴリー：特定の空間での音



■ カテゴリー：拡声音、軋み音、話している内容、自分の声、衝撃音、その他

